

長岡京市第4次総合計画
第3期基本計画策定に向けた
アンケート調査報告書

令和7年2月
長岡京市

I. 調査概要等

1. 調査の目的等	1
2. 回収率向上に向けた取り組み	2
3. Voice NAGAOKAKYO との連動	4
4. 市民アンケート調査と LINE アンケート調査の比較等	5

II. 各種調査結果

〔長岡京市まちづくりのための市民アンケート調査〕

1. 調査結果概要	6
2. 調査結果	10
1. 回答者の状況	10
(1) 年代	10
(2) 性別	10
(3) 居住小学校区	11
(4) 転入歴と転入時期	12
(5) 世帯構成	13
(6) 暮らしの幸福度や満足度	14
2. 長岡京市の住み心地	17
(1) 定住意向	17
(2) 定住・移住理由	19
(3) 長岡京市で自慢できるもの・誇りに思うもの	20
3. 市の政策の満足度と重要度	22
(1) 市の政策の満足度	22
(2) 市の政策の重要度	28
(3) 満足度と重要度の関係	33
(4) 重要と思う政策分野についての意見や要望、取組のアイデア等	42
4. 地域との関わりや地域活動・市民活動について	52
(1) 地域との関わり等について	52
(2) 自治会や地域コミュニティ協議会との関わり	54
(3) 市民活動への参加状況等	56
5. 個別施策について	58
(1) 災害が発生しそうな時や発生した時にどのような方法での情報提供で避難をするか	58
(2) 家庭での災害の備え	59
(3) 持ち家の将来的な扱いについて（持ち家に居住している人のみ回答）	59
(4) 市民の利便性向上のために必要なデジタル化の取組	60
(5) 市政に関する情報の入手手段	61
(6) 市政で知りたい情報と情報を得る手段	62
(7) 市内での買物等の状況	68
6. 自由記述	69

〔LINE アンケート調査〕

1. 調査概要	72
2. 調査結果	72

(1) 居住地	72
(2) 居住希望	72
(3) 住みたい理由・住みたくない理由.....	73
(4) 「住みやすいまち」と感じるために、最も重要だと思うこと.....	73
(5) Voice NAGAOKAKYO での問いと結果概要	74

〔団体アンケート調査〕

1. 調査結果	78
(1) 団体の概況	78
■主な活動場所・活動年数	78
■主な活動分野・テーマ	79
(2) 団体活動の成果に対して市が貢献できたこと.....	80
(3) 団体の活動にあたっての課題	81
(4) 今後5年間の活動方針等	82
■そのために、市と協力して取り組みたいこと（自由記述）.....	82
(5) 地域活動の活性化に向けたオンライン上のツールの活用への関心.....	83
(6) 今後5年間で市が特に取り組むべきこと（自由記述）.....	83
2. 市民参加型合意形成オンラインプラットフォーム「Voice NAGAOKAKYO」の試行.....	84

I. 調査概要等

1. 調査の目的等

① 調査の目的

この調査は「長岡京市第4次総合計画」の策定から9年が経過し、令和7年度に「第2期基本計画」が目標年度を迎えることから、次期計画となる「第3期基本計画」を策定するにあたって、まちづくりに対する評価やニーズ等の市民意見を広く把握することを目的に実施しました。

② 調査方法と対象

市民意見等を広く把握するために「長岡京市まちづくりのための市民アンケート調査（以下「市民アンケート調査」という）」「LINE アンケート調査」「団体アンケート調査」を実施しました。各調査の概要は以下のとおりです。

調査名	調査期間	調査対象	調査方法	回収数／率 (前回調査回収率)
長岡京市まちづくりのための市民アンケート調査	令和6年 7月10日(水)～ 7月31日(水)の 約3週間	長岡京市在住の18歳以上の 市民4,000人 (令和6年7月1日現在で住 民基本台帳登録者)	郵送での配布・ 回収 Web回答も可能	1,604件／40.1% (36.1%)
LINE アンケート 調査	令和6年 12月25日(木) ～令和7年1月 10日(金)	公式LINE登録者97,618人 (内ブロック数:24,985人) (抽出基準日:令和6年12月 19日時点)	-	4,606件／6.3% (未実施)
団体アンケート 調査	令和6年11月下 旬から12月上旬 の約2週間	長岡京市で活動する地域活 動団体515団体 (自治会57団体含む) (抽出基準日:令和6年9月 1日時点)	郵送による案 内の配布、WEB での回答 (※)	150団体／29.1% (40.2%)

※ 希望者には調査票を配布。一部の団体には対面で配布。

2. 回収率向上に向けた取り組み

回収率向上に向けて、Web 回答の設定とナッジの活用に取り組みました。

1) Web 回答の設定

「市民アンケート調査」については前回調査までは実施していなかった Web 回答を可能としたところ、回収率は前回調査が 36.1%、今回調査が 40.1%と回収率が高くなりました。Web 回答を導入することで、年齢層を問わず回収率が向上することが明らかになりました。

「団体アンケート調査」については Web 回答を基本としたところ、回収率は前回調査が 40.2%、今回調査が 29.1%と低くなりました。前回調査は一部対面での配布・回収等も実施しているため、単純な比較はできませんが、回収率が低くなった要因として、調査対象者の年齢層が高い、調査票を配布していないといった点が考えられます。

〔参考〕 Web 回答の設定による回収率の違い

- ・ Web 回答の設定による回収率の違いをみるため、郵送回答のみの調査票（調査票 A）と郵送・Web 回答選択可の調査票（調査票 B）の 2 種類を各 2,000 件配布しました。
- ・ 回収率は郵送回答のみ（調査票 A）が 38.0%、郵送・Web 回答選択可（調査票 B）が 42.2%と、Web 回答を設定することで回収率が高くなりました。
- ・ Web 回答を導入したことにより、全ての年代で回収率が向上しました。特に、40 歳代以下の世代においては、その効果が顕著に表れています。ただし、40 歳代以下の回収率は全体として低いため、引き続き回収率向上の取組が求められます。

40 歳代以下で Web からの回答が多い

		回答(Web)	配布数	回収率	回答に占める Web回答
18～29歳	郵送回答のみ	37	240	15.4%	
	郵送・Web選択可(Web)	51(34)	239	21.3%	83.3%
	計	88	479	18.4%	
30～39歳	郵送回答のみ	77	274	28.1%	
	郵送・Web選択可	103(62)	274	37.6%	64.4%
	計	180	548	32.8%	
40～49歳	郵送回答のみ	108	332	32.5%	
	郵送・Web選択可	120(65)	333	36.0%	54.2%
	計	228	665	34.3%	
50～59歳	郵送回答のみ	122	320	38.1%	
	郵送・Web選択可	131(47)	320	40.9%	35.9%
	計	253	640	39.5%	
60～69歳	郵送回答のみ	113	233	48.5%	
	郵送・Web選択可	125(29)	232	53.9%	23.2%
	計	238	465	51.2%	
70～79歳	郵送回答のみ	166	306	54.2%	
	郵送・Web選択可	178(10)	306	58.2%	5.6%
	計	344	612	56.2%	
80歳以上	郵送回答のみ	134	295	45.4%	
	郵送・Web選択可	130(9)	296	43.9%	6.9%
	計	264	591	44.7%	
全年齢	郵送回答のみ	760	2,000	38.0%	
	郵送・Web選択可	844(256)	2,000	42.2%	30.3%
	計	1,604	4,000	40.1%	

2) 「ナッジ」の活用

ナッジ (nudge : そっと後押しする) とは、行動科学の知見 (行動インサイト) の活用により、「自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるように手助けする方法」のことで、平成 29 年頃から環境省を中心にその取組がはじまり、現在、府省庁・地方公共団体や民間事業者等においてナッジを始めとする行動インサイトの活用が進んでいます。自治体レベルでは、アンケート調査、健 (検) 診の受診案内、納税に係る書類等で用いられています。

今回調査では先進自治体の事例も踏まえて、「封筒を開ける」「調査の趣旨・回答方法を理解する」という段階での課題に対応するためにナッジを用いました。その結果として郵送回答のみのグループと比較しても回収率は前回調査よりも向上しました。

【参考】ナッジを活用した回収率向上の取り組み

その 1 : 封筒にメッセージの工夫

その 2 : 調査票の表紙 (回答依頼文) の工夫



3. Voice NAGAOKAKYO との連動

長岡京市では、市民参加型合意形成オンラインプラットフォーム「Voice NAGAOKAKYO」の実証実験を行っています。今回は、その活用可能性を探るため、団体アンケートおよびLINE アンケートの実施にあたり、いくつかの新たな試みを取り入れました。

1) LINE アンケート実施時

LINE アンケート回答後、タップすると「Voice NAGAOKAKYO」内のスペース「あなたの声を長岡京に活かしたい！」に遷移するボタンを設置しました。(問いと結果についてはP.72 参照)

LINE アンケート回答者のうち約 1/4 となる 1,128 人からのアクセスがありましたが、約 9 割の人がアクセスしただけにとどまっており、また、アカウントを作成した・持っていた 144 人のうち、104 人が問いを開くだけにとどまっています。

「あなたの声を長岡京に活かしたい！」の稼働期間終了後に、他のスペースにアクセスしてアイデア投稿等した人は 19 人となっています。

LINEアンケート調査回答者数	4,606	(%)
このうち、Voice NAGAOKAKYOの「あなたの声を長岡京に活かしたい！」にアクセスした人	1,128	24.5
アクセスした人のうち、		(%)
なにもしなかった人	984	87.2
アカウントを作成した人	126	11.2
元々アカウントを持っていた人	18	1.6
アカウントを作成した・持っていた人のうち		(%)
いいねのみした人	7	4.9
アイデア投稿した人	18	12.5
どちらもした人	15	10.4
どちらもしていない人	104	72.2
どちらもしていない人のうち		(%)
問いを1つ開いた人	41	39.4
問いを2つ開いた人	28	26.9
問いを3つ開いた人	16	15.4
問いを開いていない人	19	18.3
終了後のVoice NAGAOKAKYOの他の公開スペースに		(%)
アイデア投稿、または、いいねした人	19	13.2
他の公開スペースで何もしていない人	125	86.8

2) 団体アンケート実施時

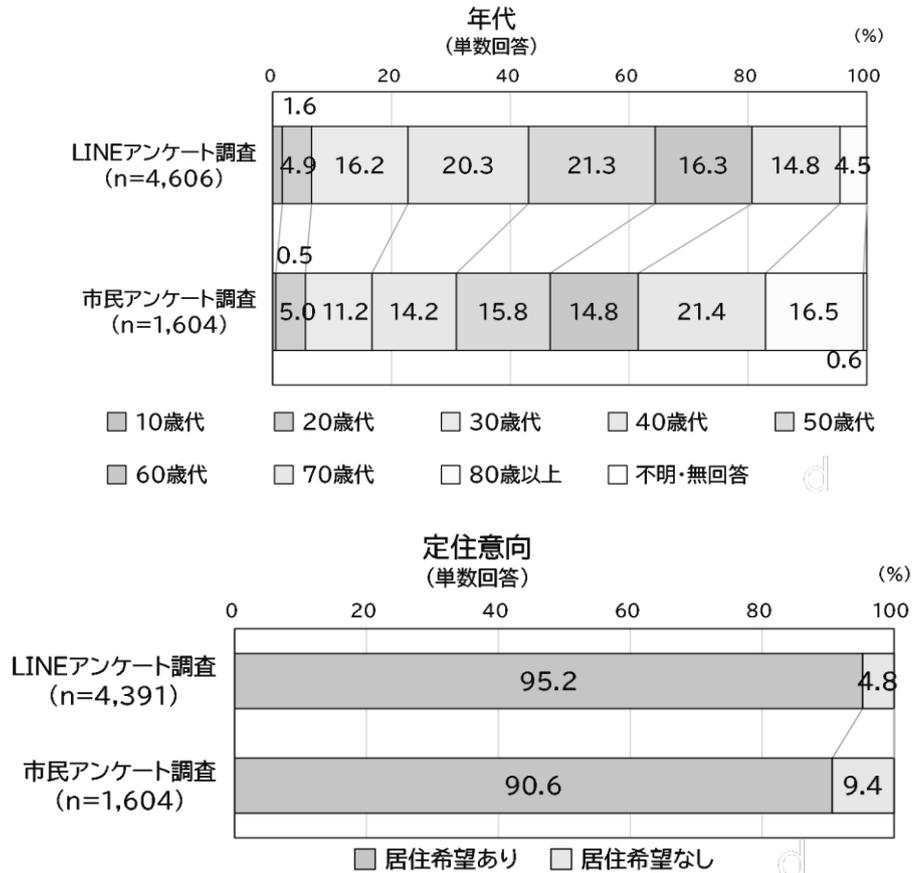
WEB アンケート回答後、仮アカウントで「Voice NAGAOKAKYO」に用意したアンケートスペースに遷移するようにして、「Voice NAGAOKAKYO」の試用を行いました(問いと結果についてはP.85 参照)

オンラインの意見交換の場の活用について、51 団体のうち 6 割強の 32 団体から「関心がある」との回答が寄せられました。

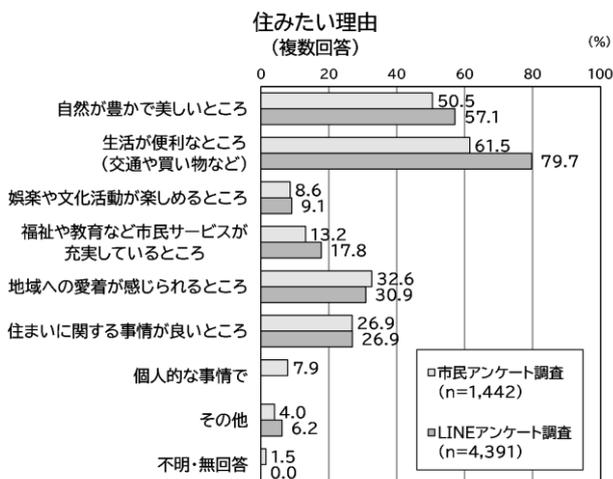
4. 市民アンケート調査とLINE アンケート調査の比較等

市民アンケート調査とLINE アンケート調査の回答者の年代を比較すると、LINE アンケート調査の方が30～50歳代が多く、80歳以上が少なくなっています。

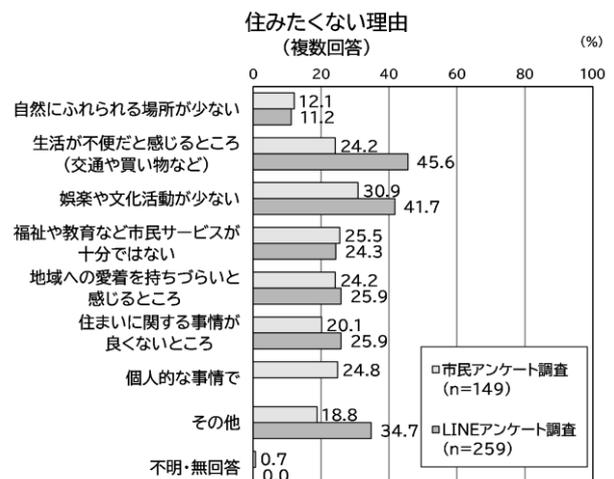
同様の設問について比較すると、定住意向（「居住希望あり」）はLINE アンケートの方が多くなっています。住みたい理由、住みたくない理由は同様の傾向となっています。



※市民アンケート調査の「住み続けたい」「できれば住み続けたい」を「居住希望あり」、「できれば移りたい」「移りたい」を「居住希望なし」として、回答者数から不明・無回答を除いて算出



※LINEアンケートには「個人的な事情で」の選択肢を設けていない



※LINEアンケートには「個人的な事情で」の選択肢を設けていない

Ⅱ. 各種調査結果

〔長岡京市まちづくりのための市民アンケート調査〕

1. 調査結果概要

■ 回答者の状況

- 「30代」が1割、「40代」「50代」「80代」がそれぞれ1.5割となっています。「70歳代」が約2割を占めています。子育て中の人（未就学児がいる）は約1割となっています。
- 「長岡第五小学校区」が最も多く2割弱、次いで「長岡第四小学校区」「神足小学校区」が1割強となっています。
- 昭和50年以前に転入した人が最も多く約2.5割、平成28年以降に転入した人が約2割となっています。
- 世帯構成は親と子からなる2世帯家族が約4割、2人世帯（夫婦、パートナーのみ）が約3割、単身世帯が約2割となっています。

■ 定住意向

- 定住意向（「住み続けたい」「できれば住み続けたい」）は約9割で前回調査と同程度であるものの、「住み続けたい」が前回調査から減少しています。
- 属性別にみると、20歳代、30歳代では移住意向（「できれば移りたい」「移りたい」）が他の年代よりも多くなっています。小学校区別では「長岡第八小学校区」「長岡第三小学校区」は移住意向が他の小学校区よりも多くなっています。長岡京市に住んで10年以下（平成28年以降に転入）は移住意向が他の居住年数よりも高くなっています。
- 定住理由は前回調査と同様に「生活利便性が高い」が約6割、「自然環境が良い」が約5割、「地域への愛着」が約3割となっています。
- 移住理由は「娯楽や文化などの生活の楽しみが不足」が最も多く約3割、「福祉や教育など市民サービスが不足している」が約2.5割となっています。前回調査で移住理由として上位であった「生活利便性が低い」「地域への愛着がない」は少なくなっています。

〔市民アンケート調査結果について〕

今回の調査は標本調査のため、本結果が母集団（長岡京市の18歳以上人口）の意識や課題としてどの程度の精度があるものなのかを以下の数式で求めました。

世論調査では、信頼度95%（同じ調査を対象を変えて行った場合に、100回中95回は同様の結果が得られると考えてもよい）の水準を求めることが一般的とされており、これに基づき、今回の調査における標本測定値の標本誤差を算出しました。この結果、標本誤差=2.42%（小数第3位四捨五入）となり、母集団の回答は今回のアンケート調査結果の±2.42%の区間に95%の確率で存在すると言えます。

$$\varepsilon = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

ε：標本誤差

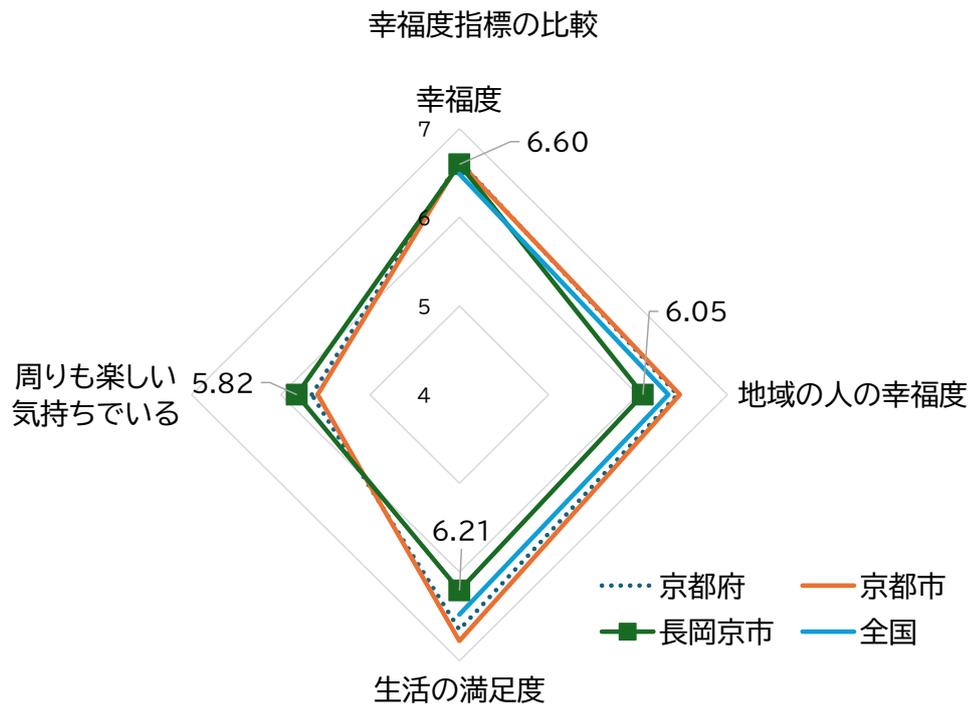
±1.96：信頼度95%の時の係数

N：母集団数（調査時点の長岡京市の18歳以上人口：68,795） n：標本数（有効回答数：1,604）

P：標本測定値0.5（50%（0.5）のときに最大となるため0.5で計算）

■ 暮らしの幸福度・満足度

- まちづくりは、市民の幸福度が高まることが最終目的であるとの考えのもとで、国が調査する地域幸福度（Well-Being）指標を本市においても調査しました。
- 各項目の平均は「自分の幸福度」が3.6点（府内3.3点）、「自分からみた地域の人々の幸福度」が3.4点（府内3.2点）、「地域の暮らしの満足度」が3.5点、（府内3.4点）「自分だけでなく周りの人も楽しい気持ちでいるか」が3.3点（府内3.3点）となっています。府内の数値と同程度です。
- 年代別では、「30代」「40代」において自分の幸福度が他の年代よりも高くなっています。
- デジタル庁が実施した全国調査から全国、京都府、京都市と比較すると、本市は「幸福度」「周りも楽しい気持ちでいる」が他の自治体よりも高くなっています。一方の「地域の人々の幸福度」「生活の満足度」は低くなっています。（ただし、京都市が京都府全体の約5割を占めている）



	幸福度	地域の人々の幸福度	生活の満足度	周りも楽しい気持ちでいる※
長岡京市 (n=1,604)	6.60	6.05	6.21	5.82 (3.24)
全国 (n=101,498)	6.49	6.34	6.48	(3.23)
京都府 (n=2,222)	6.63	6.44	6.65	5.65 (3.26)
京都市 (n=1,003)	6.62	6.47	6.78	5.59 (3.24)

資料：長岡京市の数値は「令和6年度市民アンケート調査」

京都府、京都市の数値は「令和6年度全国アンケート調査」（デジタル庁）

- ※ 全国調査が0～10点の11件法のため、本市調査の「5→10」「4→7.5」「3→5」「2→2.5」「1→0」として集計し、比較している。
- ※ 「周りも楽しい気持ちでいる」は、全国調査、本市調査ともに5件法のため、10件法で再集計。ただし、全国調査は回答の内訳が不明のため10件法で再集計不可。

■ 市の政策の満足度・重要度

《満足度（「満足」「やや満足」の合計）/不満足度（（「やや不満」「不満」の合計））》

- 満足度は「保健・医療」が最も多く約4割、「水資源」「市街地」が続く。
- 不満足度は「道路・交通」が最も多く約3割、「市街地」「産業」が続く。「市街地」は満足と不満に評価が分かれています。
- 前回調査から「保健・医療」「高齢福祉・障がい福祉」「社会保障」の満足度が増加し、「脱炭素」「就学前教育・保育」「環境共生」の満足度が低下しています。
- 「道路・交通」は「長岡第四小学校区」で満足度が高く、「長岡第七小学校区」「長岡第十小学校区」で不満足度が他の小学校区よりも多くなっています。

《重要度（「重要」「やや重要」の合計）》

- 重要度は「水資源」が最も多く約7.5割、「道路・交通」「高齢福祉・障がい福祉」が続き、これらが7割を超えています。

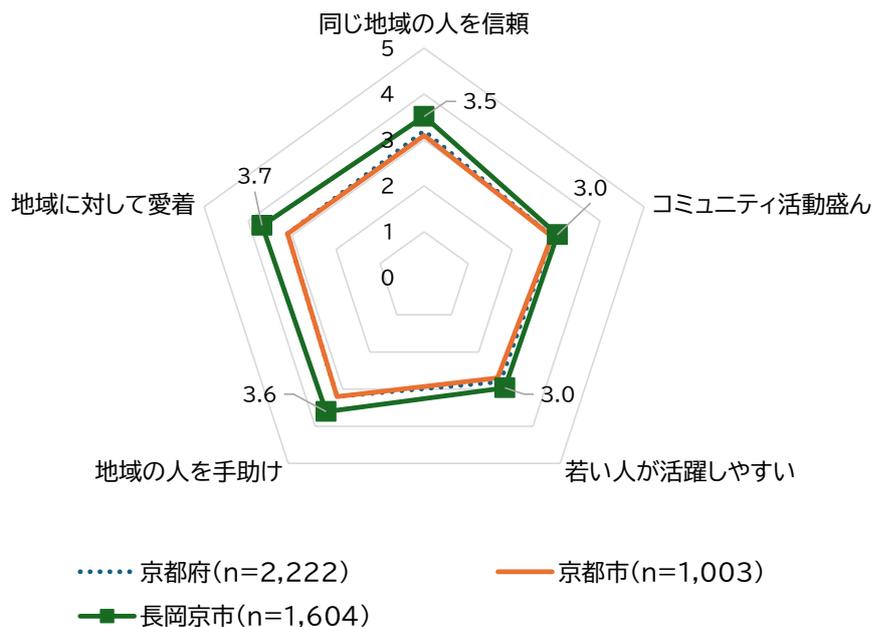
《満足度が低く、重要度が高い政策分野》

- 「地域子育て支援」「社会保障」「道路・交通」は、満足度が低く、重要度が高くなっています。

■ 地域との関わりや地域活動・市民活動について

- 地域に愛着を持っている人は約6割、小学校区による差はありませんでした。
- 地域活動の活動状況について、全体では約3割が盛んだと感じ、小学校区別では「長岡第五小学校区」が多く、「長法寺小学校区」が他の小学校区よりも少なくなっています。
- 地域コミュニティ協議会を知らない人が全体で約3.5割、小学校区別では「神足小学校区」の認知が低くなっています。
- デジタル庁が実施した全国調査から京都府、京都市と比較すると、本市は地域の人関係に係る全ての項目において他の自治体よりも高くなっています。とりわけ「地域に対して愛着」が高くなっています。（ただし、京都市が京都府全体の約5割を占めている）

地域の人関係



資料：長岡京市の数値は「令和6年度市民アンケート調査」

京都府、京都市の数値は「令和6年度全国アンケート調査」（デジタル庁）

■ ペルソナ分析の結果

アンケートと回答者を属性（性別、年齢、居住地区）に加えて、趣味嗜好、価値観等を踏まえて、人物像を設定し（ペルソナ）、施策の満足度、地域活動への関心などに係る分析をしました。

今回の調査結果から4つの特徴的なペルソナを作成しましたが、ペルソナ分析の目的としては以下の点があげられます。

- ・ 今後のさらなる高齢化、人口減少による地域の縮小・減少が見込まれる中では、行政の施策、事業等について優先度をつけること（選択と集中）はより一層求められます。
- ・ 現代社会では、生活サービスが充実し、価値観も多様化しています。行政が画一的な取り組みを行うだけでは、市民のニーズを捉え、満足度を高めることは難しくなっています。そのため、一人ひとりの置かれている状況、価値観に寄り添い、共感を得られるような、きめ細かな施策が求められています。
- ・ 今回調査の分析で設定したペルソナに応じた施策を検討し、展開することで、市民の施策満足度、まちづくりの関心が高まることが期待されます。

人物設定（ペルソナ）	長岡京市での暮らし、好きなどころなど	関心のあるまちづくり領域
<u>長岡京市に住んで3年。子育てに毎日一生懸命な世代</u> ・ 30代女性。 ・ 夫（30代）、子ども2人（小学生と未就学児）と暮らしている ・ パートタイムで市内で勤務。 ・ 賃貸マンションに住んで3年。	・ 緑の多さ、自然環境に特に魅力を感じていない。 ・ 日用品の買い物は市内の小売店を利用。 ・ 趣味や外食、友人と出かけるなどはほとんど市外。	・ 子育て、教育環境に関心が高い。現状の子育て環境に十分に満足はしていない。少しでも子育ての環境をよくしたいと考えており、そのためなら市外への引っ越しも考えている。
<u>仕事が忙しく休日は家でのおんびり過ごしたいビジネスパーソン</u> ・ 40代男性 ・ 1人暮らし ・ 会社員、大阪市内に通勤 ・ 仕事の時以外、のんびりとした「おうち時間」を最優先。 ・ 賃貸マンションに住んで約10年。	・ 京都市内、梅田へ出るには便利。 ・ 自然、歴史文化への関心は低い。 ・ 趣味や娯楽の消費は主に市外。	・ 市の取り組みへの関心がなく、多くの政策分野の満足度、重要度が総じて低い。
<u>子育てがひと段落。長岡京市が好きなゆったり3人暮らし</u> ・ 50代男性 ・ 妻（50代）、高校生の子ども1人と暮らしている ・ 会社員、京都市内に通勤 ・ 自宅を購入し、住んで約25年。子育てを長岡京市でした。	・ 歴史文化、自然を感じられる環境が気に入っている。 ・ 長岡京での暮らしが気に入っており、このまま住み続けたいと思っている。 ・ 地域活動には参加していないが、ご近所との関係は良い。	・ 子育て・教育環境、生涯学習、市街地、道路・交通の満足度が高い。
<u>地元を満喫したいシニア世代</u> ・ 70代女性 ・ 定年退職した夫（70代）と2人暮らし、子どもは成人して独立している。 ・ 自宅を購入し、住んで50年近く経つ。	・ 日用品から家電製品まで必要な物は市内の小売店を利用。 ・ 歴史文化、自然を感じられる環境が気に入っている。 ・ 地域に愛着があり、地域活動にも積極的に参加。	・ 保健・医療、高齢福祉への関心が高い。

2. 調査結果

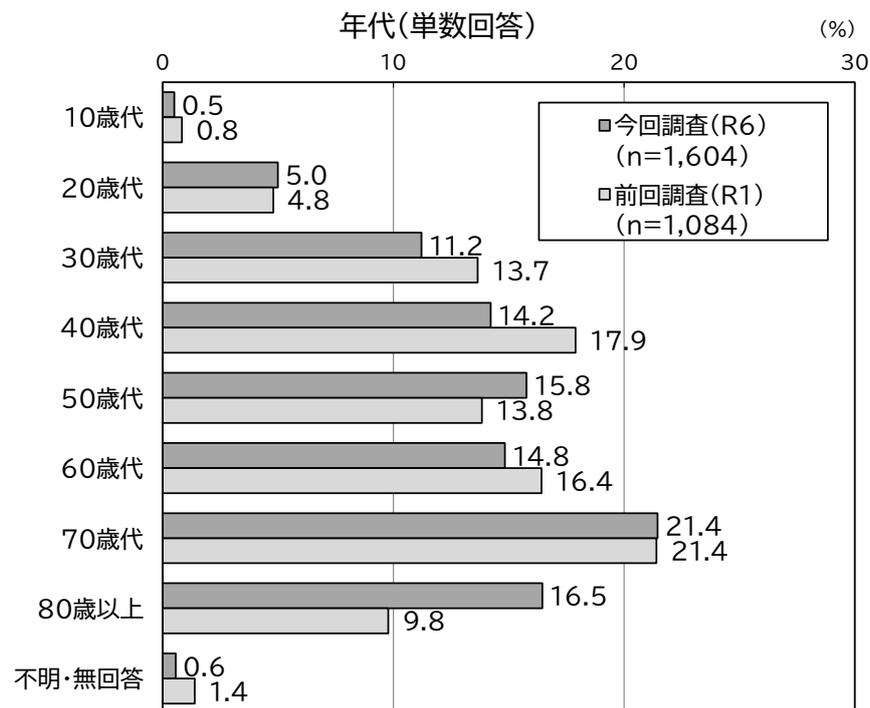
※「年代」や「小学校区」等の比較については、「有意差検定」(χ²検定)を行い、統計的に意味のある差があるかどうかを検証しています。

1. 回答者の状況

(1) 年代

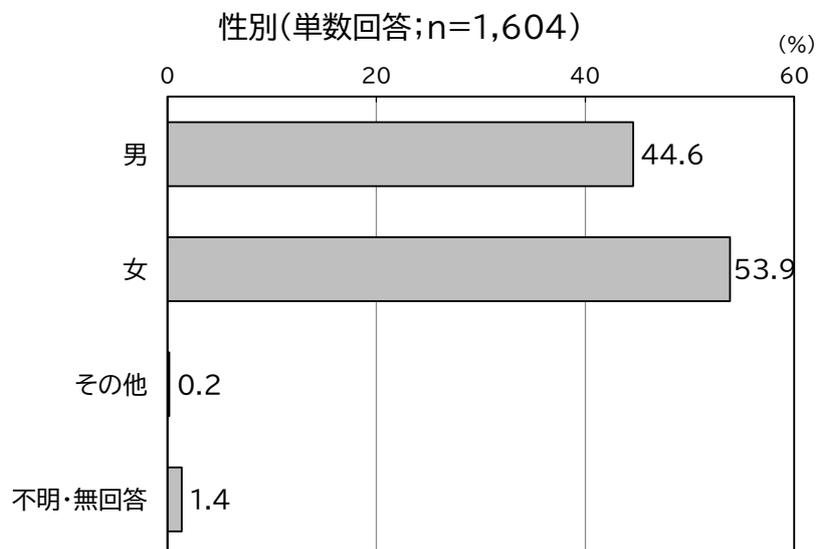
「70歳代」が最も多く21.4%、次いで「80歳以上」が16.5%、「50歳代」が15.8%などとなっています。

前回調査と比較して、「80歳以上」が多くなっています。



(2) 性別

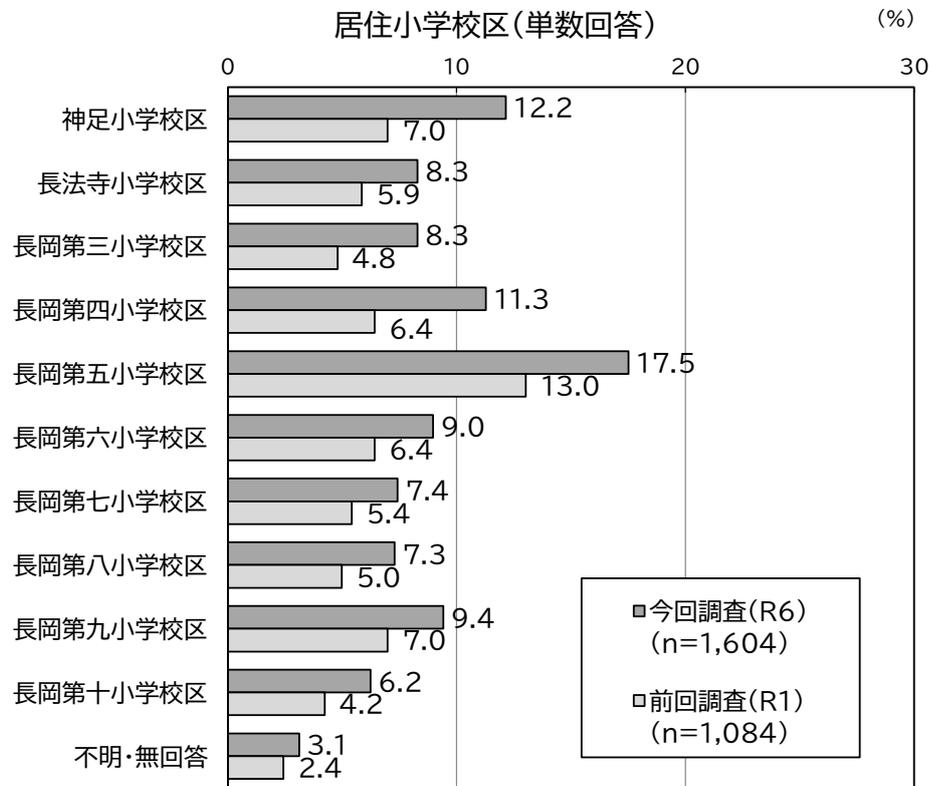
「男」が44.6%、「女」が53.9%などとなっています。



(3) 居住小学校区

「長岡第五小学校区」が最も多く17.5%、次いで「神足小学校区」が12.2%、「長岡第四小学校区」が11.3%などとなっています。

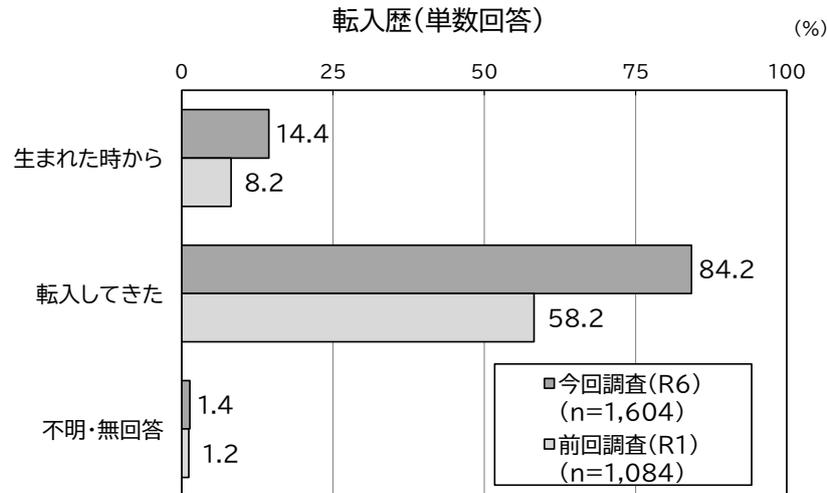
前回調査と比較して、「神足小学校区」が多くなっています。



(4) 転入歴と転入時期

① 転入歴

「生まれた時から」が14.4%、「転入してきた」が84.2%となっています。

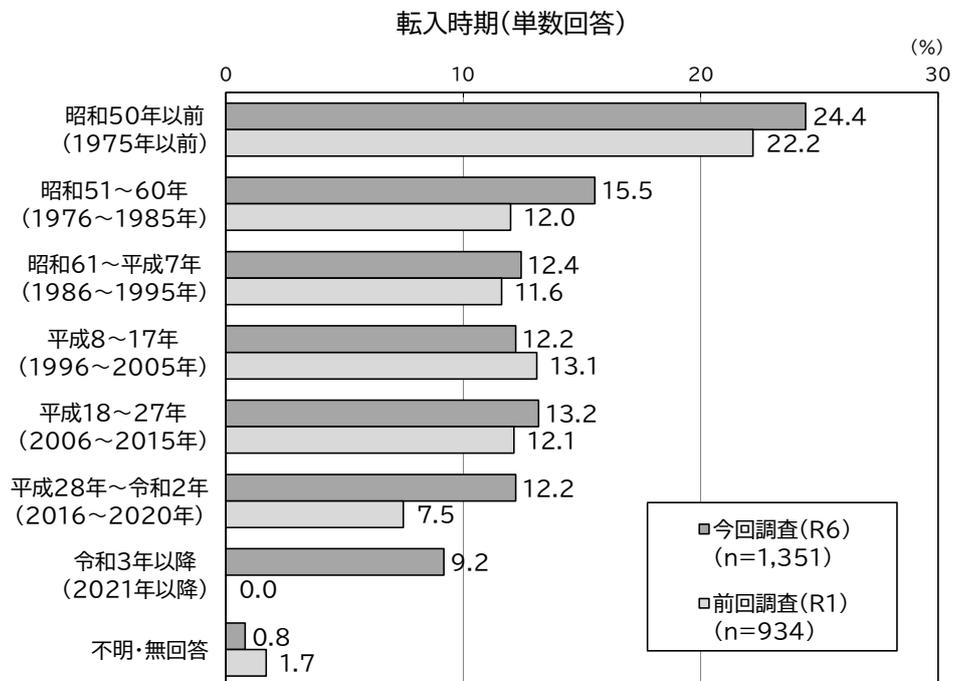


② 転入時期

「昭和50年以前(1975年以前)」が最も多く24.4%、次いで「昭和51～60年(1976～1985年)」が15.5%、「平成18～27年(2006～2015年)」が13.2%などとなっています。

「令和3年以降(2021年以降)」の転入が9.2%、平成28年以降をあわせると10年以内の転入が21.4%となっています。

前回調査と比較して、「平成28年～令和2年(2016～2020年)」が多く、「平成8～17年(1996～2005年)」が少なくなっています。

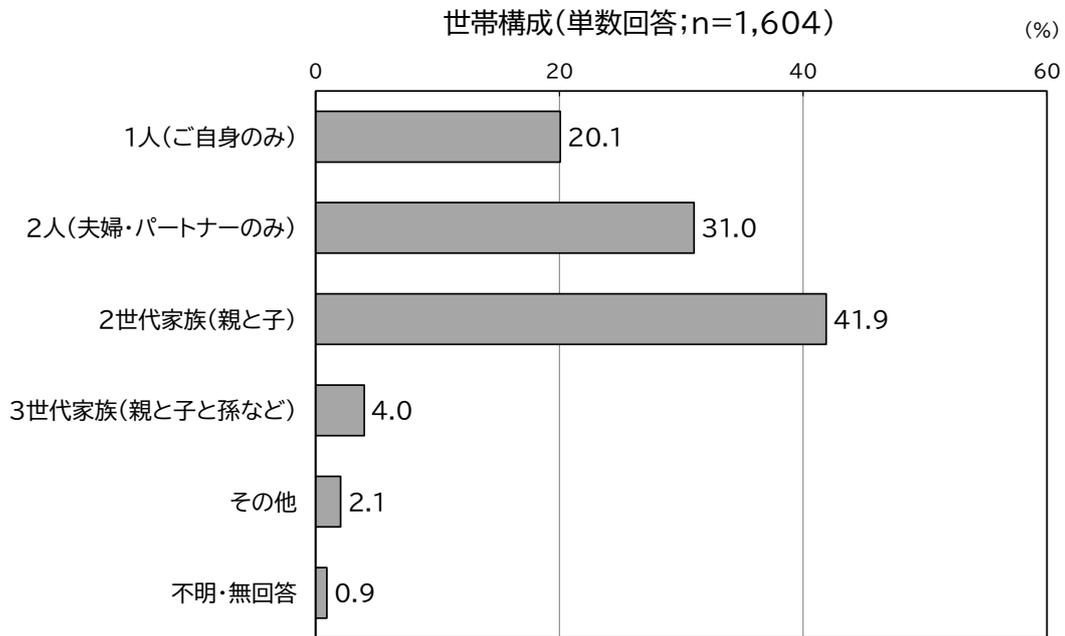


※ 「令和3年以降(2021年以降)」は今回調査のみ設定

(5) 世帯構成

① 世帯構成

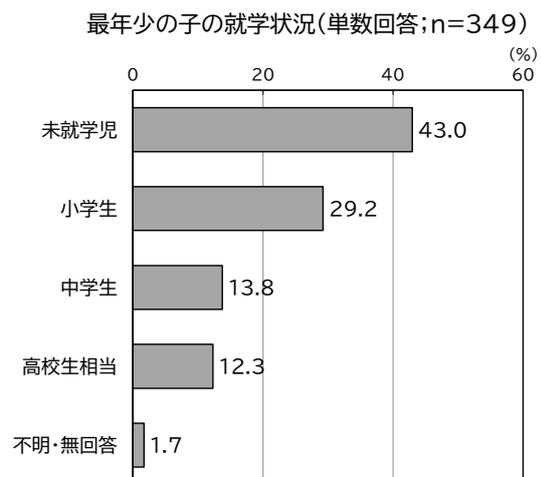
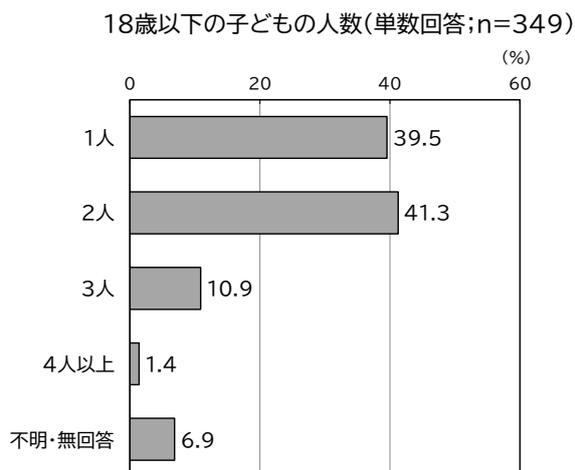
「2世代家族(親と子)」が最も多く41.9%、次いで「2人(夫婦・パートナーのみ)」が31.0%、「1人(ご自身のみ)」が20.1%などとなっています。



② 18歳以下の子どもの有無と最年少の子の就学状況

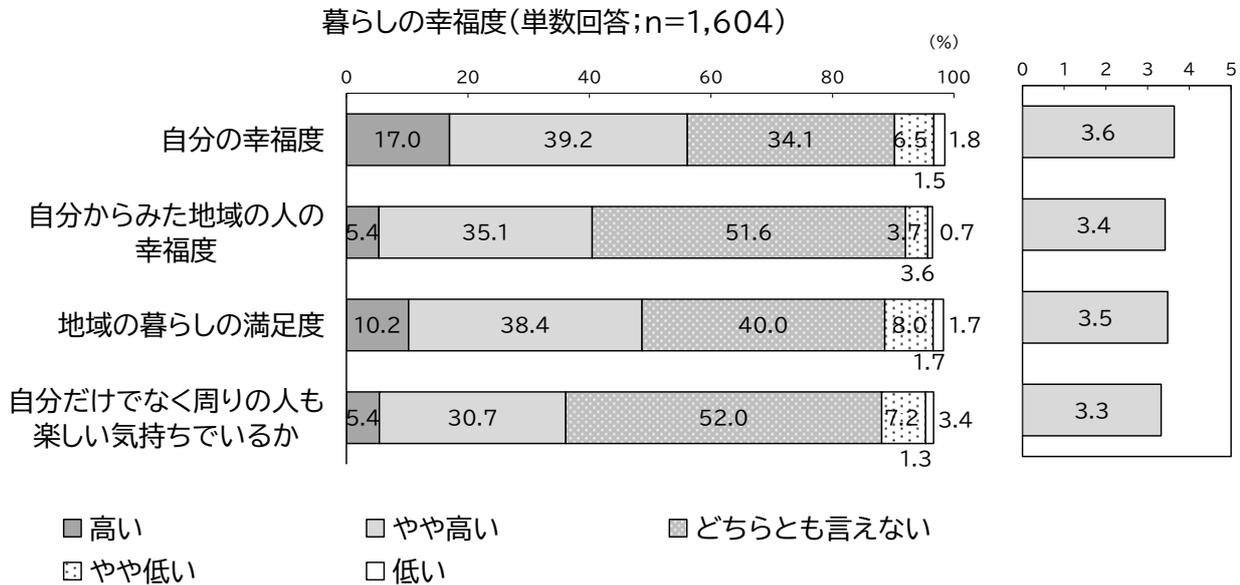
同居する家族に18歳以下の子どもがいるのは349人、「2人」が最も多く41.3%、次いで「1人」が39.5%などとなっています。平均人数は1.72人となっています。

最年少の子の就学状況等をみると、「未就学児」が最も多く43.0%、「小学生」が29.2%などとなっています。



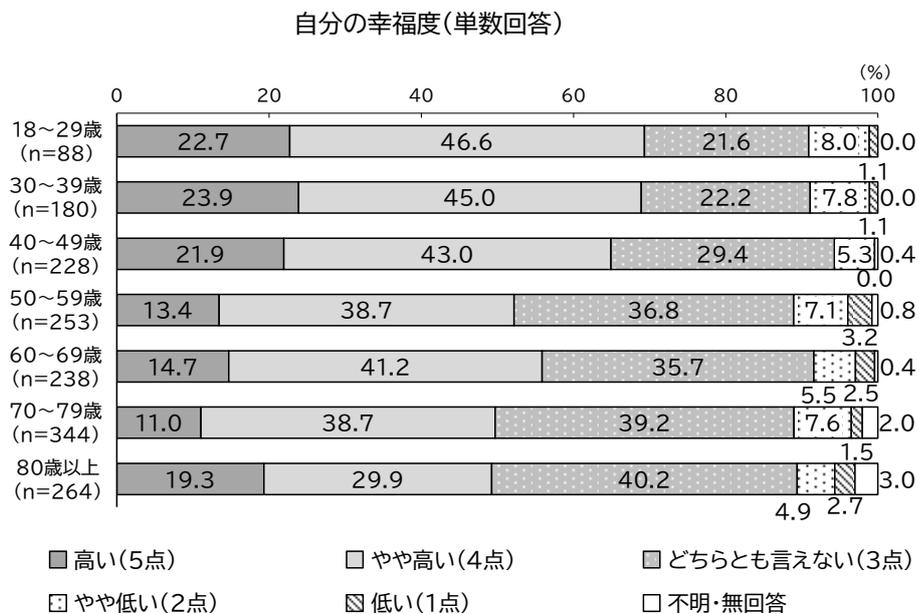
(6) 暮らしの幸福度や満足度

「やや高い(4点)」が最も多く39.2%、次いで「どちらとも言えない(3点)」が34.1%、「高い(5点)」が17.0%などとなっています。また、小学校区による差はありませんでした。



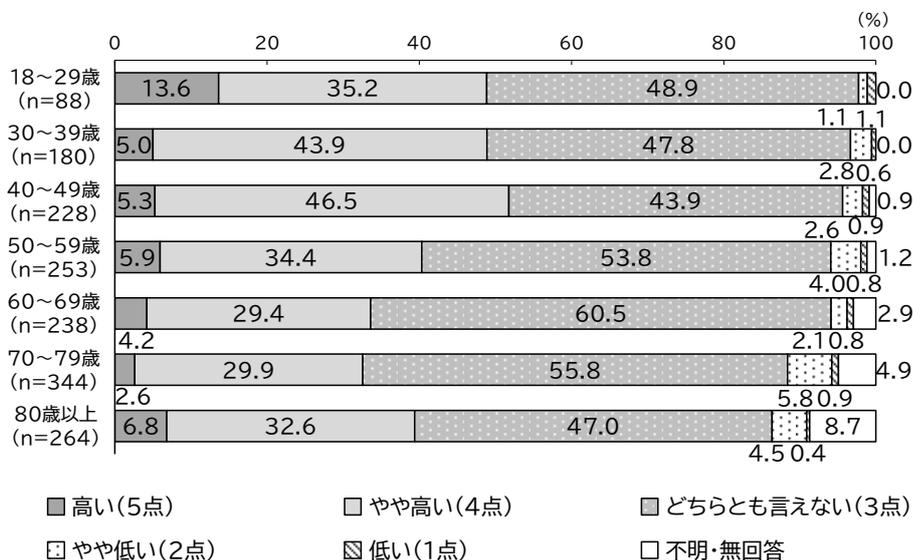
【年代別】

年代別にみると、「自分の幸福度」について「30～39歳」「40～49歳」は「高い」が他の年代よりも多く、「70～79歳」は「高い」が他の年代よりも少なくなっています。



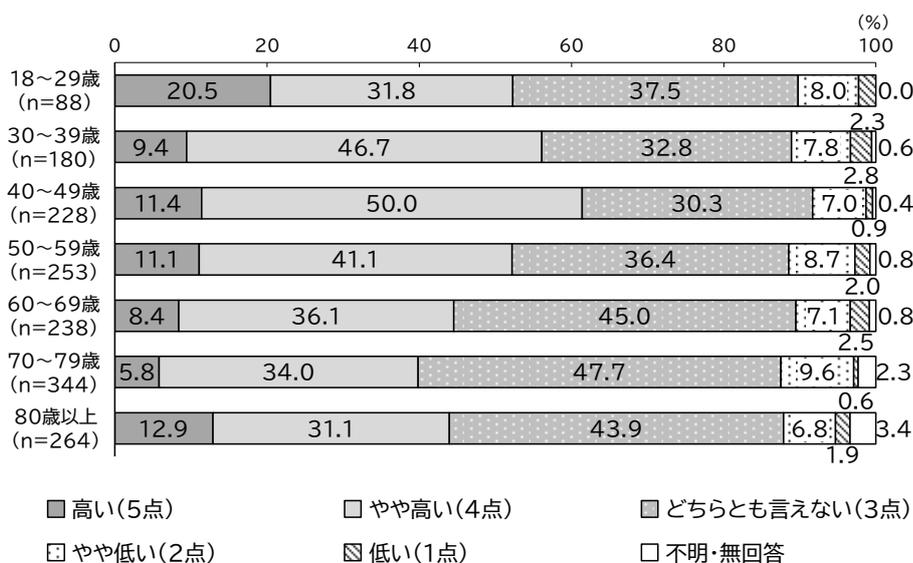
「自分からみた地域の人の幸福度」について、「18～29歳」は「高い」が、「40～49歳」は「やや高い」が他の年代よりも多くなっています。

自分からみた地域の人の幸福度(単数回答)



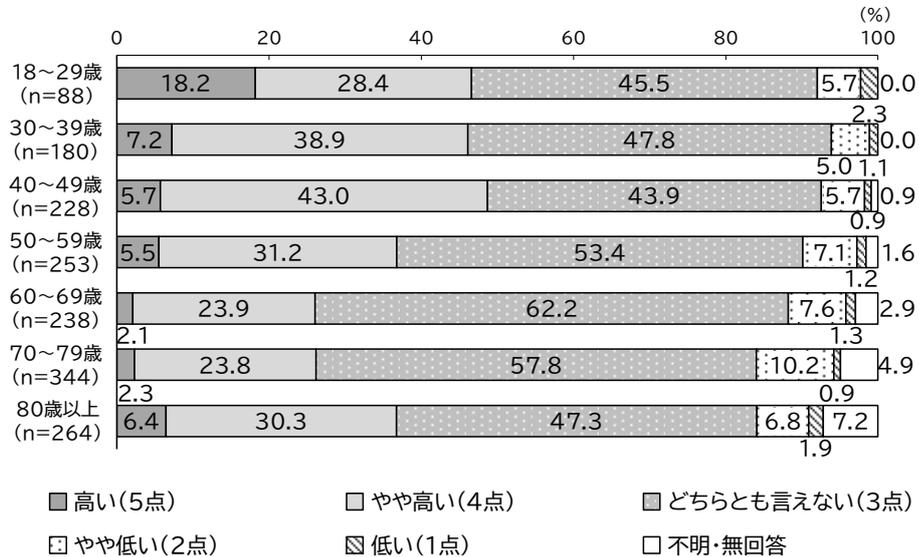
「地域の暮らしの幸福度」について、「18～29歳」は「高い」が、「40～49歳」は「やや高い」が他の年代よりも多く、「70～79歳」は「高い」が他の年代よりも少なくなっています。

地域の暮らしの幸福度(単数回答)



「自分だけでなく周りの人も楽しい気持ちでいるか」について、「18～29歳」は「高い」が、「40～49歳」は「やや高い」が他の年代よりも多くなっています。「60～69歳」「70～79歳」は「高い」が他の年代よりも少なくなっています。

自分だけでなく周りの人も楽しい気持ちでいるか(単数回答)

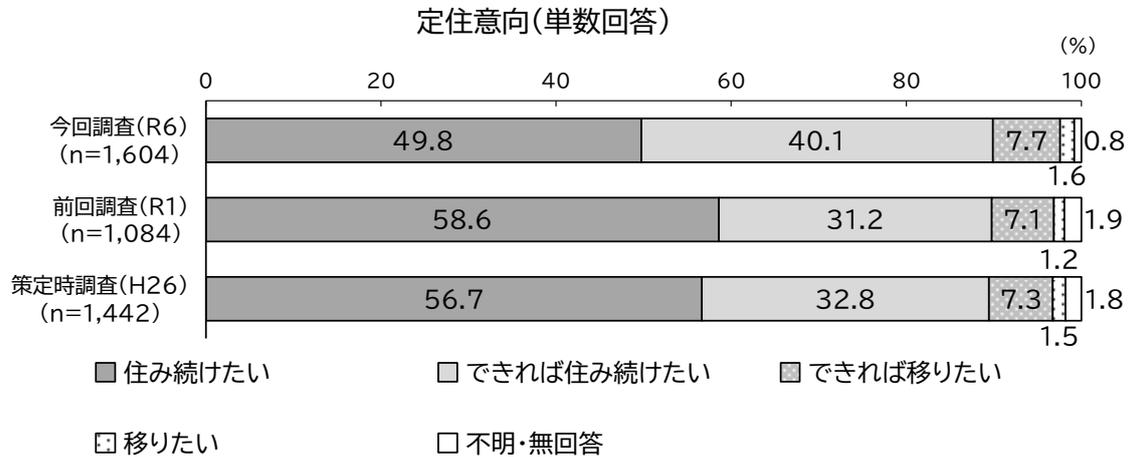


2. 長岡京市の住み心地

(1) 定住意向

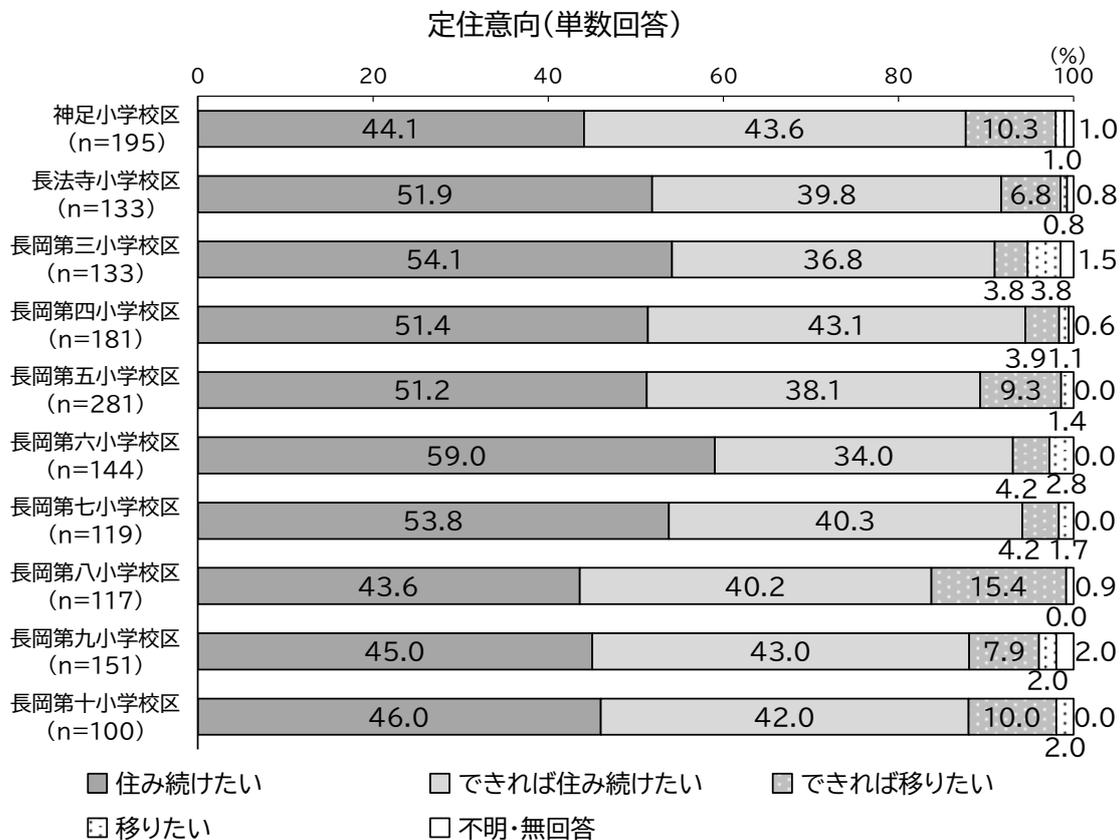
「住み続けたい」が最も多く49.8%、次いで「できれば住み続けたい」が40.1%、「できれば移りたい」が7.7%などとなっています。

前回調査（R1）と比較すると、「住み続けたい」が少なくなっています。



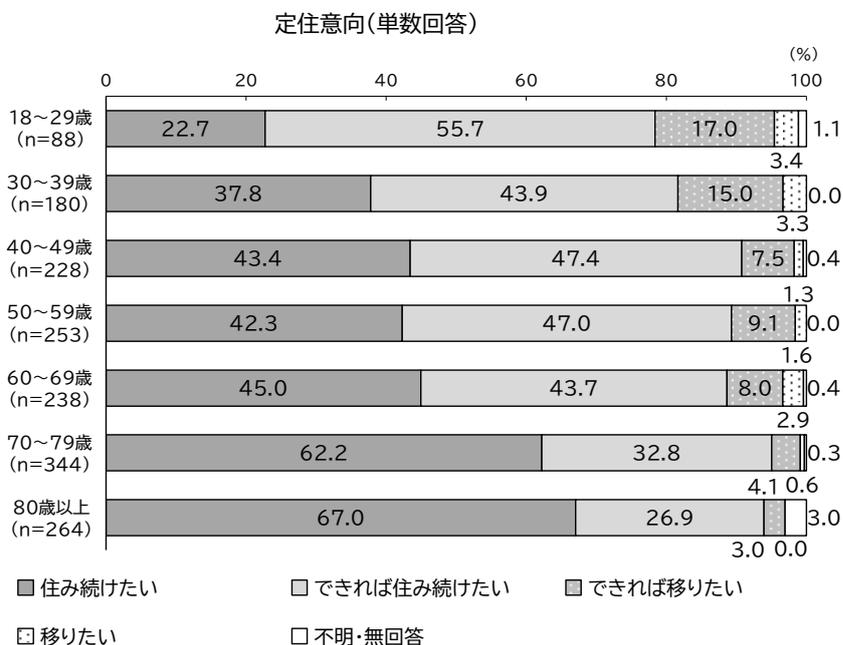
【小学校区別】

小学校区別にみると、「長岡第六小学校区」では「住み続けたい」が、「長岡第八小学校区」では「できれば移りたい」が、他の小学校区と比べて多くなっています。



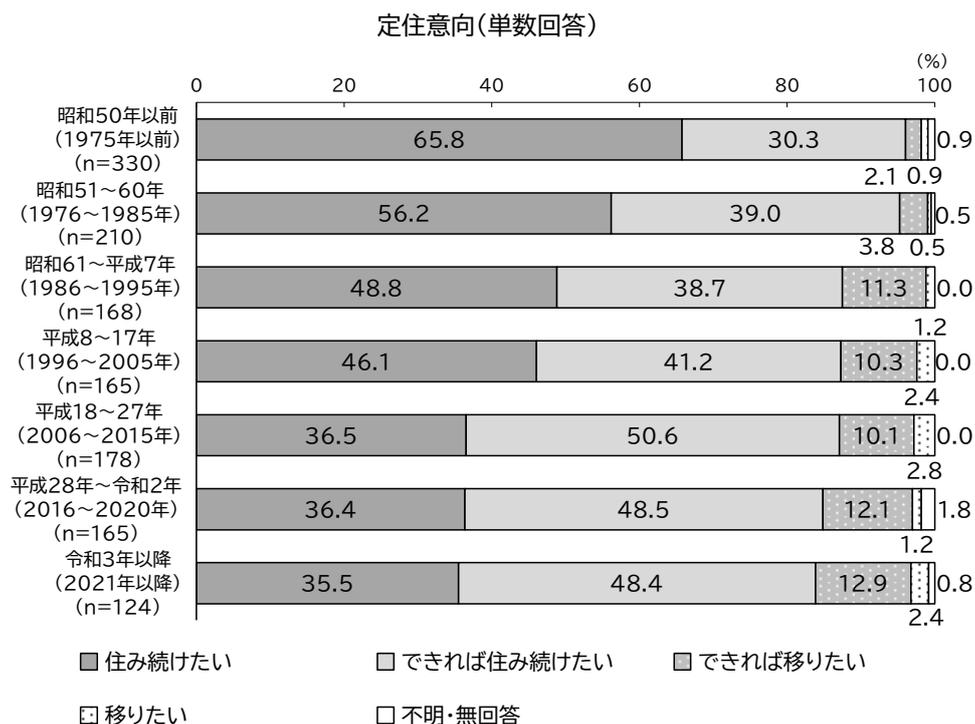
【年代別】

年代別にみると、「70～79歳」「80歳以上」では「住み続けたい」が、「18～29歳」「40～49歳」「50～59歳」では「できれば住み続けたい」が、「18～29歳」「30～39歳」では「できれば移りたい」が、他の年代と比べて多くなっています。



【転入時期別】

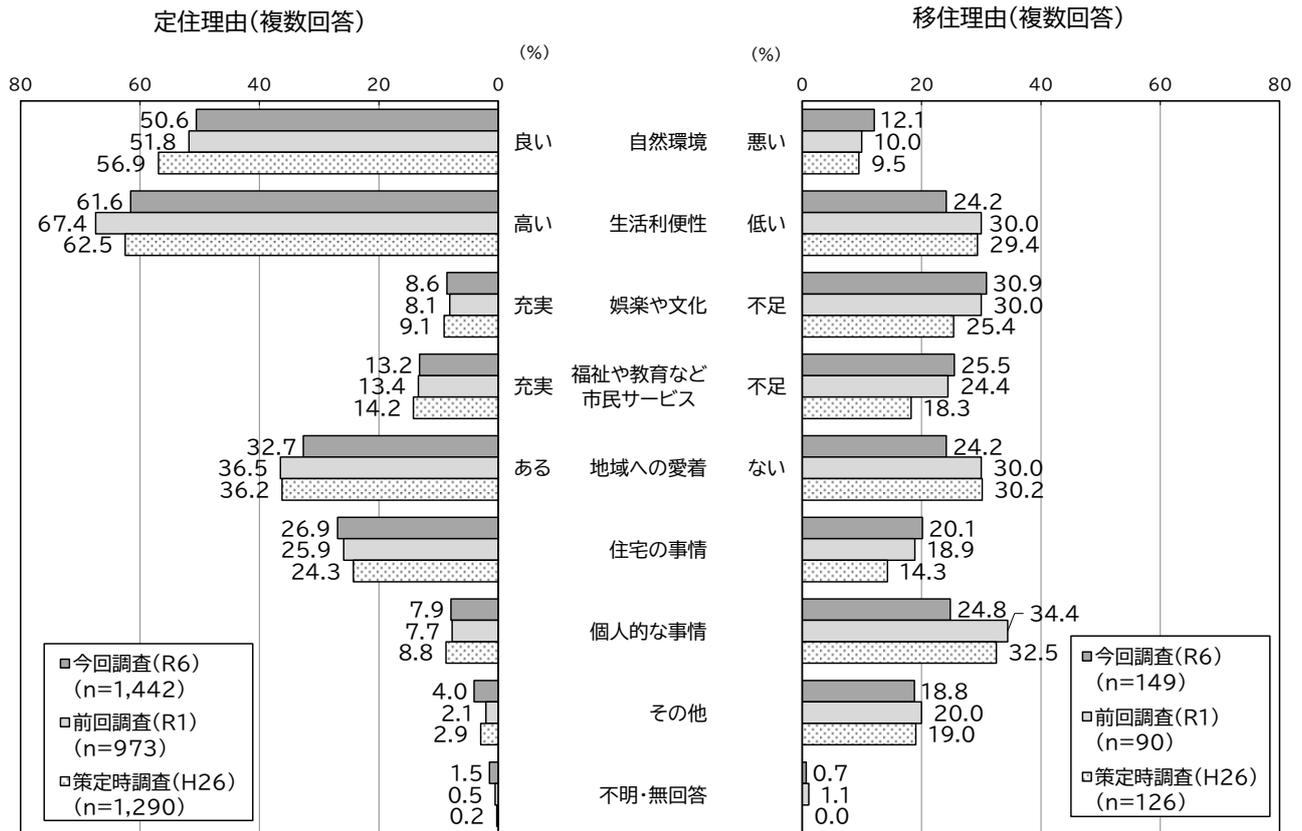
転入時期別にみると、「昭和50年以前(1975年以前)」「昭和51～60年(1976～1985年)」では「住み続けたい」が、「平成18～27年(2006～2015年)」「平成28年～令和2年(2016～2020年)」では「できれば住み続けたい」が、「平成28年～令和2年(2016～2020年)」「令和3年以降(2021年以降)」では「できれば移りたい」が他の転入時期と比べて多くなっています。



(2) 定住・移住理由

住み続けたい理由について、「通勤・通学や買物など生活する上で便利がよいから（生活利便性）」が最も多く61.6%、次いで「緑などまちな自然環境がよいから（自然環境）」が50.6%、「地域に愛着があるから」が32.7%などとなっています。これらの項目は前回調査と同様に上位となっています。

移りたい理由について、「娯楽や文化など生活の楽しみが不足しているから」が最も多く30.9%、次いで「福祉や教育など市民サービスが不足しているから」が25.5%、「個人的な事情で」が24.8%などとなっています。前回調査で上位となっていた「生活利便性が低い」「地域への愛着がない」は少なくなっています。

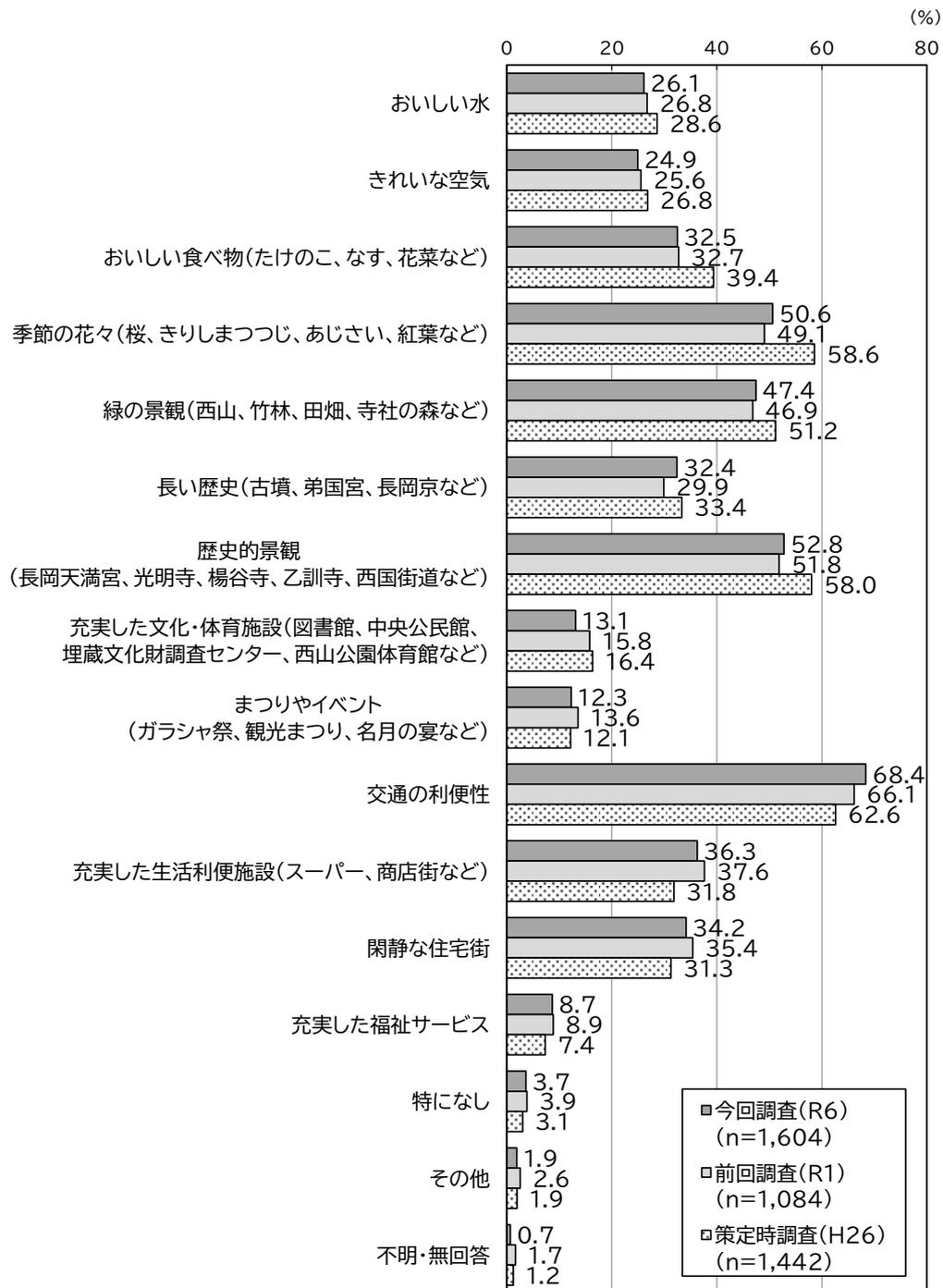


(3) 長岡京市で自慢できるもの・誇りに思うもの

「交通の利便性」が最も多く68.4%、次いで「歴史的景観（長岡天満宮、光明寺、楊谷寺、乙訓寺、西国街道など）」が52.8%、「季節の花々（桜、きりしまつつじ、あじさい、紅葉など）」が50.6%などとなっています。

前回調査と比較して、「充実した文化・体育施設（図書館、中央公民館、埋蔵文化財調査センター、西山公園体育館など）」が少なくなっています。

長岡京市で自慢できるもの、誇りに思うもの(複数回答)



【小学校区】

小学校区別にみると、「長岡第五小学校区」では「緑の景観」が、「長岡第十小学校区」では「歴史的景観」が、それ以外の小学校区では「交通の利便性」が第1位となっています。

(%)

	神足小学校区	長法寺小学校区	長岡第三小学校区	長岡第四小学校区	長岡第五小学校区	長岡第六小学校区
第1位	交通の利便性 82.6	交通の利便性 63.2	交通の利便性 63.2	交通の利便性 81.2	緑の景観 64.1	交通の利便性 86.8
第2位	歴史的景観 54.4	緑の景観 62.4	緑の景観 55.6	緑の景観/ 歴史的景観 50.8	交通の利便性 55.2	歴史的景観 56.3
第3位	充実した生活利便施設 47.2	季節の花々 61.7	歴史的景観 49.6		季節の花々 54.8	季節の花々 54.9

	長岡第七小学校区	長岡第八小学校区	長岡第九小学校区	長岡第十小学校区	全体
第1位	交通の利便性 64.7	交通の利便性 68.4	交通の利便性 72.8	歴史的景観 54.0	交通の利便性 68.4
第2位	歴史的景観 53.8	歴史的景観 44.4	季節の花々/歴史的景観 49.0	緑の景観/季節の花々 52.0	歴史的景観 52.8
第3位	季節の花々 51.3	季節の花々 41.9			季節の花々 50.6

【年代別】

年代別にみると、「80歳以上」を除く年代で「交通の利便性」が第1位となっています。

(%)

	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	全体
第1位	交通の利便性 69.3	交通の利便性 66.1	交通の利便性 74.1	交通の利便性 76.3	交通の利便性 70.6	交通の利便性 66.9	歴史的景観 61.4	交通の利便性 68.4
第2位	歴史的景観 39.8	閑静な住宅街 41.1	緑の景観 40.8	歴史的景観 51.4	歴史的景観 58.8	歴史的景観 63.7	季節の花々 60.6	歴史的景観 52.8
第3位	季節の花々/長い歴史 35.2	歴史的景観 36.1	歴史的景観 40.4	季節の花々 48.6	季節の花々 53.8	季節の花々 63.4	交通の利便性 57.2	季節の花々 50.6

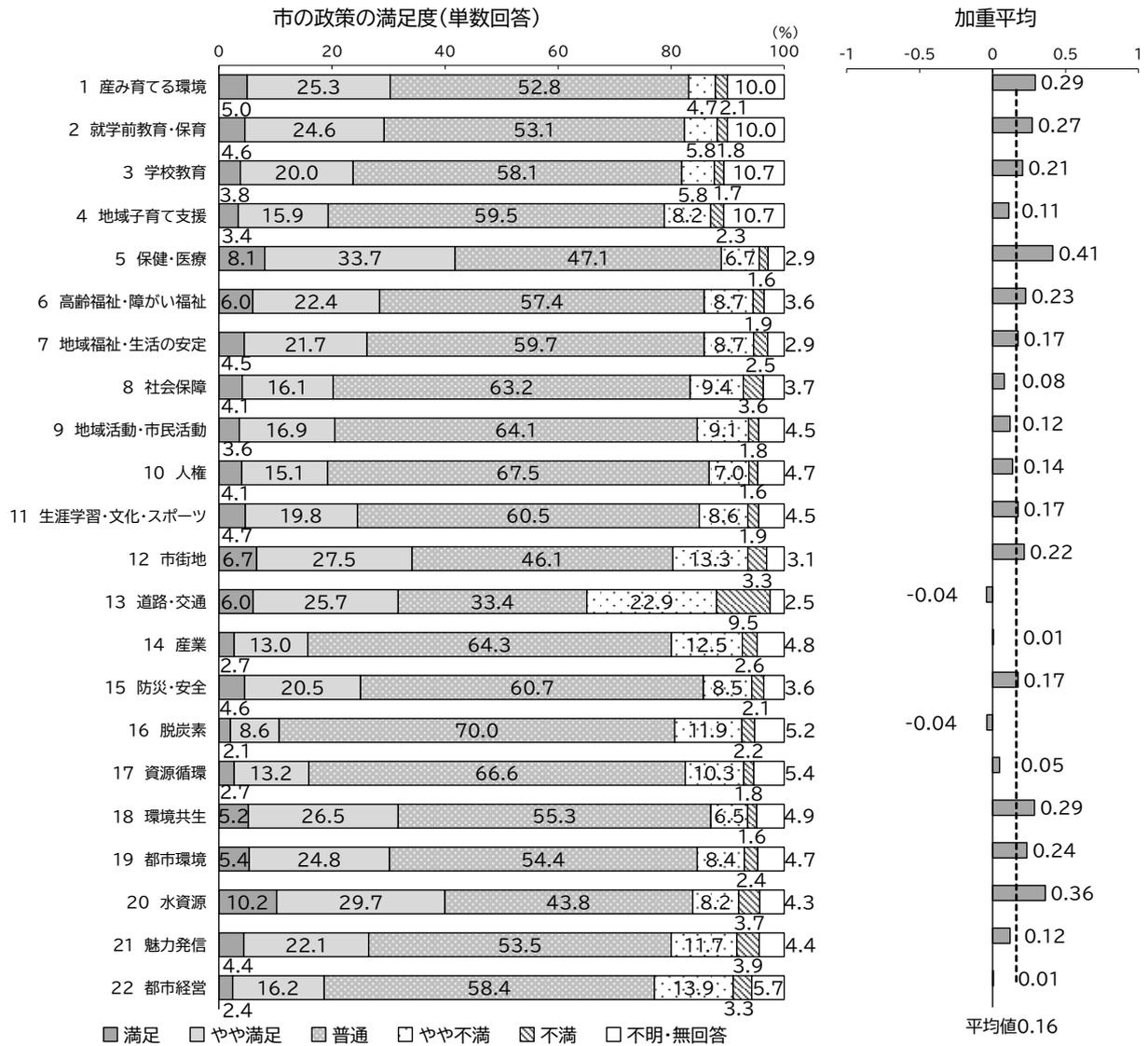
3. 市の政策の満足度と重要度

(1) 市の政策の満足度

① 政策分野全体

『満足』（「満足」「やや満足」の合計）について、「5 保健・医療」が最も多く41.8%、次いで「20 水資源」が39.9%、「12 市街地」が34.2%などとなっています。

『不満』（「やや不満」「不満」の合計）について、「13 道路・交通」が最も多く32.4%、次いで「22 都市経営」が17.2%、「12 市街地」が16.6%などとなっています。

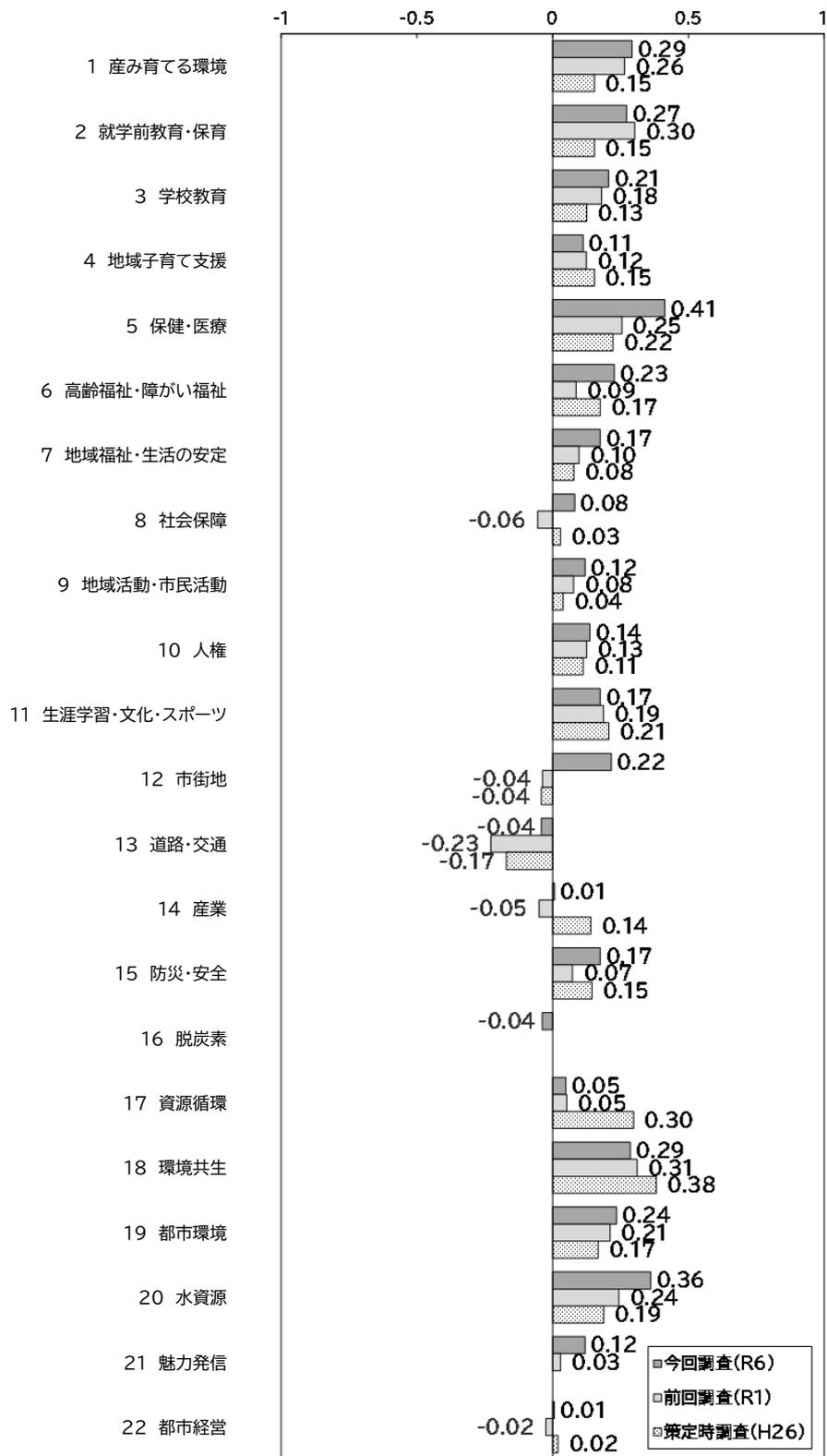


※ 加重平均は「満足」+2、「やや満足」+1、「普通」0、「やや不満」-1、「不満」-2の加重評点を与えて平均点を算出しています。

【経年比較】

前回調査と比較すると、「5 保健・医療」「6 高齢福祉・障がい福祉」「8 社会保障」「12 市街地」が上昇し、「16 脱炭素」「2 就学前教育・保育」「18 環境共生」が下がっています。

満足度の加重平均(経年比較)



② 政策分野別の満足度

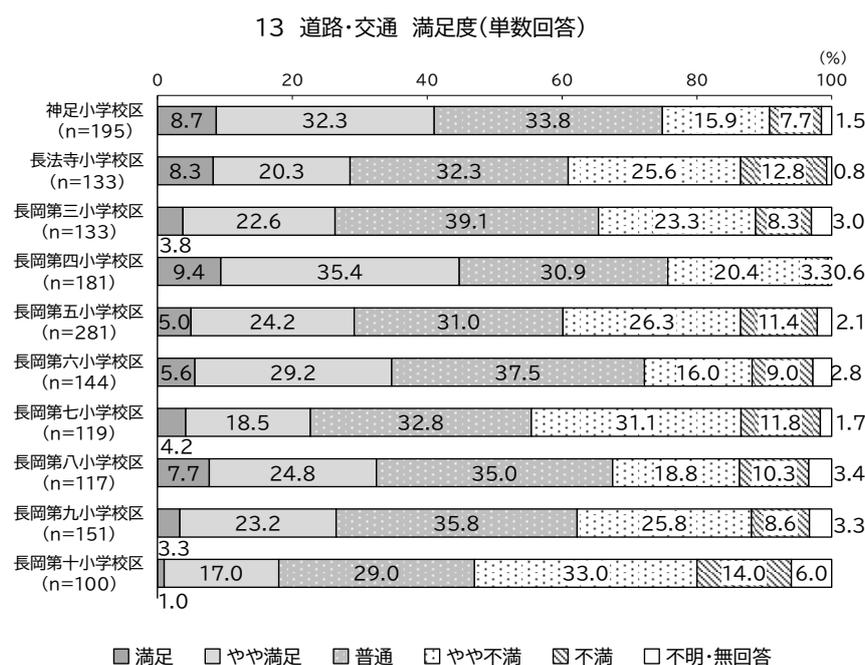
満足度の加重平均値の下位 5 位の政策分野、前回調査から加重平均が下がっている政策分野について小学校区別、年齢別に差があったものを整理しています。

	小学校区別	年齢別
13 道路・交通	◎	◎
14 産業	差なし	◎
16 脱炭素	差なし	◎
17 資源循環	差なし	◎
22 都市経営	差なし	◎

■ 13 道路・交通

【小学校区別】

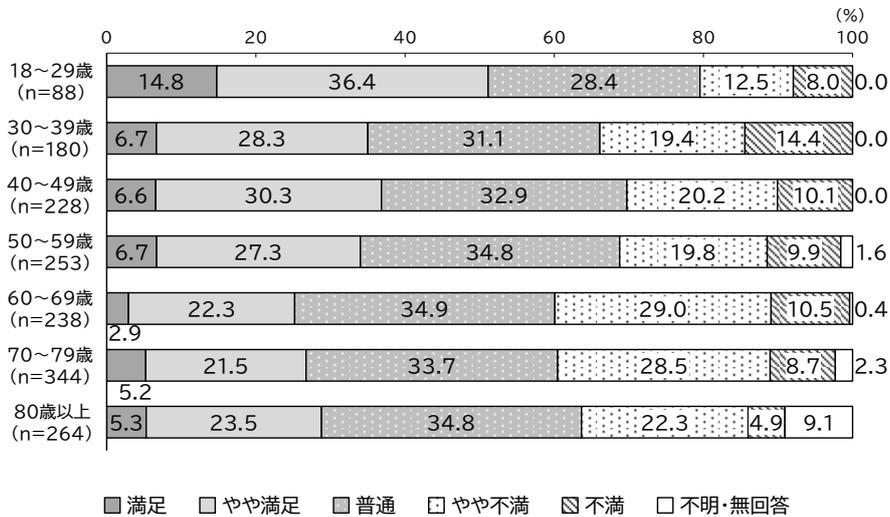
小学校区別にみると、「長岡第四小学校区」では「満足」が、「神足小学校区」「長岡第四小学校区」では「やや満足」が、「長岡第七小学校区」「長岡第十小学校区」では「やや不満」が他の小学校区と比べて多くなっています。



【年代別】

年代別にみると、「18～29歳」では「満足」「やや満足」が、「60～69歳」「70～79歳」では「やや不満」が、「30～39歳」では「不満」が他の年代と比べて多くなっています。

13 道路・交通 満足度(単数回答)

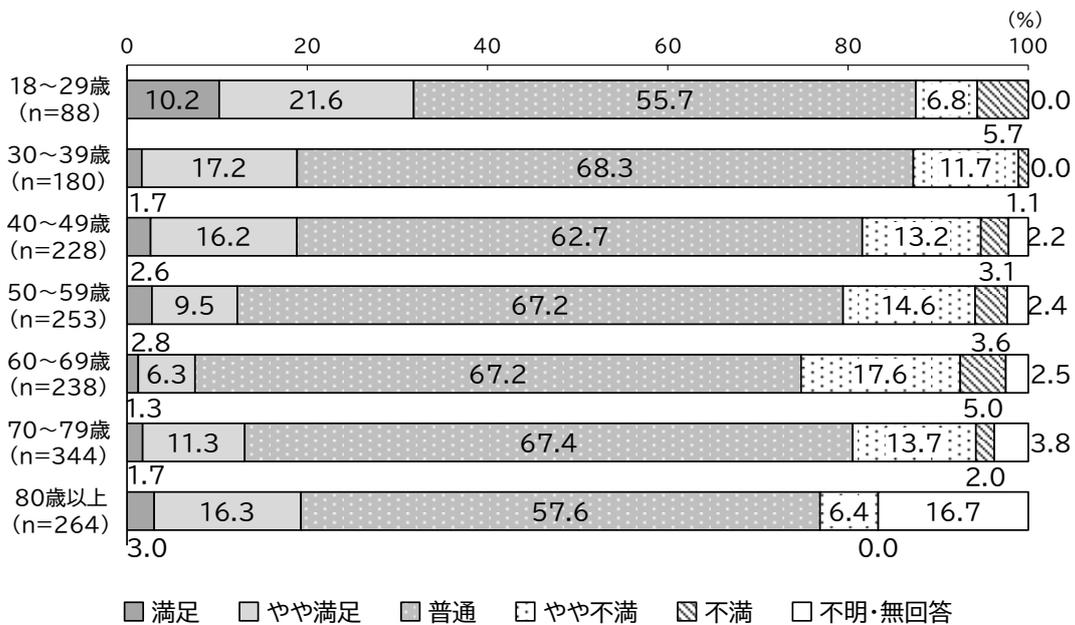


■ 14 産業

【年代別】

年代別にみると、「18～29歳」では「満足」「やや満足」が、「60～69歳」では「やや不満」が他の年代と比べて多くなっています。

14 産業 満足度(単数回答)

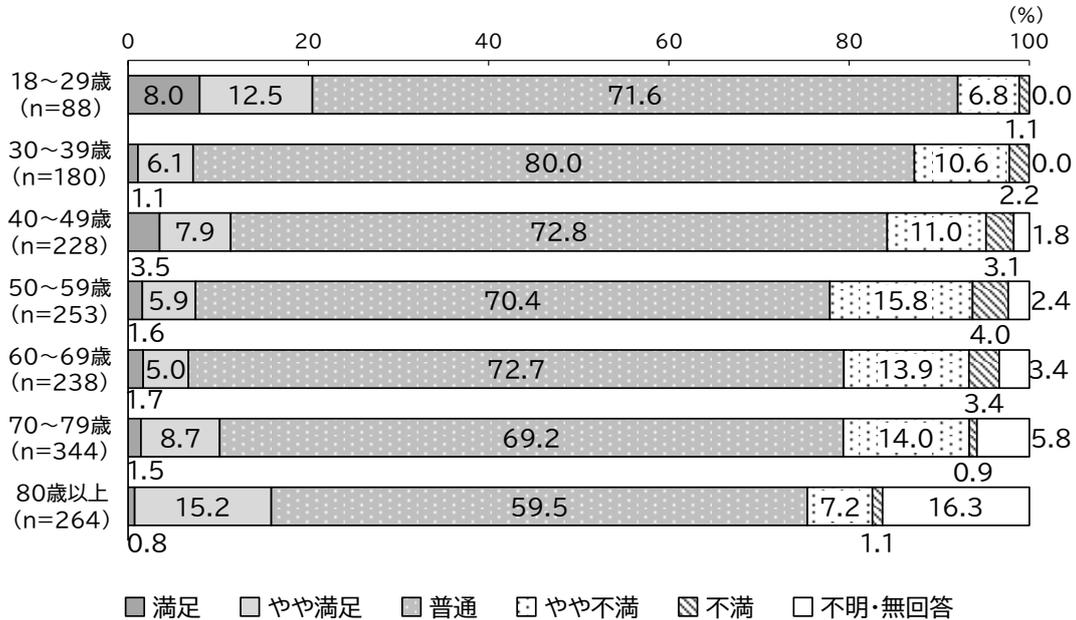


■ 16 脱炭素

【年代別】

年代別にみると、「18～29歳」では「満足」が、「80歳以上」では「やや満足」が、「50～59歳」では「やや不満」が他の年代と比べて多くなっています。

16 脱炭素 満足度(単数回答)

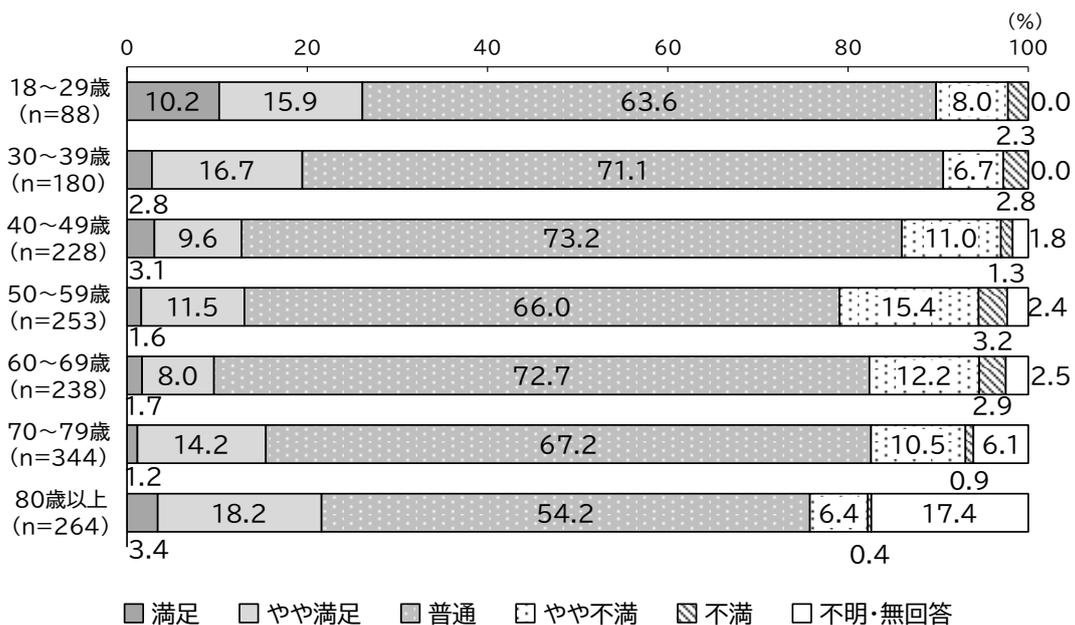


■ 17 資源循環

【年代別】

年代別にみると、「18～29歳」では「満足」が、「80歳以上」では「やや満足」が、「50～59歳」では「やや不満」が他の年代と比べて多くなっています。

17 資源循環 満足度(単数回答)

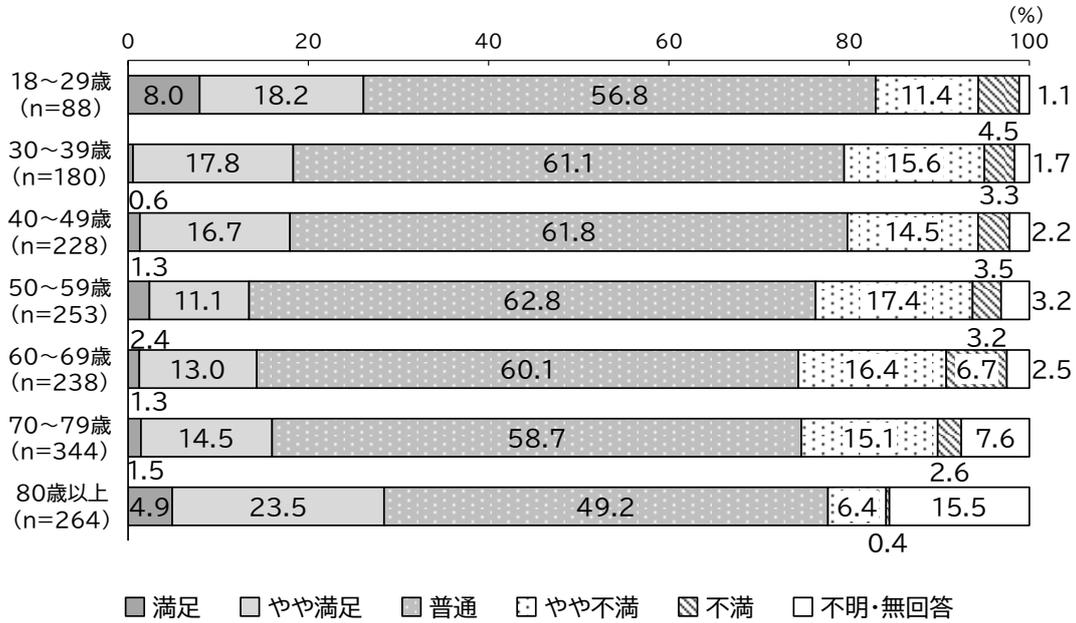


■ 22 都市経営

【年代別】

年代別にみると、「18～29歳」では「満足」が、「60～69歳」では「不満」が他の年代と比べて多くなっています。

22 都市経営 満足度(単数回答)

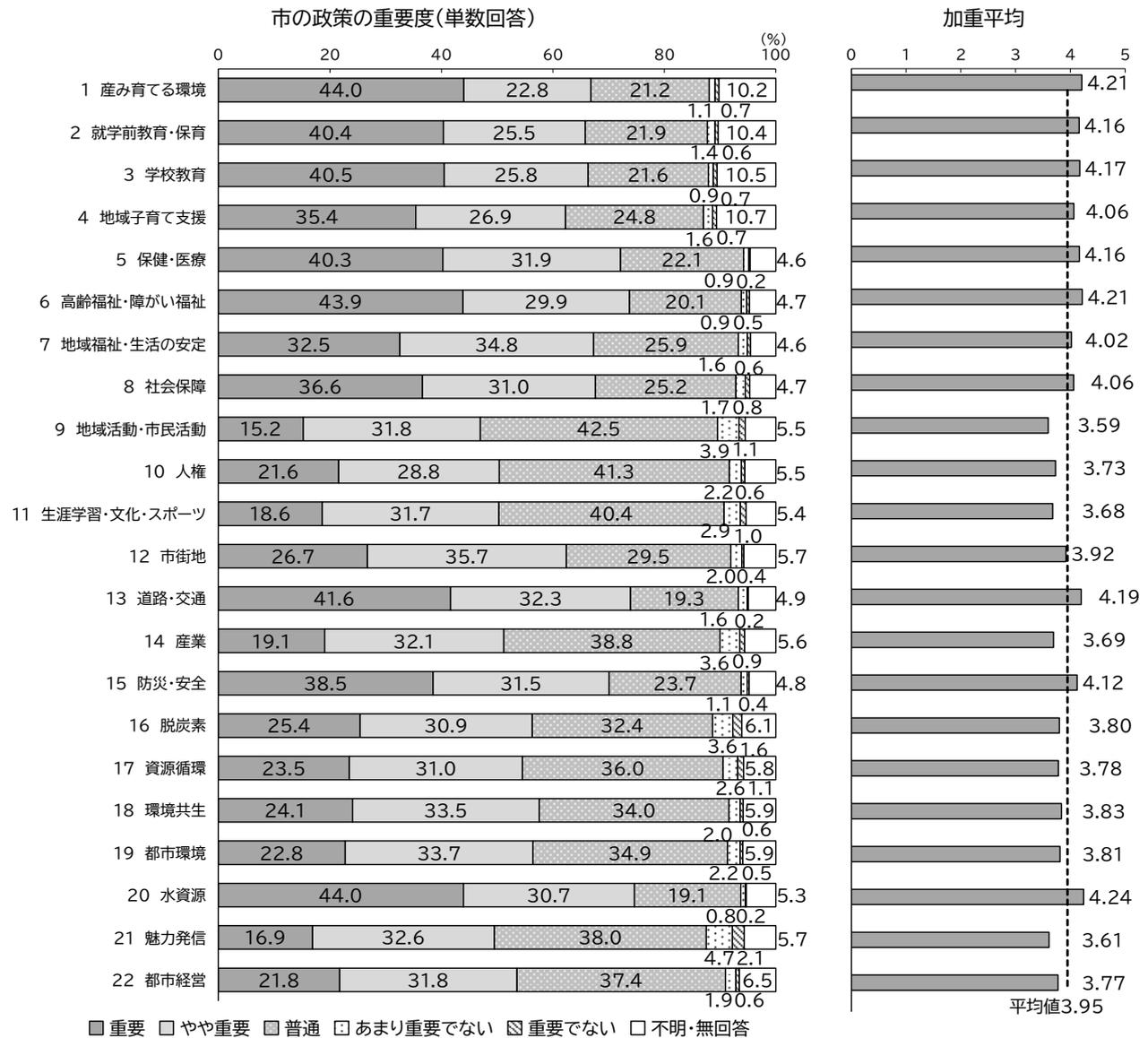


(2) 市の政策の重要度

① 政策分野全体

『重要』（「重要」「やや重要」の合計）について、「20 水資源」が最も多く74.7%、次いで「13 道路・交通」が73.9%、「6 高齢福祉・障がい福祉」が73.8%などとなっています。

『重要でない』（「あまり重要でない」「重要でない」の合計）について、「21 魅力発信」が最も多く6.8%、次いで「16 脱炭素」が5.2%、「9 地域活動・市民活動」が5.0%などとなっています。

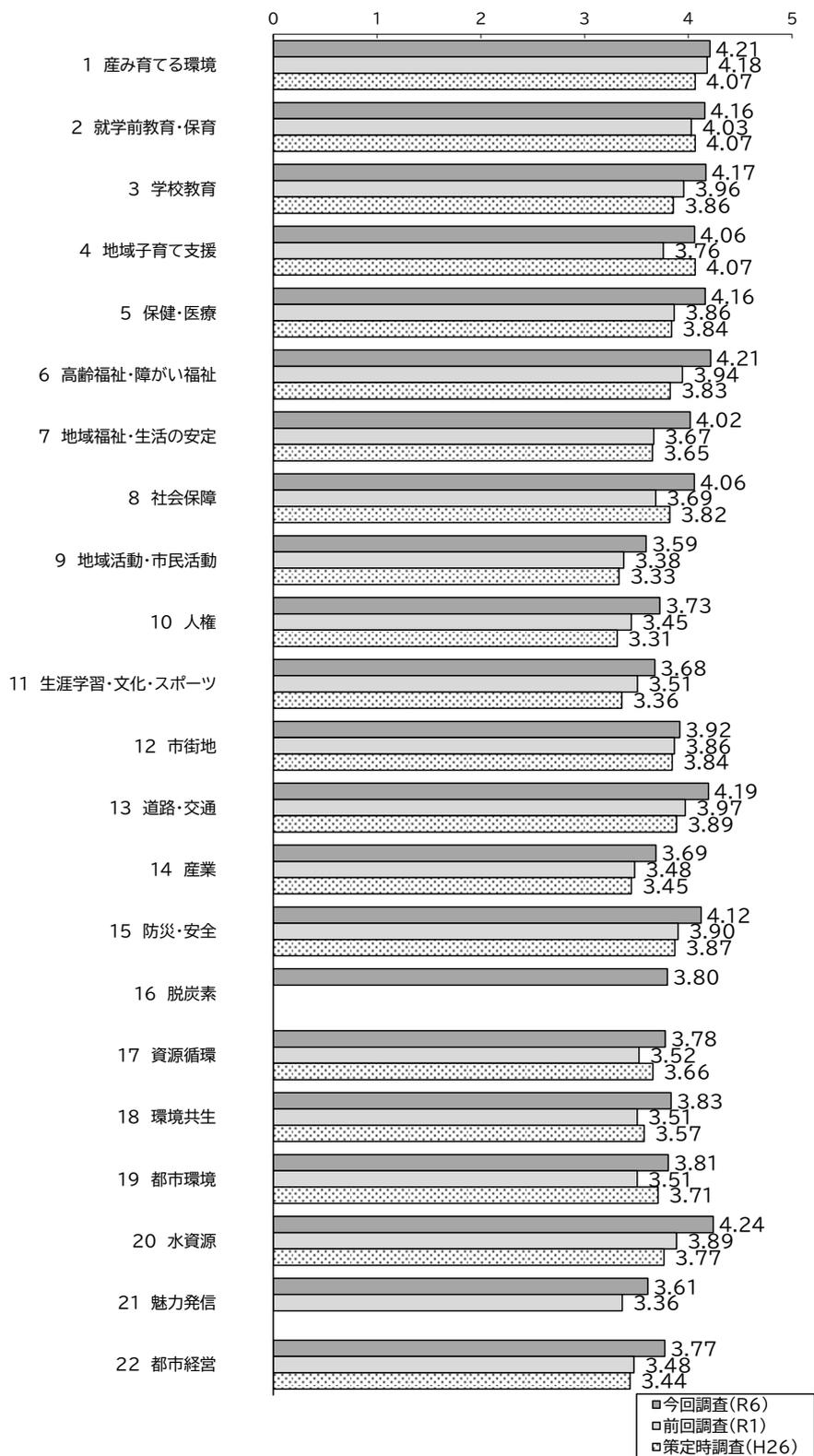


※ 加重平均は「重要」+5、「やや重要」+4、「普通」+3、「あまり重要でない」+2、「重要でない」+1の加重評点を与えて平均点を算出しています。

【経年比較】

前回調査と比較すると、「7 地域福祉・生活の安定」「8 社会保障」「20 水資源」が上昇しています。

重要度の加重平均(経年比較)



② 政策分野別の重要度

重要度の加重平均値の上位 5 位の政策分野、前回調査から加重平均が上昇している政策分野について小学校区別、年齢別に差があったものを整理しています。

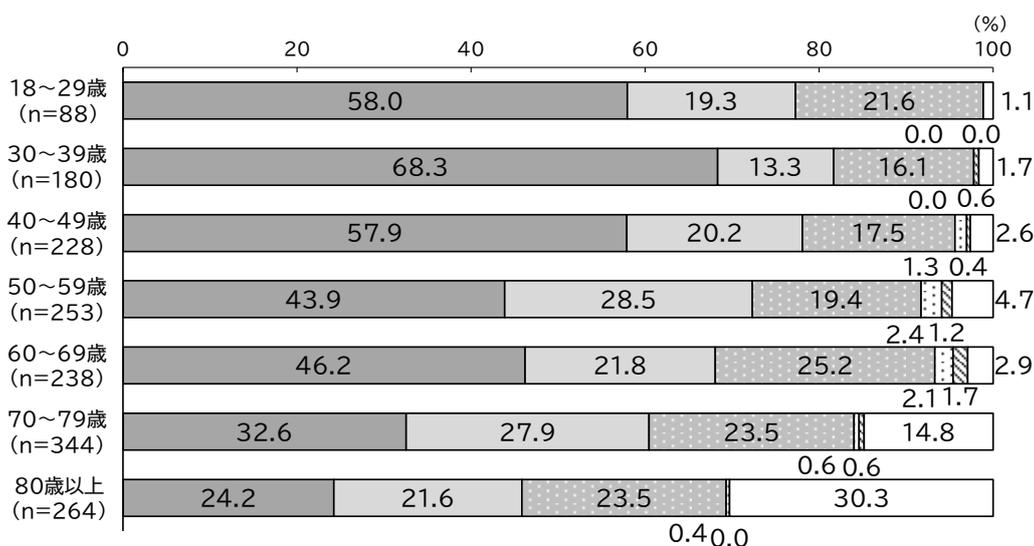
	小学校区別	年齢別
1 産み育てる環境	差なし	◎
3 学校教育	差なし	◎
6 高齢福祉・障がい福祉	差なし	◎
13 道路・交通	差なし	◎
20 水資源	差なし	差なし

■ 1 産み育てる環境

【年代別】

年代別にみると、「30～39 歳」「40～49 歳」では「重要」が、「70～79 歳」では「やや重要」が、他の年代と比べて多くなっています。

1 産み育てる環境 重要度(単数回答)



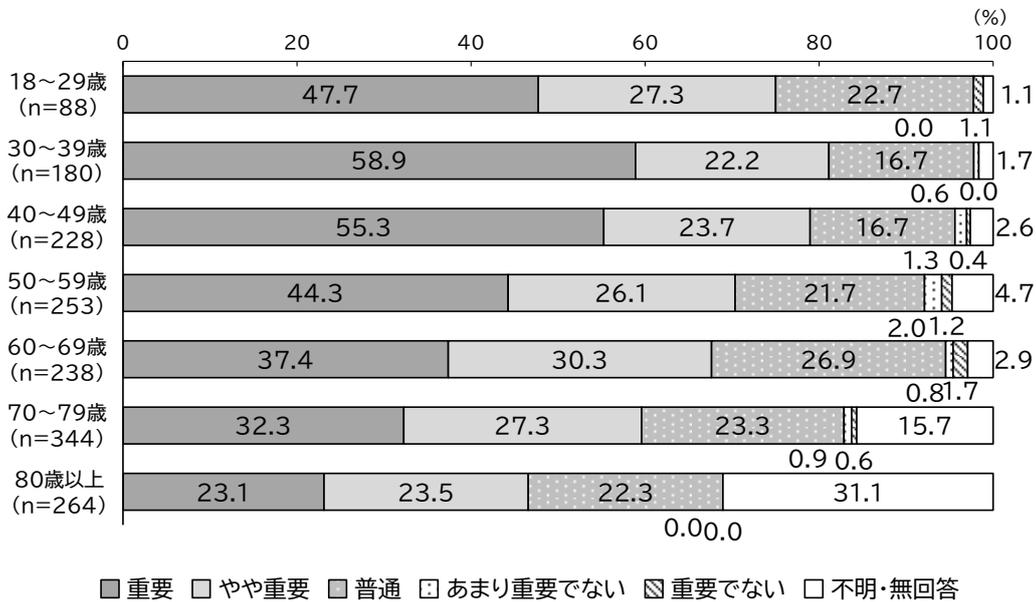
■ 重要 □ やや重要 ■ 普通 □ あまり重要でない ■ 重要でない □ 不明・無回答

■ 3 学校教育

【年代別】

年代別にみると、「30～39 歳」「40～49 歳」では「重要」が他の年代と比べて多くなっています。

3 学校教育 重要度(単数回答)

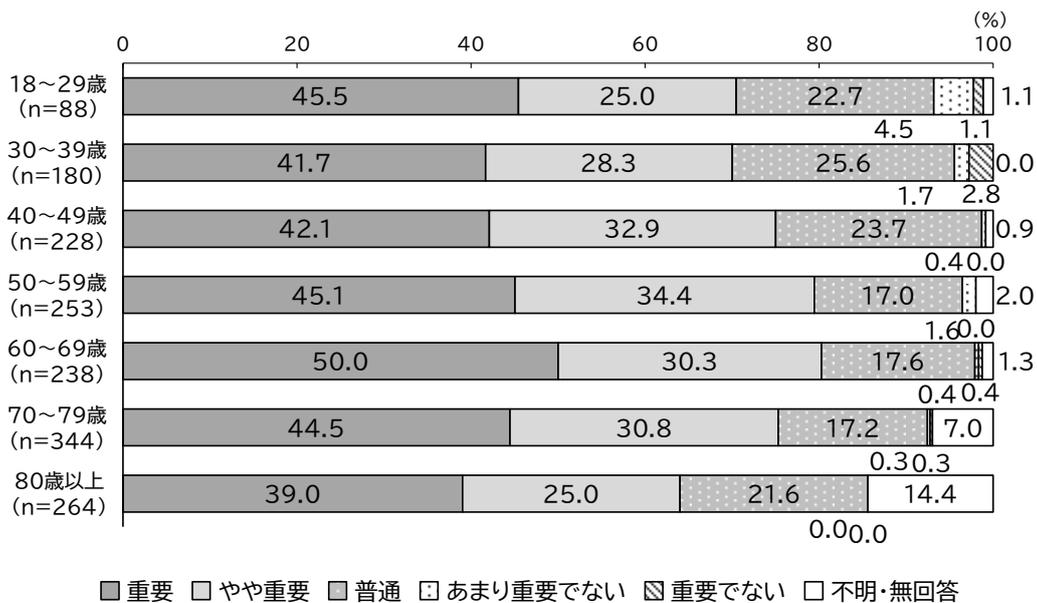


■ 6 高齢福祉・障がい福祉

【年代別】

年代別にみると、どの年代も約7割が「重要」「やや重要」となっており、「50～59 歳」「60～69 歳」で多くなっています。

6 高齢福祉・障がい福祉 重要度(単数回答)

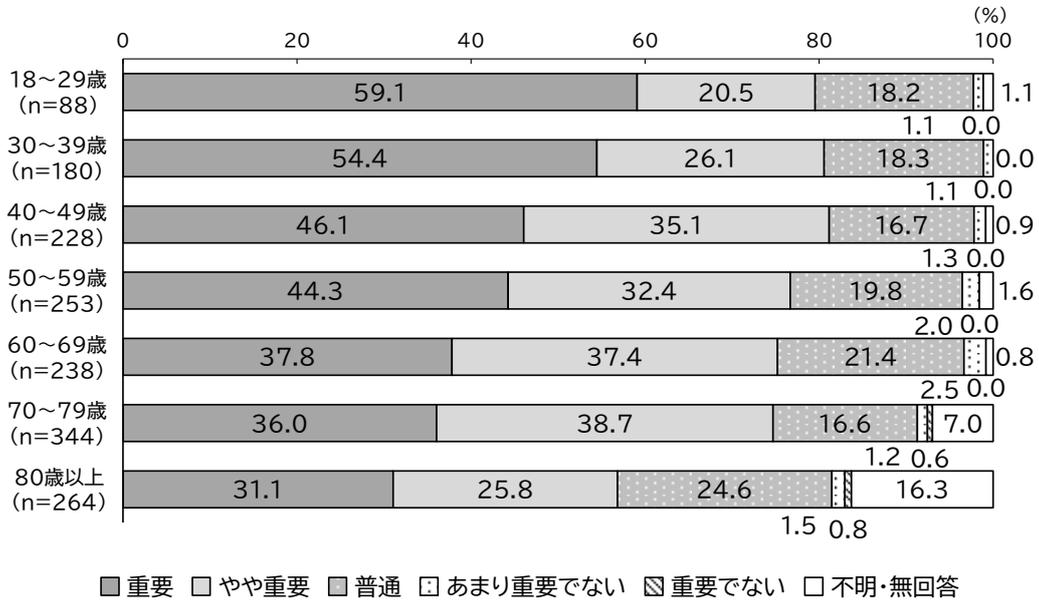


■ 13 道路・交通

【年代別】

年代別にみると、「18～29歳」「30～39歳」では「重要」が、「70～79歳」では「やや重要」が他の年代と比べて多くなっています。

13 道路・交通 重要度(単数回答)



(3) 満足度と重要度の関係

① 全分野の満足度と重要度の関係

それぞれの設問において、結果の加重平均を求め、2軸4象限にプロットすることで、各政策分野について、満足度別にみた重要度を評価しました。

なお加重平均は、満足度については、「満足」+2、「やや満足」+1、「普通」0、「やや不満」-1、「不満」-2、また、重要度については「重要」+5、「やや重要」+4、「普通」+3、「あまり重要でない」+2、「重要でない」+1の加重評点を与えて平均点を算出しています。

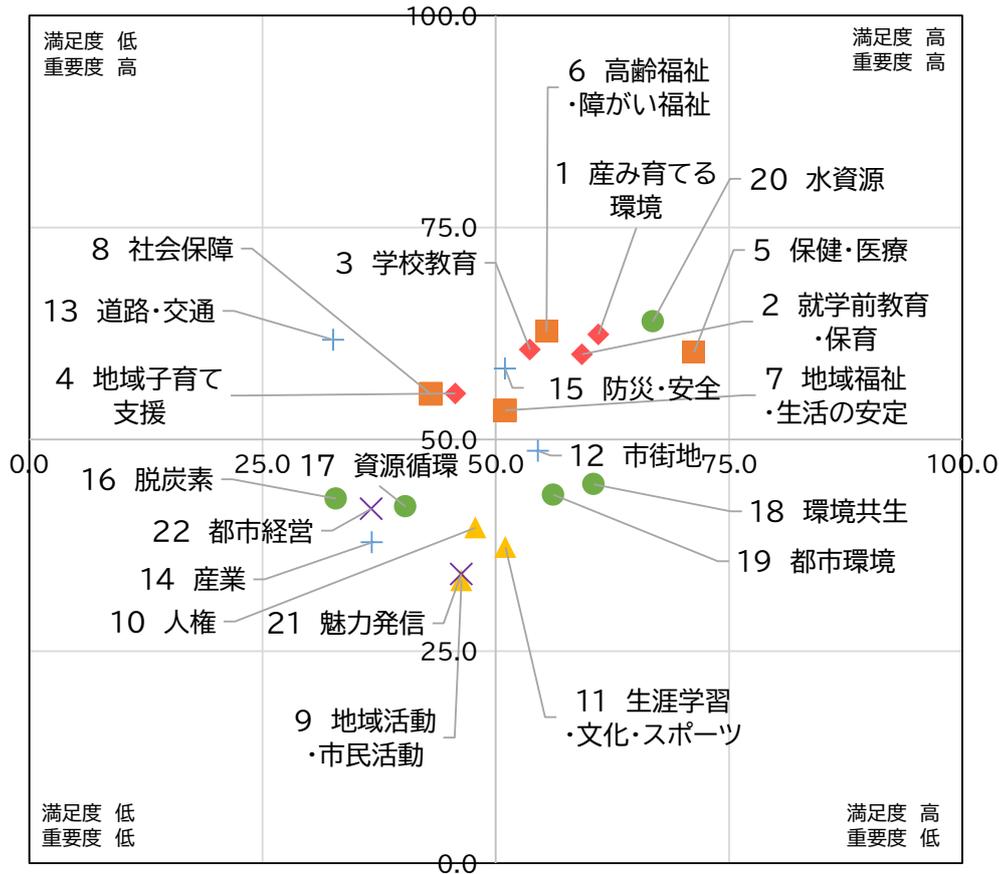
<分野：カッコ内は図中の記号>

<p>【柱1『こども』政策分野1~4】(◆)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 産み育てる環境 2. 就学前教育・保育 3. 学校教育 4. 地域子育て支援 	<p>【柱4『まち』政策分野12~15】(+)</p> <ol style="list-style-type: none"> 12. 市街地 13. 道路・交通 14. 産業 15. 防災・安全
<p>【柱2『くらし』政策分野5~8】(■)</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 保健・医療 6. 高齢福祉・障がい福祉 7. 地域福祉・生活の安定 8. 社会保障 	<p>【柱5『みどり』政策分野16~20】(●)</p> <ol style="list-style-type: none"> 16. 脱炭素 17. 資源循環 18. 環境共生 19. 都市環境 20. 水資源
<p>【柱3『かがやき』政策分野9~11】(▲)</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. 地域活動・市民活動 10. 人権 11. 生涯学習・文化・スポーツ 	<p>【柱6『けいえい』政策分野21~22】(×)</p> <ol style="list-style-type: none"> 21. 魅力発信 22. 都市経営

「1 産み育てる環境」「2 就学前教育・保育」「3 学校教育」「5 保健・医療」「6 高齢福祉・障がい福祉・障がい福祉」「7 地域福祉・生活の安定」「15 防災・安全」「20 水資源」では満足度、重要度ともに高くなっています。

「4 地域子育て支援」「8 社会保障」「13 道路・交通」では満足度が低く、重要度が高くなっています。

各政策の満足度と重要度



※ 重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

■ 政策分野の重要度と満足度の前回調査比較（参考）

政策分野の重要度と満足度について前回調査、前々回調査と比較しました。なお、前々回調査の政策分野は「長岡京市第3次総合計画」の枠組みによるため、今回調査と異なっています。以下に今回調査と前々回調査の政策分野の対応を示します。

今回調査（第4次総合計画体系）		前々回調査（3次総合計画体系）
柱	政策分野	
こども	政策分野 1 産み育てる環境	政策 2 児童の健やかな育成
	政策分野 2 就学前教育・保育	
	政策分野 3 学校教育	政策 13 学校教育の推進
	政策分野 4 地域子育て支援	政策 2 児童の健やかな育成
くらし	政策分野 5 保健・医療	政策 6 保健・医療の充実
	政策分野 6 高齢福祉・障がい福祉	政策 3 高齢者福祉の推進 政策 4 障がい者(児)福祉の推進
	政策分野 7 地域福祉・生活の安定	政策 1 地域福祉の推進 政策 5 生活の安定と自立支援 政策 21 快適に暮らせる住宅の供給
	政策分野 8 社会保障	政策 7 保険事業の充実
かがやき	政策分野 9 地域活動・市民活動	政策 25 市民と行政のパートナーシップの確立
	政策分野 10 人権	政策 14 男女共同参画社会の実現 政策 15 人権尊重と人権教育の推進 政策 17 平和・友好交流の推進
	政策分野 11 生涯学習・文化・スポーツ	政策 12 生涯学習の推進 政策 16 文化の振興・文化財保護
まち	政策分野 12 市街地	政策 18 市街地の計画的整備
	政策分野 13 道路・交通	政策 19 総合的な交通体系の整備
	政策分野 14 産業	政策 22 農林業の振興 政策 23 商工業の振興 政策 24 観光の振興
	政策分野 15 防災・安全	政策 20 防災・防犯体制の整備
みどり	政策分野 16 脱炭素	-
	政策分野 17 資源循環	政策 9 緑豊かな環境づくり
	政策分野 18 環境共生	政策 10 水環境の整備 政策 11 安定した水の供給
	政策分野 19 都市環境	政策 8 環境保全型社会の形成
	政策分野 20 水資源	政策 9 緑豊かな環境づくり 政策 18 市街地の計画的整備
けい えい	政策分野 21 魅力発信	-
	政策分野 22 都市経営	政策 26 市民に開かれた合理的な行財政運営 政策 27 近隣自治体・大学等との連携協力

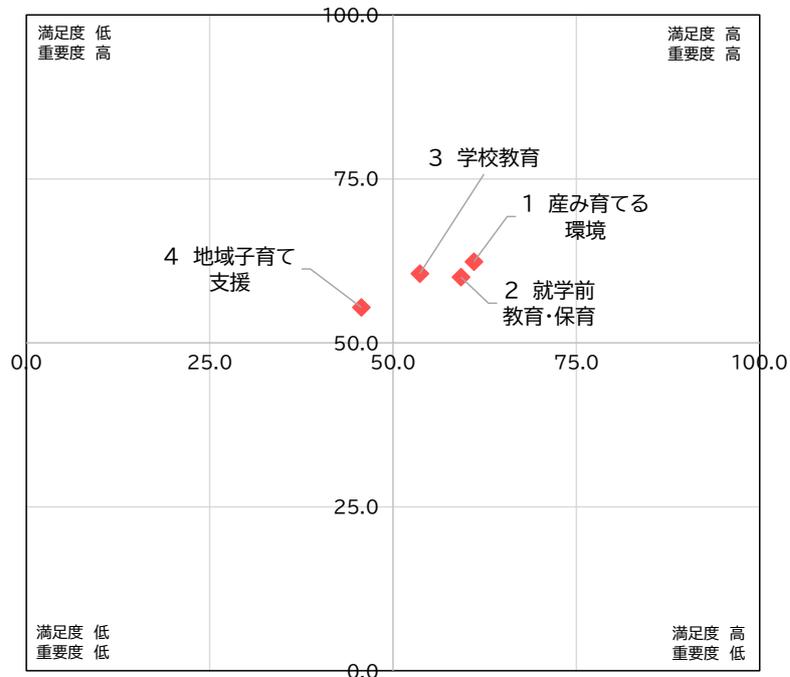
② 柱ごとの満足度と重要度

【柱1『こども』（政策分野1～4）】

「1 産み育てる環境」「2 就学前教育・保育」「3 学校教育」では満足度、重要度ともに高くなっています。一方、「4 地域子育て支援」では満足度が低く、重要度が高くなっています。

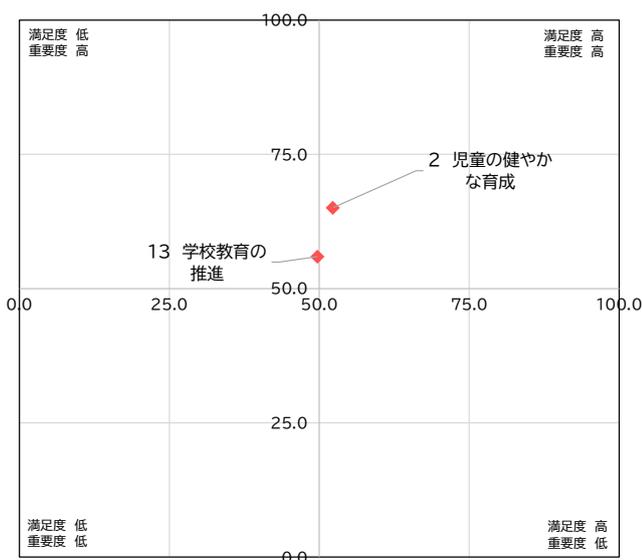
【今回調査（R6）】

柱1『こども』（政策分野1～4）



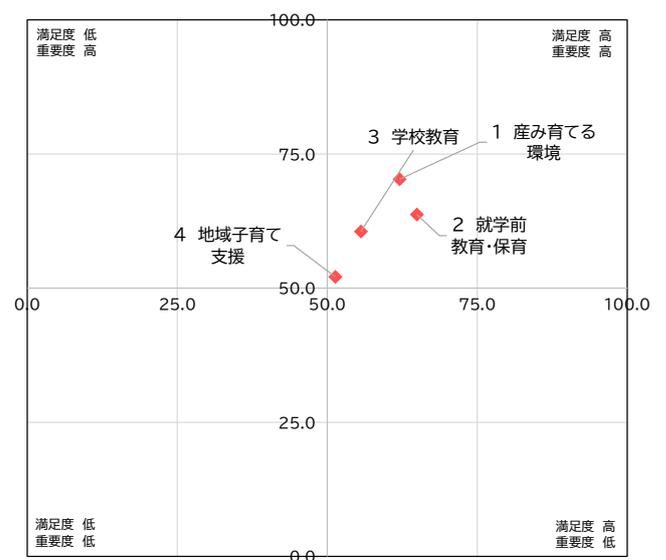
【前々回調査（H26）】

柱1『こども』



【前回調査（R1）】

柱1『こども』（政策分野1～4）



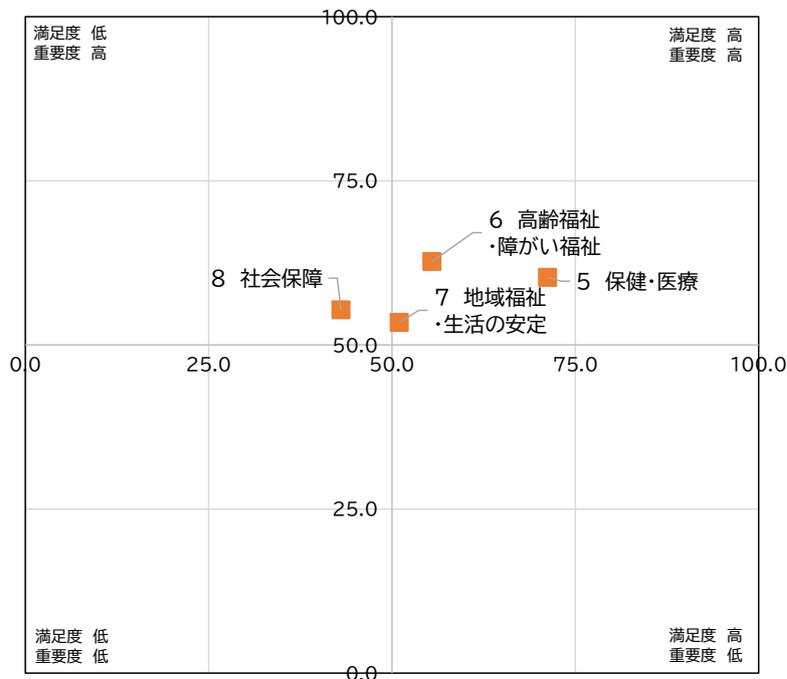
※ 経年比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

【柱2 『暮らし』(政策分野5～8)】

「5 保健・医療」「6 高齢福祉・障がい福祉」「7 地域福祉・生活の安定」では満足度、重要度ともに高くなっています。一方、「8 社会保障」では満足度が低く、重要度が高くなっています。

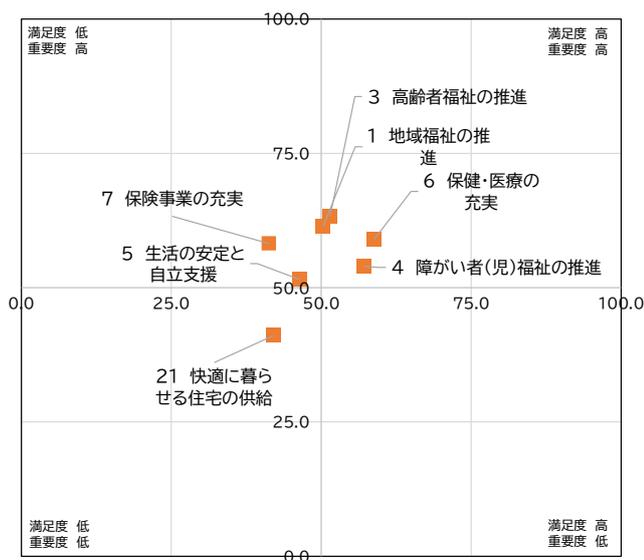
【今回調査 (R6)】

柱2 『暮らし』(政策分野5～8)



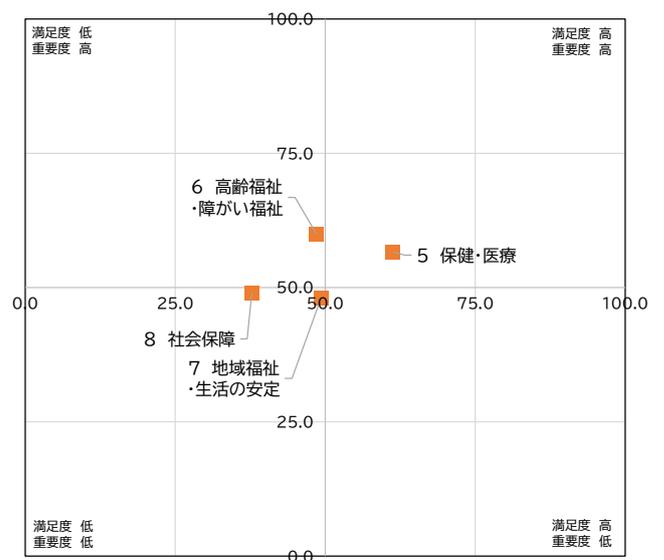
【前々回調査 (H26)】

柱2 『暮らし』



【前回調査 (R1)】

柱2 『暮らし』(政策分野5～8)



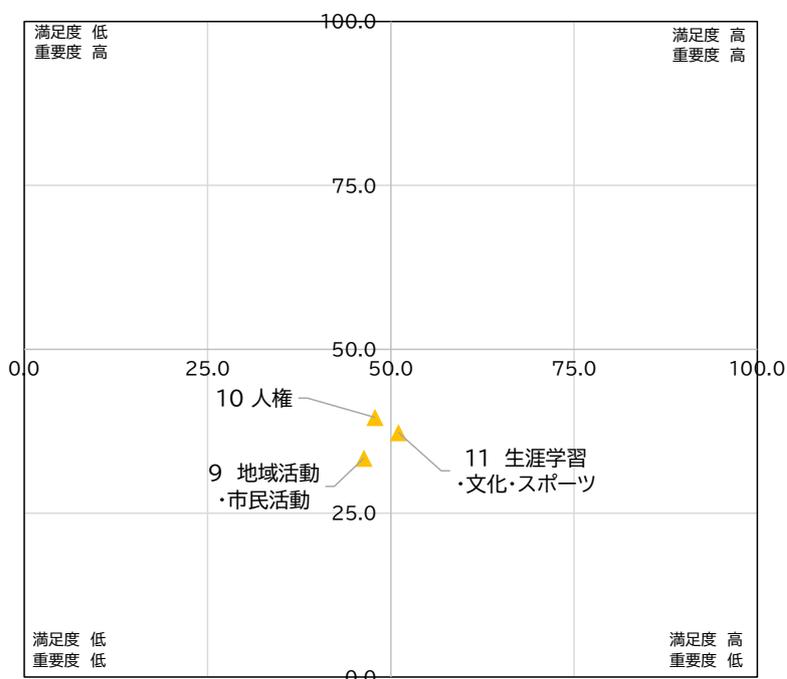
※ 経年比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

【柱3 『かがやき』(政策分野9～11)】

すべての政策分野で重要度が低くなっています。

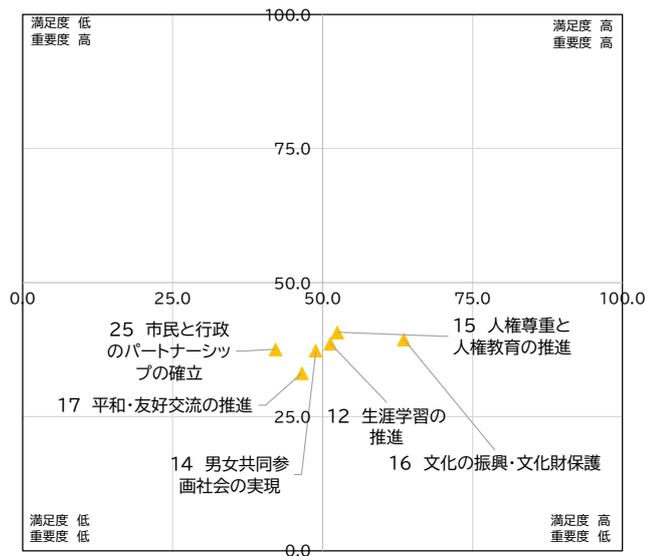
【今回調査 (R6)】

柱3 『かがやき』(政策分野9～11)



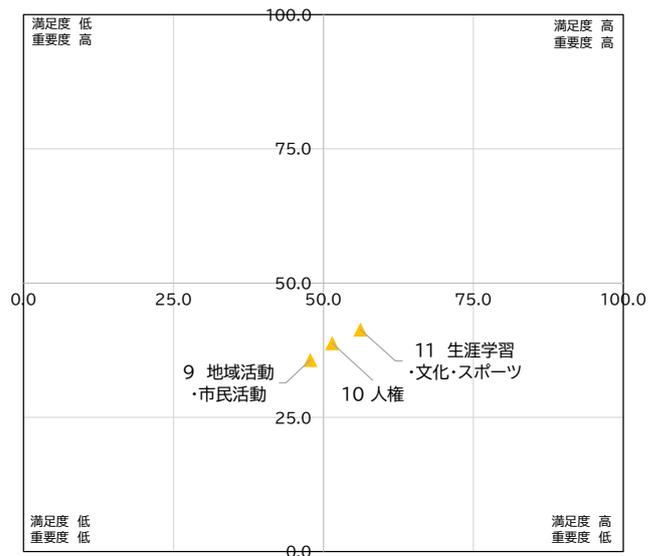
【前々回調査 (H26)】

柱3 『かがやき』



【前回調査 (R1)】

柱3 『かがやき』(政策分野9～11)



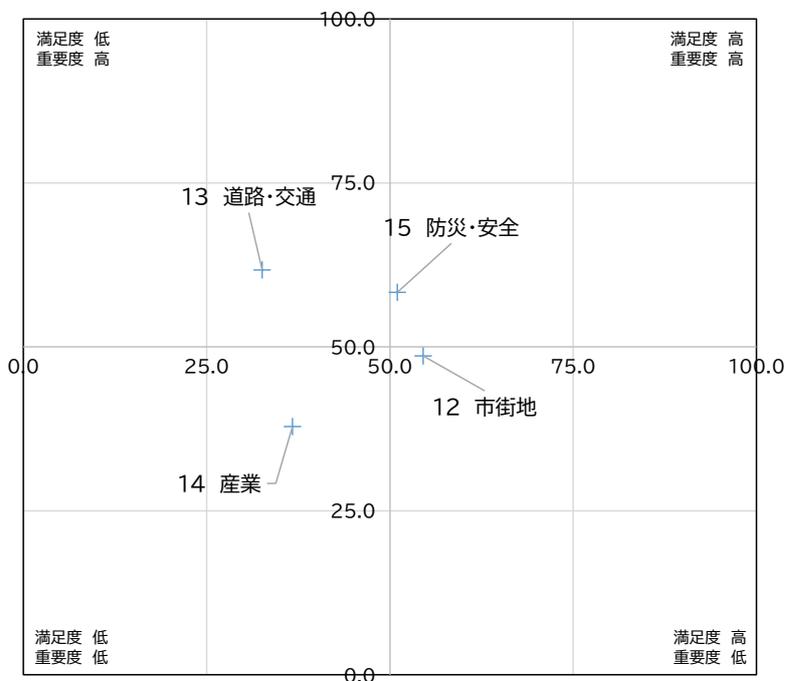
※ 経年比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

【柱4 『まち』(政策分野 12~15)】

「15 防災・安全」では満足度、重要度ともに高くなっています。一方、「13 道路・交通」では満足度が低く、重要度が高くなっています。

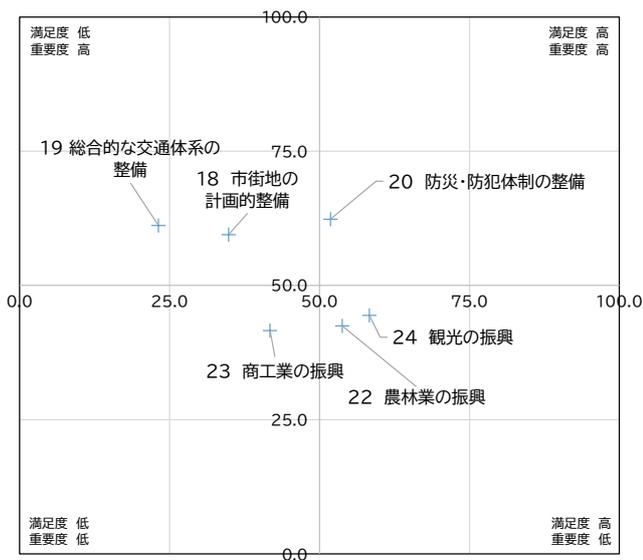
【今回調査 (R6)】

柱4 『まち』(政策分野12~15)



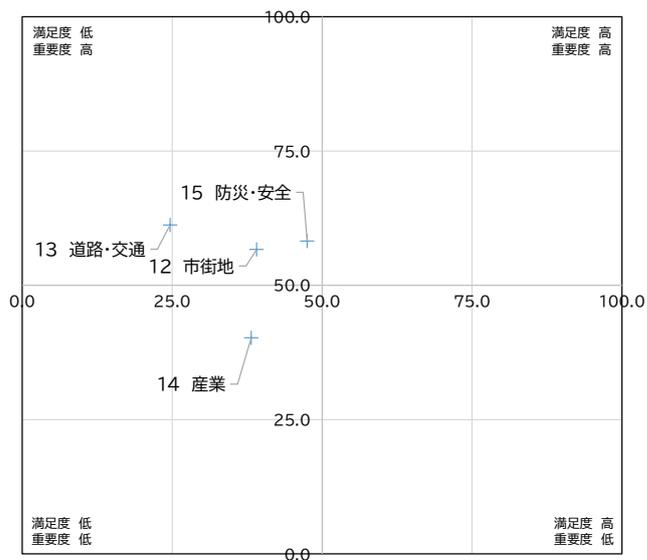
【前々回調査 (H26)】

柱4 『まち』



【前回調査 (R1)】

柱4 『まち』(政策分野12~15)



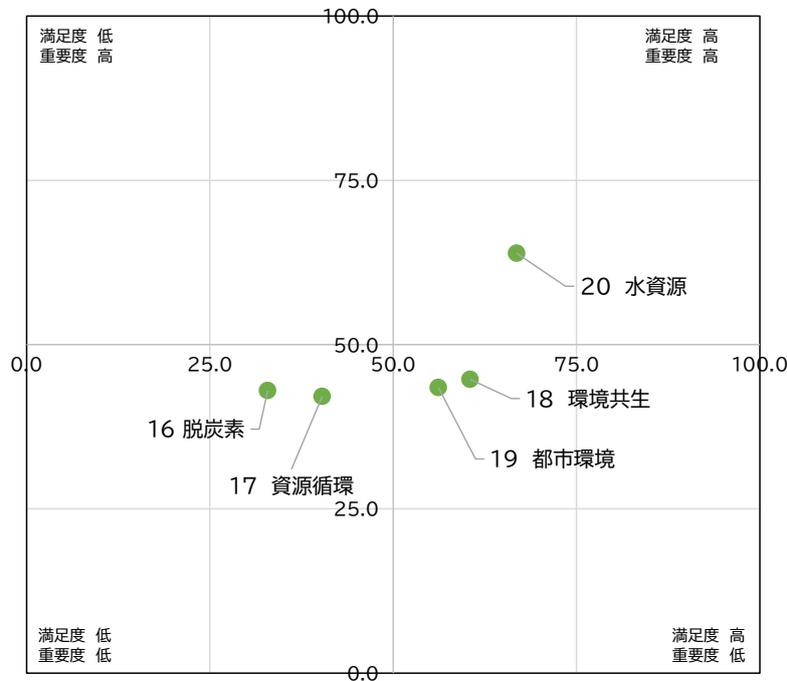
※ 経年比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。

【柱5 『みどり』(政策分野16~20)】

「20 水資源」では満足度、重要度ともに高くなっています。一方、他の政策分野は重要度が低くなっています。

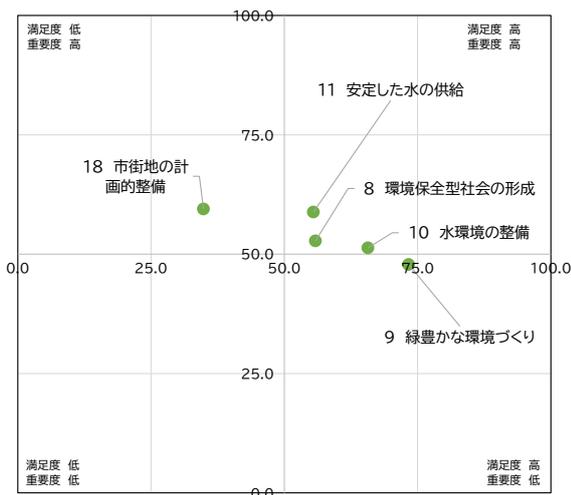
【今回調査 (R6)】

柱5 『みどり』(政策分野16~20)



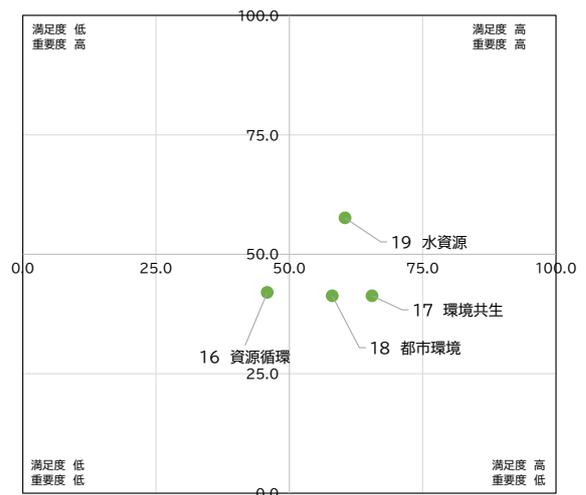
【前々回調査 (H26)】

柱5 『みどり』



【前回調査 (R1)】

柱5 『みどり』(政策分野16~19)



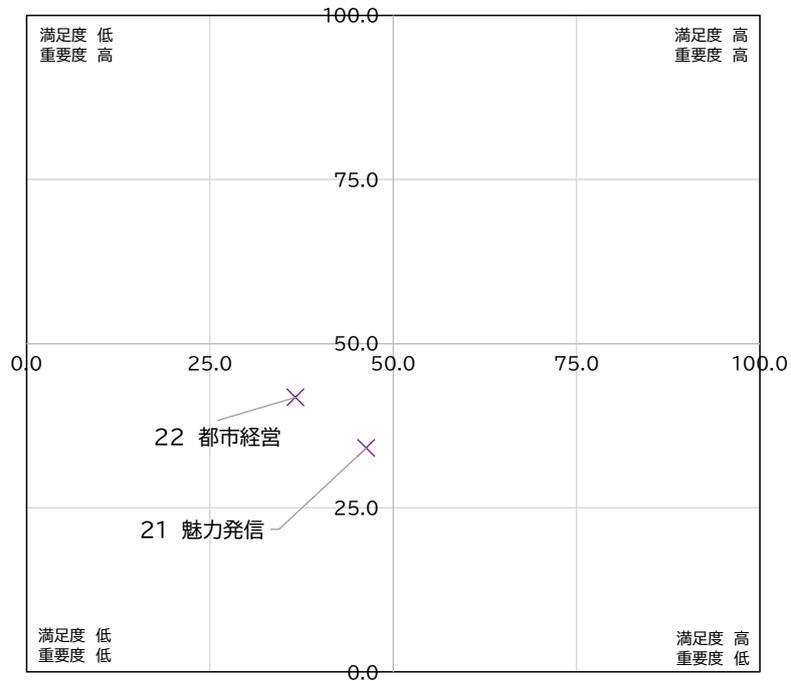
※ 前回調査との比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を50として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。「16 脱炭素」が今回調査からの項目のため、政策分野番号に相違がある。

【柱6 『けいえい』(政策分野 21~22)】

すべての政策分野で重要度が低くなっています。

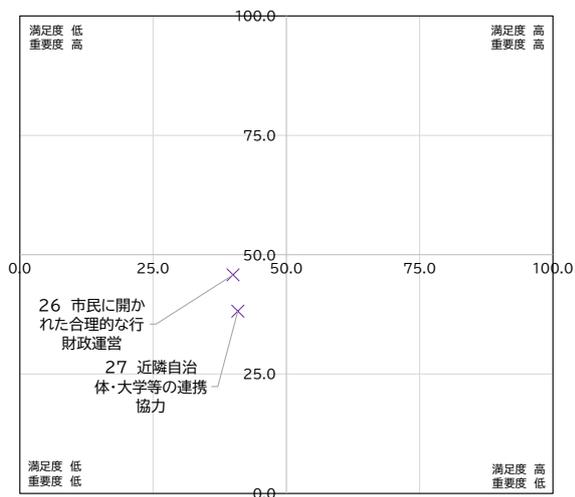
【今回調査 (R6)】

柱6 『けいえい』(政策分野21~22)



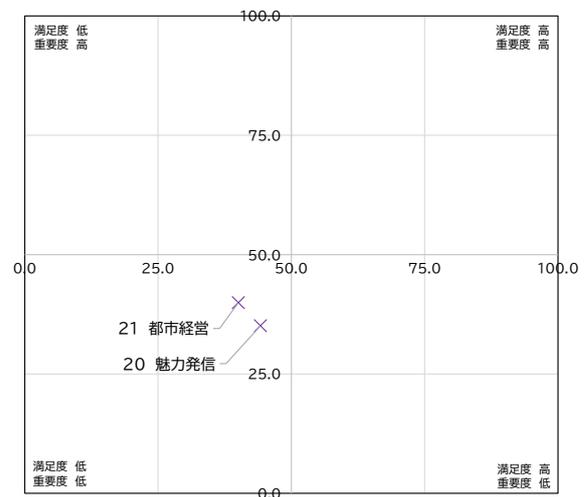
【前々回調査 (H26)】

柱6 『けいえい』



【前回調査 (R1)】

柱6 『けいえい』(政策分野20~21)



※ 前回調査との比較のため、重要度、満足度のそれぞれの加重平均の平均値を 50 として、各政策分野の加重平均値を置き換えている。「16 脱炭素」が今回調査からの項目のため、政策分野番号に相違がある。

(4) 重要と思う政策分野についての意見や要望、取組のアイデア等

重要と思う政策分野についての意見や要望、取組のアイデア等について、延べ 503 件の回答がありました。政策分野ごとの主な意見は以下のとおりです。

※回答いただいたご意見は、市民の皆様の主観に基づき分類されている場合があります、第 2 期基本計画の政策分野区分とは異なる場合があります。

政策分野	主な意見
<p>1. 産み育てる環境 (97 件)</p>	<p>(子育て環境の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが遊べる屋内施設の充実（遊具のある公園・児童館等）。 ・ 関西圏で子育て環境に適した地域として PR してほしいです。 ・ 児童センターや無料で未就園児が遊べる講座も他市に比べると少なく、行ける所がない。 <p>(産前産後・乳幼児期の安心の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出産前後の女性の心身のケア対策。 ・ 赤ちゃんをつれて出かけられる場所、居場所を増やしてほしい。 ・ 休日診療・救急の受け入れ可能な小児科、（無痛分娩可能な）産婦人科を増やす。 <p>(子育てにかかる経済的負担の軽減)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生まれた後の補助の充実。 ・ 子どもの医療費が月 200 円なのでとても助かっている。 ・ 第 1 子の保育料の無償化を 0 才～に。 ・ 教育費の負担を各家庭均一に減らしてほしい。 ・ 出産や子育てに係る独自の給付（出産祝金・幼児教育無償等）。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安心してベビーカー押して歩ける歩道の確保。 ・ 未就学児から小学生までが遊べる場所がない。 ・ 病児保育施設があるのは、すごく助かるが、もう少し受け入れの人数を増やすとか、預けやすくしてほしい。預けるのに半日かかる。
<p>2. 就学前教育・保育 (50 件)</p>	<p>(就学前教育・保育の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公園遊具の充実、雨でも遊べる施設。 ・ 地域子育て支援センターの予約を簡単にできるようにしてほしい。 ・ 保育園へのシルバー人材登用等で地域活性化を図るのも良いと思います。 ・ フリーランスも多い時代、保育の条件の見直しを。 ・ 保育要件の緩和。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ こども服を購入できるお店がほしい。 ・ 検診や講座がある保健センターが遠く、交通の便も悪く参加したいことがあっても難しい。 ・ 公園はキレイだが、木など自然がなく影がないので夏はとても遊べない。

政策分野	主な意見
<p>3. 学校教育 (26件)</p>	<p>(学びの充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の質の向上（教職員の労働条件の向上（賃金と労働時間）が良い教職員を多く集めることができ、そのことが児童や生徒の為になる）。 ・ 市として、統一した教育方針のもと、どこの学校でも質の高い学力、確かな人間性を育てほしい。 ・ 平等に教えてもらえる環境。 <p>(学校施設の設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学童にもスクリーンを導入して、学校をお休みする時に学童にも自動的に連絡できるシステムに。 ・ 長法寺小学校の学童建て替えを早く推進してほしい。 ・ 中学校がどこも古い。汚い。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ フリースクールに通う家族に補助金を。 ・ 小学校、中学校の給食費無償化。 ・ PTAの改革、教育委員会をもっとオープンに。 ・ 健康診断の際、上半身裸にして行う形態を意地でも変えないのが怖い。 ・ 通学の安全性を確保。
<p>4. 地域子育て支援 (22件)</p>	<p>(子どもの居場所・交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校以外での学ぶ場所の選択肢を多く作ってほしい。安心して遊べる公園や施設の充実。 ・ 学童の教員も増やしてほしい。 ・ 保育園と学童の休み（お盆など）が異なり、困る。 <p>(青少年の健全育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援にはいつも年齢の上限がありますが、大学生の頃には何もありません。うちは大学の頃が一番生活が困窮していました。 ・ 守ることは大切ですが、少し負担をかけてあげて自力で乗り越える力を養ったり、「逆境」は人を成長させる」と言います。強い心も育てて行けたら良い。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 私立幼稚園が多い市なので、保護者への負担（時間、費用など）をできる限り少なく。 ・ 他の地域では支給品があるのでうちにも導入してくれたらありがたい。（例：出産したらバウンサー、オムツ等） ・ 現在妊娠中であるが兄弟加点等なしで保育園に入れるのか不安。

政策分野	主な意見
<p>5. 保健・医療 (20件)</p>	<p>(健康づくりの促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが気軽に病院にかかれて、健診のお知らせなんかも律儀に届くので、それもありがたい。 ・ 診療所、病院とも充実していてとても満足。 ・ 各種がん検診の申し込みを対象者にハガキ等で知らせてもいいのかなど。長岡京は少し分かりにくい。 ・ 市民の健康維持のため、(周知のため) 検査のチケット発行してほしい。 <p>(医療体制の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病院、医院に行く足が必要です。バスがもう少しあると嬉しい。 ・ 市内の小児科の Dr. が軒並み高齢で、今後小児科がなくなるのではないかと不安。 ・ 小児～高齢者までいつでも必要な時は受け入れてもらえる医師の体制を切望します。 ・ 唯一の拠点病院だが評判が悪く、デジタル化も進みすぎていて簡単に HP も見れずに受診を断念した。選択できる拠点病院があれば。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療費の補助を外来高校生までにしてほしい。 ・ 災害時に備えて、病院の活用方法などのお知らせがあればと思う。 ・ 老人会の定例会で、市の保健師さんが来て腹話術で健康の話や体操で楽しく時間が過ごせます。又これからもよろしく。 ・ 市内の救急病院数軒に電話したが全て断わられた。最後に電話したのが済生会病院で電話受付もしっかりしていて、安心して診てもらえた。
<p>6. 高齢福祉・障がい福祉 (13件)</p>	<p>(元気に齢を重ねられるための環境の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域によって、買い物等、当たり前の生活が困難な場所が多く見受けられるように思います。 ・ 高齢者のバス代無料。 ・ 特養ホームに家族の負担を少しでも軽くできる様なシステムで入居サポートしてほしい。 <p>(介護等への支援の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢福祉施設の案内や、説明がもっと解りやすく説明されているものがあればよい。 ・ 親の介護や支援について見通しを持てるような情報発信や相談しやすい場の設定を希望します。 ・ 高齢者への施策が不十分。入りたい施設を中々利用できないので老後が心配。

政策分野	主な意見
<p>6. 高齢福祉・障がい福祉 (続き)</p>	<p>(障がいのある人等への支援の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障がいがある子のリハビリができる施設がない。 ・ 障がい福祉の施設、業者が少ないと思います。事業者がもっと充実するような手当て、施策をもっと打ち高齢化に対応十分な体制にすべきでは。 ・ 障がい福祉サービスの利用時に必要となるサービス等利用計画を利用者本人でも作れるようにしてほしい。現状長岡京市では相談支援所が人手不足等で利用できず高槻市や京都市へ依頼せざるを得ない。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道が広くベビーカーでも安心して通れるよう整備されてきていると感じるが、まだ道が狭い上、道路に向かって道がななめになっている所もあり車いすやベビーカーなど、身体に障がいを持つ人は通りづらい。 ・ 初めて利用した地域包括センターで、要望をきちんと聞いてすぐ対応して下さったので嬉しかったし安心した。
<p>7. 地域福祉・生活の安定 (13件)</p>	<p>(地域福祉の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区によって高齢化、空き家が進み、子どもや高齢者をもつ世帯が自主的にカバーしている。市の介入はなく、市に相談しても解決策も出ず、今後益々不安に思う。 ・ ボランティア精神を市民が育めるシステムの構築。個人主義になり、共生意識の低下を自治体として向上させる仕組みづくりが必要。 <p>(生活の安定の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯面で安全性の一定レベルを基準とした街づくりをしてほしい。 ・ 安全安心の担保 不審者の見回り等。 ・ 夜の店に対する取り締まりを強化して、ルール違反の店は営業停止するなどしてください。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 野良猫対策、市としても避妊手術費等の費用を出してほしい。
<p>8. 社会保障 (8件)</p>	<p>(セーフティ・ネットの堅持)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活困窮の状況をきちんと統計表示して、改善方向を示すこと。特にシングルマザーの状況、子供の貧困は放置できない。「生活保護」の運用を大きく変えて、保護率を増すこと。 <p>(年金・保険制度の適正運用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活保護や年金受給者が昨今の支出の高騰で生活できにくくなっている。ので何らかの援助対策を強化してほしい。また、自立支援をもっと積極的に行なってほしい。 ・ 国保から社保への変更手続きが正しく処理されないことがある。障害者手帳や自立支援医療の受給者証の発行に時間がかかりすぎる。福祉サービスの内容を web でもっと分かりやすく案内してほしい

政策分野	主な意見
8. 社会保障 (続き)	<p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民税が高すぎる。 ・ ラインクーポンを発行しているが使いにくい、高槻市の様に紙のクーポンにすればだれでも使えると思う。 ・ 民間での臨床心理士によるカウンセリングに対しても補助がほしいです。 ・ 完全な学校授業料、給食費の無償化。
9. 地域活動・市民活動 (5件)	<p>(自治活動の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住民同士の絆、かかわりを深めるきっかけ作りのため、ボランティア活動がしやすい環境づくり。 <p>(市民活動の活発化と協働の促進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人との交流ができる場所づくり。 ・ ガラシャ祭、年間を通しての取り組みや場所があれば、茨木市の取り組みは面白い。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力的な講演会やイベントを無料もしくは安価で参加できて、とてもうれしい。今後も継続してほしい。
10. 人権 (8件)	<p>(人権・平和を尊ぶまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な人格が生きやすい環境づくり。職業で差別されない社会。 ・ 人権についての学校教育。学校の健診で胸を見せることへの配慮。 <p>(多様性を認め合う共生社会の実現)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人の自由を尊重した行政をしてほしい。
11. 生涯学習・文化 ・ スポーツ (22件)	<p>(生涯学習環境の充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の蔵書、新しい本が少ない。自習室がほしい。建物も古く、憩いの場はホール、ランニングコースなども整備してほしい。 ・ 図書館、中央公民館、公園、プールなども作ってほしい。 <p>(文化・芸術の振興)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長岡京音楽祭、駅前広場コンサートなどの主催の継続。 ・ 定期的な音楽イベントも年によって盛り上がりが違う。サマーナイトカフェも年々規模が縮小している気がする。ある年だけ大きくするのではなく、毎年規模を更新できるような、風物詩となるような、音楽キッズのあこがれになるようなイベントを。

政策分野	主な意見
<p>11. 生涯学習・文化 ・スポーツ (続き)</p>	<p>(スポーツの振興)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供の時から運動ができる施設、大人も子供も参加できるイベントがほしい。長岡京市主催の試合は他の行政に比べると少ない気がする。 ・ プールのある市民体育館、高架下に芝生やバスケットコートなどの施設。サッカースタジアムや球場を作る。 ・ スポーツ施設が不足しているので、公立高校等の施設の一時開放など。 ・ 長岡第九小学校で、陸上教室や運動イベントを行っている。ぜひ継続を。 ・ 学童の延長で参加できる、学内でのスポーツ教室の様な物がより充実すると嬉しい。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内の書店の充実。 ・ まちに社会人が利用できる時間に空いている書店、文具店がない。
<p>12. 市街地 (8件)</p>	<p>(中心市街地整備の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長岡天神駅の高架化（踏切を無くしてほしい）。特急が止まるのに駅が汚い。駅前の活性化。 ・ 長岡京らしい、くつろげて安らげる空間もある駅前開発を。 ・ 西山天王山駅、長岡京駅付近に、買い物、飲食店など、市民や観光客も寄れるところ、子連れでも入れるところを増やしてほしい。 ・ 公園、スーパーの充実には満足しているが、子供用品店がない、書店は小さい等物足りない。バンビオに商業施設がほしい。 ・ ホームセンターの誘致。 <p>(調和のとれた都市形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境を体験する機会が少ない。 ・ 竹林や山が住宅地になり、空き家が増えている。自然環境を残してほしい。山手の住宅開発よりも中心部の空き家対策を。 <p>(都市機能の再創造)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩いて楽しめる街になる様、個人商店の増加。新しいストリート（ポップアップストア）など、が気楽に街づくりできる様にして、イベント（音楽）等を取り入れ、街を元気にしてほしい。 ・ （茨木市のおにクルのような）行ってみたい施設や、新しいお店が建たない。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小畑川にたばこのポイ捨てやゴミが多く、夜は相当暗い。市街地施策は西山周辺しか果たされていないのではないかと感じている。 ・ 住環境のすぐ近くで野鳥の姿や鳴声を聞くことができ素晴らしい。街中に適度な緑が有りふとした時に自然の重要性を感じられる住環境の維持を。

政策分野	主な意見
<p>13. 道路・交通 (18件)</p>	<p>(交通ネットワークの充実)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前にロータリー、バリアフリー化、踏切の高架化などの整備。 ・ 自転車用のレーンや道路の拡張、植栽などの整備。 ・ 市内の移動が不便。バス、コミュニティバスの本数を増やしてほしい。中心部から離れると移動が不便。 <p>(道路空間の整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが安心して通学できる歩道幅の確保。 ・ 地点を案内する標識、路面標示が消えている箇所の補修。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路工事の期間が長すぎる。
<p>14. 産業 (8件)</p>	<p>(商工業・観光の振興)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飲食店がない。飲食店を誘致する施策も必要では。駅前での食事に困る。 ・ 娯楽施設や一年通して何度も楽しめるような観光施設が全くなく、長岡京市では娯楽費をほとんど使いません。竹林を駐車場付きの複合施設にして、市民の憩いの場があればもっと経済循環が高まるのでは。向日市・大山崎だけでなく京都市や高槻市からも人が集るくらいの施設があれば。 ・ 若い起業家を育てるシステムが必要。ベンチャーである程度成功した人の話を聞く機会をつくる（高校生向のセミナーもあって良い）。 <p>(営農支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 筍の産地だと思っていたが辞めていく筍農家さんの支援を。
<p>15. 防災・安全 (49件)</p>	<p>(都市の防災機能の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小畑川の河川整備や電柱の洪水ハザードなど水害に対して備えている姿勢に安心。 ・ LINE メニューの「通報」を「通報・報告」にした方が利用しやすいのでは。市民への周知も必要。 ・ 川の工事は災害に備えてだと思いが市民に伝わっていない。避難場所も、高地避難所へ行っても良いか、川沿いの住居に土のう等浸水対策の補助や説明があっても良いのでは。 <p>(災害時に生きるネットワークづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全に避難ができるように、体が不自由な人も一緒に訓練できる機会を作してほしい。避難場所も増やしてほしい。 ・ 高齢化や若い世帯の自治会離れで運営が難しい自治会に対して、市が防災や安全を主に運営を補助するシステムを検討してほしい。

政策分野	主な意見
15. 防災・安全 (続き)	<p>(安全・安心な地域づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 有事に機能する組織に市民が参加していく意識の向上がはかれる仕組みの構築。防災施設の協力体制の構築。 ・ 避難場所の被害状況の確認方法、避難の判断基準等が知りたい。 ・ LINE 登録で来る防災情報に、空き巣や痴漢、不審者情報も入れてほしい。 ・ 防犯カメラ、信号、街灯の増設。防犯カメラ設置の補助。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市の備蓄設備の周知。 ・ 煙草のポイ捨てに罰則を。 ・ 避難時の動線の為にも再開発を促進してほしい。
16. 脱炭素 (13件)	<p>(持続可能なまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ガス排出量削減のため、電動自転車、電動バイク、トゥクトゥクの購入補助をする。 ・ 徒歩や自転車移動でポイントがもらえる等、取り組みたくなる仕組みを作る。健康面でもメリットがある。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給水ステーションを設けてほしい。
17. 資源循環 (13件)	<p>(ごみの減量と適正処理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ リサイクル、リユースや、空ビン、ペットボトル以外の金属等の回収、青空市など不用品の再利用の仕組みづくり。 ・ ゴミの分別の仕方の再周知。プラごみの分別ルールがあいまい。HP での呼びかけは効果が薄いのでは。 ・ コンポストの推進。資源の循環がされているか分かりにくい。リサイクル状況の見える化。
18. 環境共生 (12件)	<p>(西山の整備・地域環境力の向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 西山や里山地域と共同して自然環境の現状と問題点を広くアピールし、市民と共に活動できる機会を設ける。 ・ 西山や市内で捕獲した生物（外来生物も含む）等を飼育、展示して子ども達に長岡京市に生息する生き物を知ってもらう。 ・ 竹やタケノコの再資源化。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 竹林が減ってマンションになっている場所が目立つ。宅地開発を制限し中古物件の活用を。

政策分野	主な意見
<p>19. 都市環境 (6件)</p>	<p>(良好な景観の保全)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山、田畑が住宅になり、緑が減って、空き家が増えている。自然を残す施策を。 <p>(都市緑化と水辺環境整備)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家の建築の条件の中に西山の景観配慮が盛り込まれており、市としてしっかり守っていると感じた。このような取り組みが官民ともに続けば良いと思う。 ・ 市民が環境保全を考えるきっかけになるような自然体験や農業体験があれば。 ・ 農地を減らさず従事者が続けていけるよう守ってほしい。 ・ ホタルの保全。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 元の木を残した緑や日陰を多くして子供が過ごしやすいしてほしい。 ・ 楊谷寺に行く道が車一台しか通行できなく非常に危険。
<p>20. 水資源 (60件)</p>	<p>(水資源の保全)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水は公的資源。汚染されないように整備してほしい。 ・ 地下水だけに戻してほしい。おいしい水ではなくなった。 ・ 水道代が高い分、水質保全是しっかりしてほしい。 ・ 広域水道への参加は地下水を守るということに反する。長岡京のほこりなので水は守ってほしい。 <p>(水の安定供給)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 府営水道の廃止 地下水 100%の水道水の実現。 ・ 水道事業は公共で行うべきだ。民営化や民間委託しないで。 ・ 全ての管理が、長岡京市の上下水道部ではないことが心配。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長岡京の水をプランディングして販売するのも良いのでは？ ・ 水道代が高い。高いのにおいしくなくなった。 ・ PFAS の検査。検査値の公開。 ・ 環境の為に市民ができることを周知してほしい。

政策分野	主な意見
<p>21. 魅力発信 (14件)</p>	<p>(シティプロモーションの推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 街のPRをSNSで市以外へ発信。移住者を増やす。 ・ 地域の農作物や観光情報を発信する拠点を作る。 ・ 都市部近郊の緑豊かな環境を活かし、市民が弁当を広げてくつろげるような開放的な公園の整備を進めてほしい。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長岡京としての特徴が薄く住民にとって誇れるような『核』がない。長岡天満宮に頼るのではなく、独自色がほしい。 ・ 長岡京ブランドは価値のわりに認知度が低いと思う。インバウンドの誘致なども必要。
<p>22. 都市経営 (18件)</p>	<p>(パートナーシップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 議会の議題がわかりにくいので、背景、議題、可決のメリット・懸念点をまとめて配信してほしい。経緯がわからなければ議員や首長の主張に対して適切な評価が行えない。可能ならYouTubeでノーカット配信するなどSNSを使用した公開を検討してほしい。広報誌などの文字だけでは情報が少ない。 ・ 市民の声が届く気がしない。そのような機会があるのかも不明。 <p>(市民の利便性向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の声をこのように聞いてもらえると嬉しい。 <p>(健全な行財政運営)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 以前、自転車帯の為のアンケート費用に多額の資金が投入されたが、全く意味を成していないのでは。 ・ 市役所職員の税に対する意識改革教育を実施する。市民の財産である税の使用方法等を広く開示し、意見を聞きながら無駄を最小限にする。 <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所は駅前の改築より、商業施設(ショッピングモール等)を誘致してほしい。 ・ 21時以降のバス・タクシーの配車が少なすぎる。 ・ 地域の催しなど積極的に活動していて、スローガンに向かった市政をされていると思う。

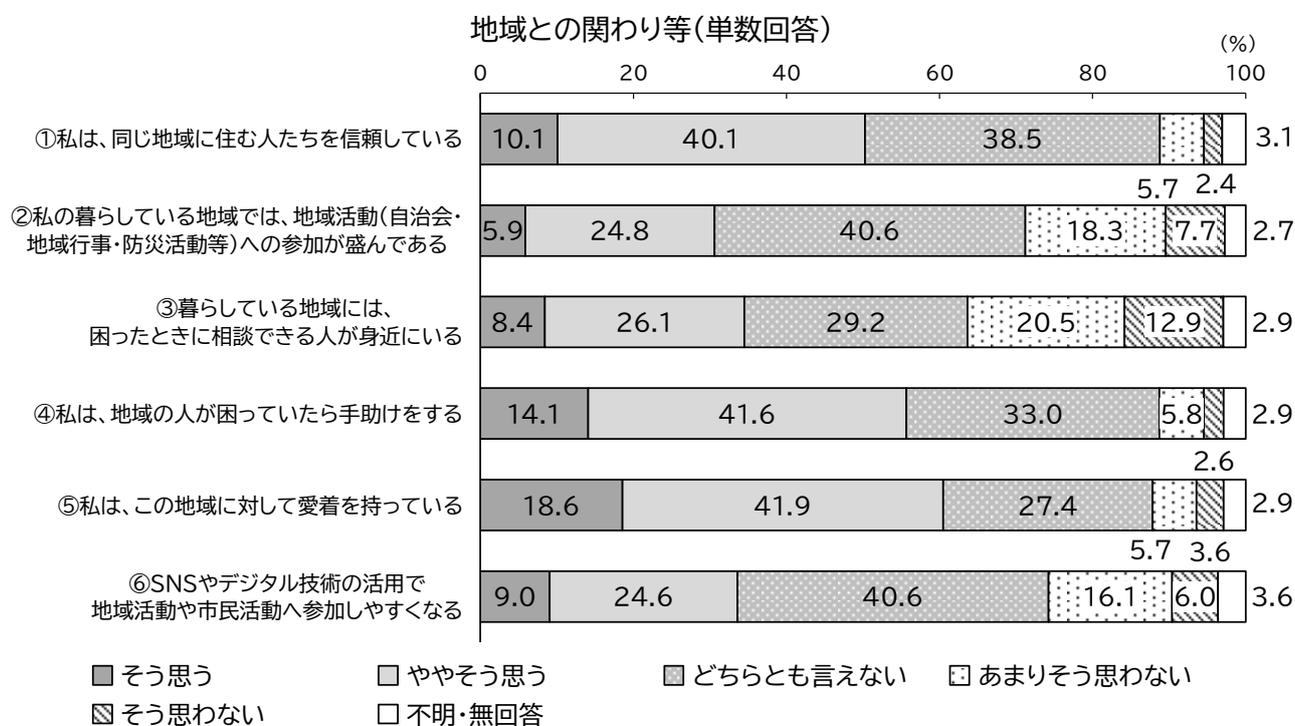
4. 地域との関わりや地域活動・市民活動について

(1) 地域との関わり等について

『そう思う』（「そう思う」「ややそう思う」の合計）について、「⑤私は、この地域に対して愛着を持っている」が最も多く 60.5%、次いで「④私は、地域の人困っていたら手助けをする」が 55.7%、「①私は、同じ地域に住む人たちを信頼している」が 50.2%などとなっています。

『そう思わない』（「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計）について、「③暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」が最も多く 33.4%、次いで「②私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への参加が盛んである」が 26.0%などとなっています。

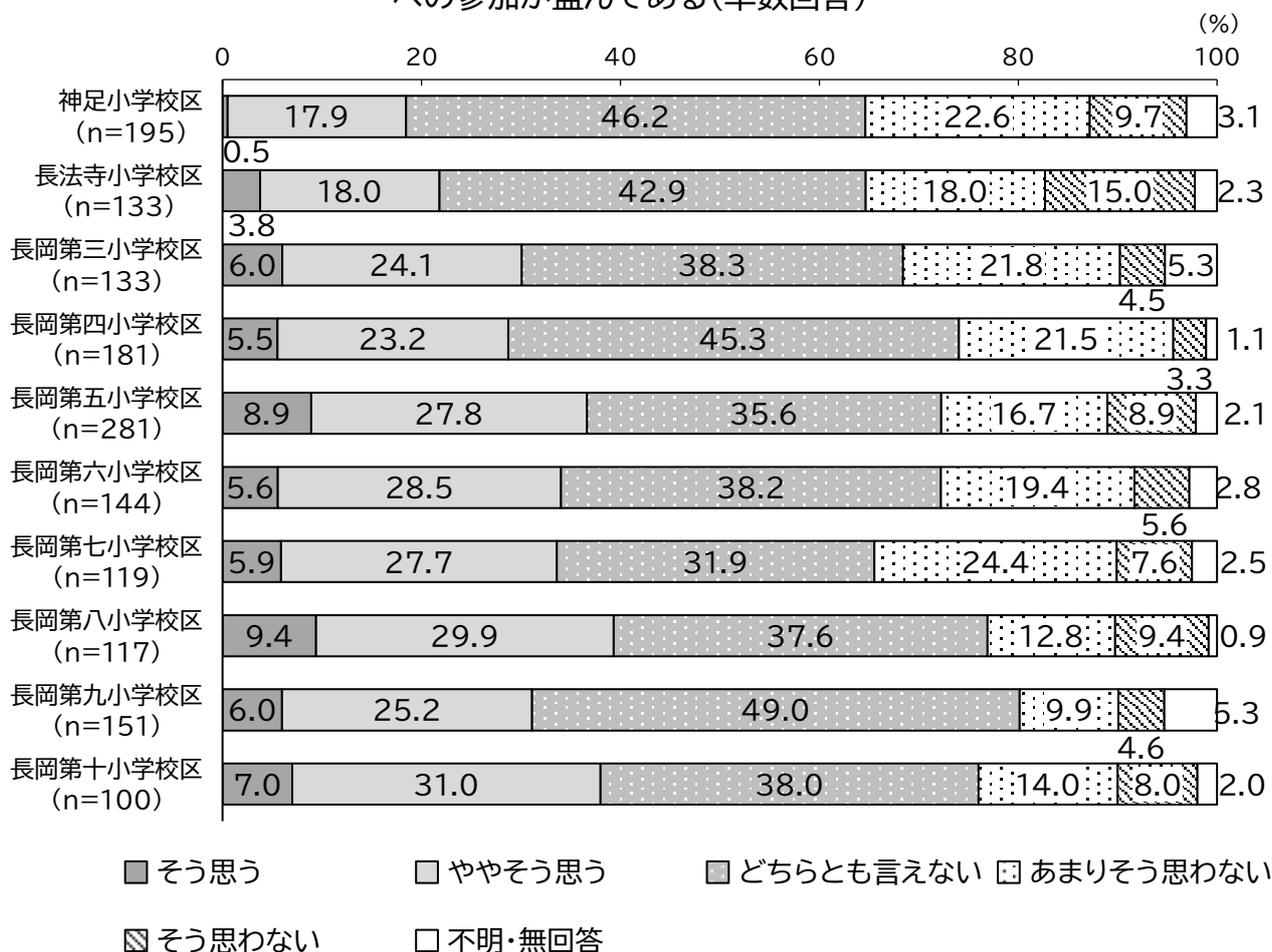
「⑥SNS やデジタル技術の活用で地域活動や市民活動へ参加しやすくなる」については、「どちらとも言えない」が最も多く 40.6%、『そう思う』が 33.6%、『そう思わない』が 22.1%などとなっています。



【小学校区別】

小学校区別にみると、「②私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への参加が盛んである」についてのみ小学校区別の差があり、「長岡第五小学校区」は『そう思う』が多く、「長法寺小学校区」は『そう思わない』が他の小学校区よりも多くなっています。

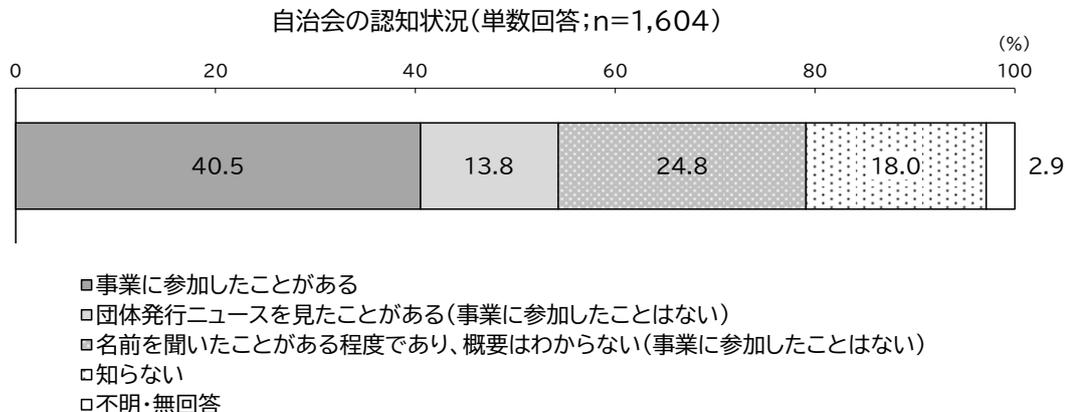
②私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への参加が盛んである（単数回答）



(2) 自治会や地域コミュニティ協議会との関わり

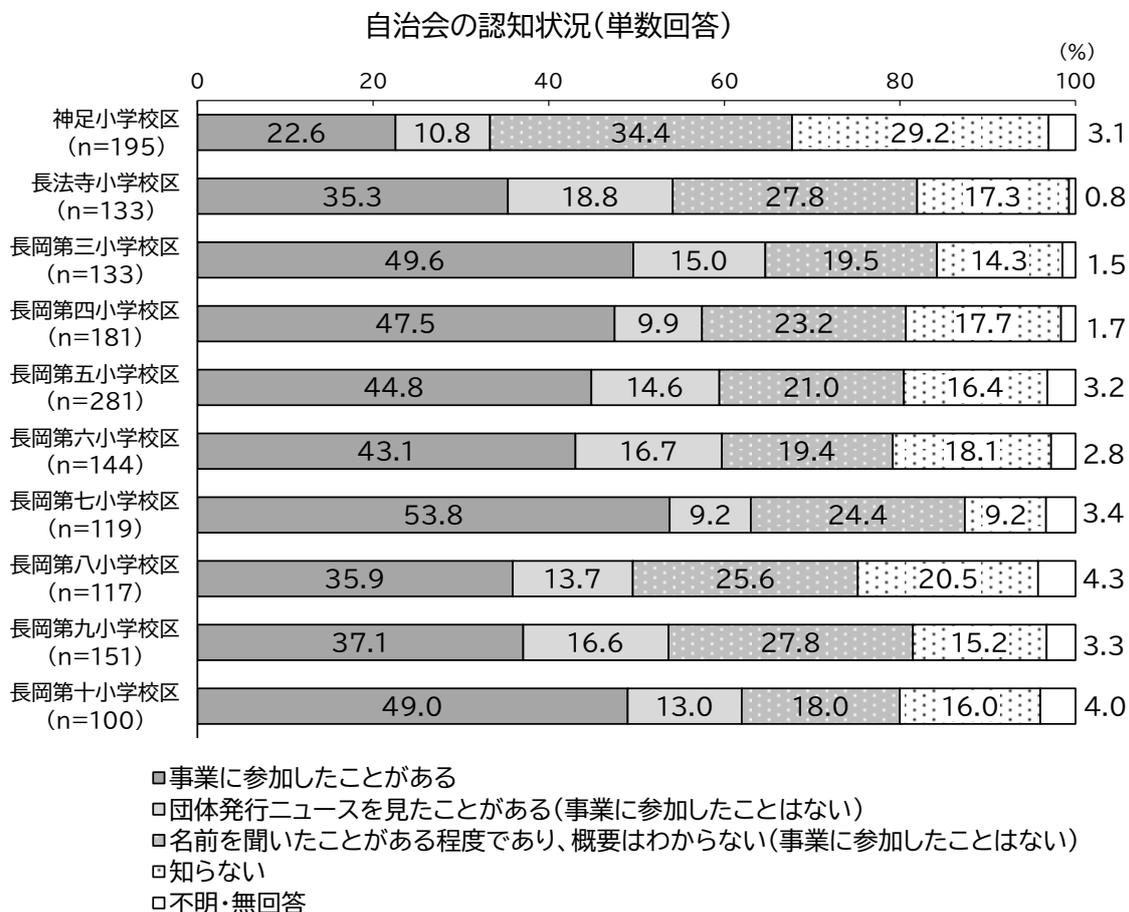
① 自治会との関わり

「事業に参加したことがある」が最も多く 40.5%、次いで「名前を聞いたことがある程度であり、概要はわからない（事業に参加したことはない）」が 24.8%、「知らない」が 18.0%などとなっています。



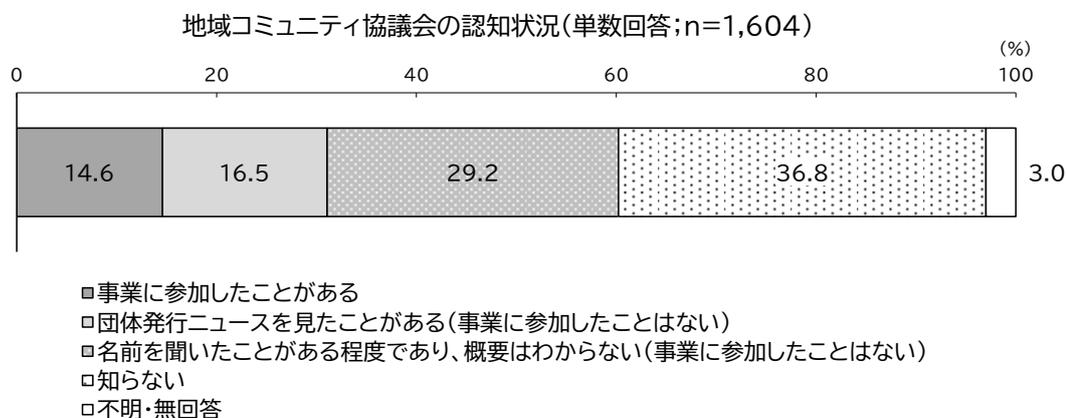
【小学校区別】

小学校区別にみると、「長岡第七小学校区」は「事業に参加したことがある」が他の小学校区よりも多く、「神足小学校区」は他の小学校区よりも少なくなっています。また、「神足小学校区」は「知らない」が他の小学校区よりも多くなっています。



② 地域コミュニティ協議会

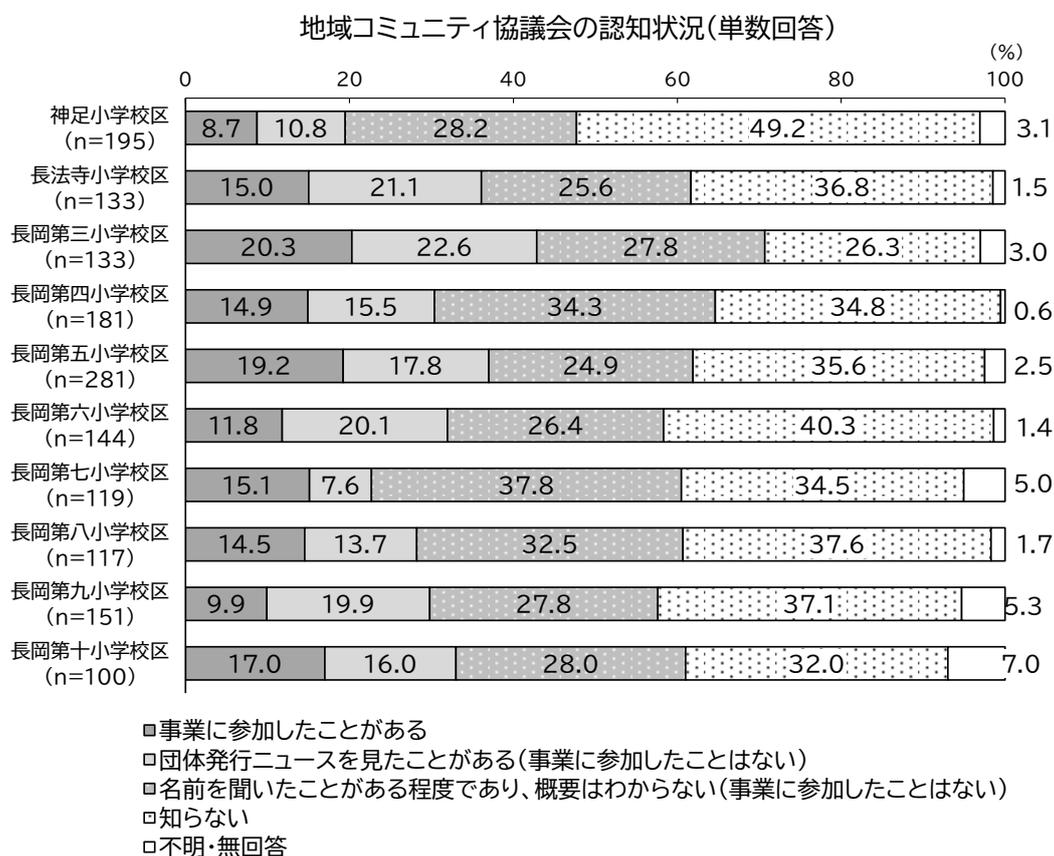
「知らない」が最も多く 36.8%、次いで「名前を聞いたことがある程度であり、概要はわからない（事業に参加したことはない）」が 29.2%、「団体発行ニュースを見たことがある（事業に参加したことはない）」が 16.5%などとなっています。



【小学校区別】

小学校区別にみると、「長岡第五小学校区」は「事業に参加したことがある」が、「長岡第三小学校区」は「団体発行ニュースを見たことがある（事業に参加したことはない）」が、「長岡第七小学校区」は「名前を聞いたことがある程度であり、概要はわからない（事業に参加したことはない）」が他の小学校区より多くなっています。

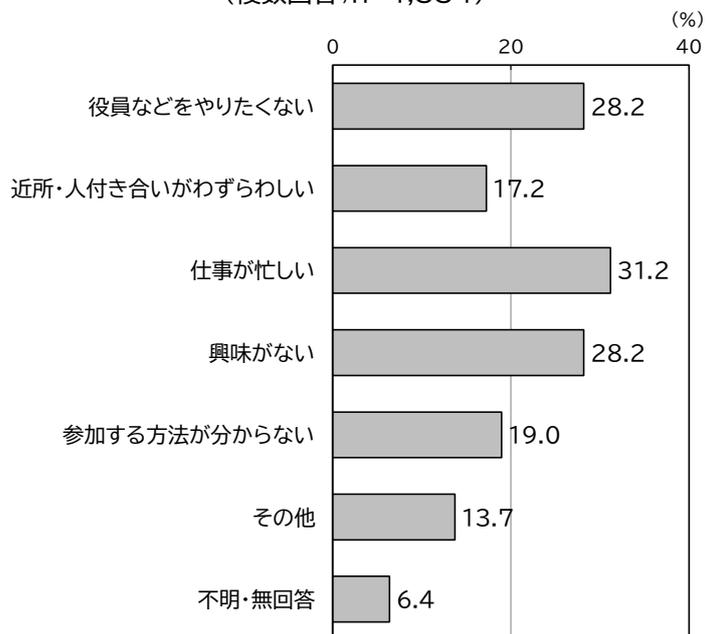
「神足小学校区」は「知らない」が他の小学校区よりも多くなっています。



③ 自治会や地域コミュニティ協議会に参加しない理由

「仕事が忙しい」が最も多く 31.2%、次いで「役員などをやりたくない」「興味がない」がそれぞれ 28.2%などとなっています。また、「参加する方法が分からない」が 19.0%となっています。

自治会や地域コミュニティ協議会に参加しない理由
(複数回答;n=1,334)

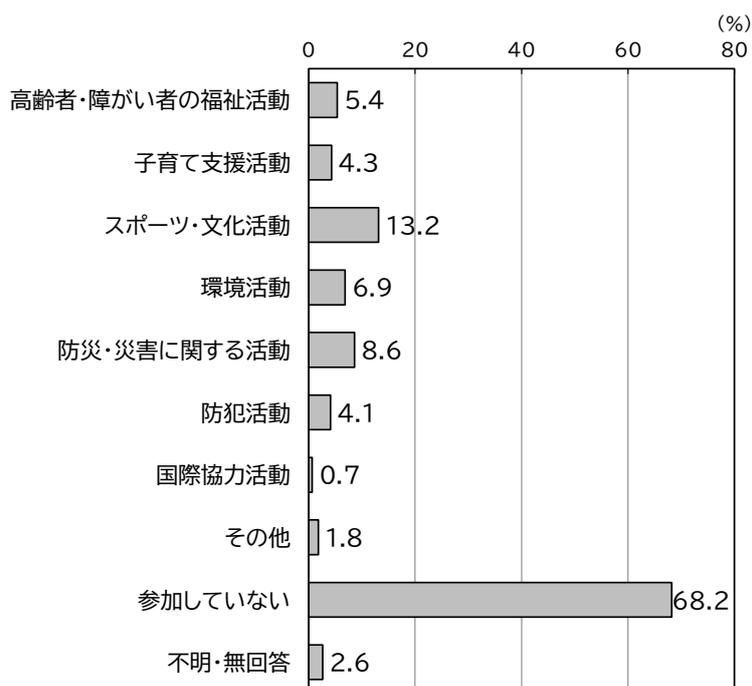


(3) 市民活動への参加状況等

① 参加状況

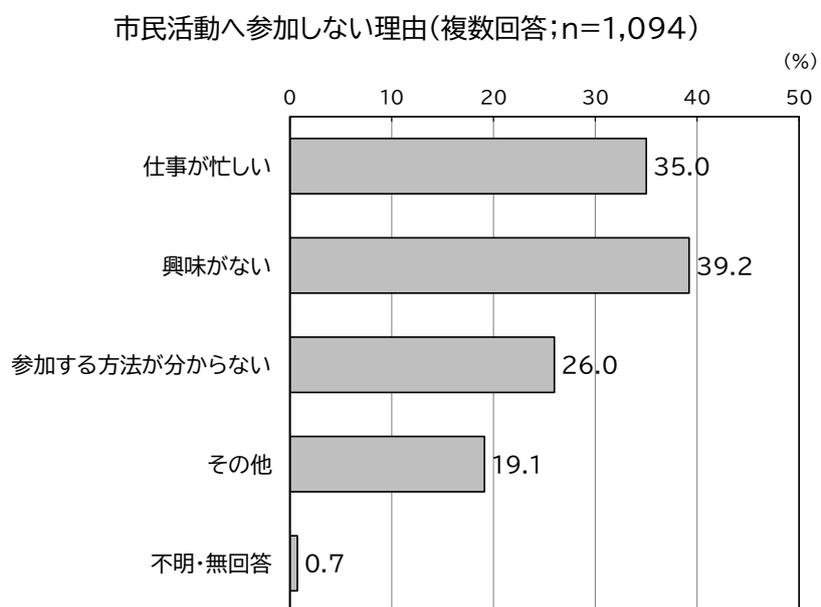
「参加していない」が最も多く 68.2%、次いで「スポーツ・文化活動」が 13.2%、「防災・災害に関する活動」が 8.6%などとなっています。

市民活動への参加状況(複数回答;n=1,604)



② 市民活動へ参加しない理由

「興味が無い」が最も多く 39.2%、次いで「仕事が忙しい」が 35.0%、「参加する方法が分からない」が 26.0%などとなっています。

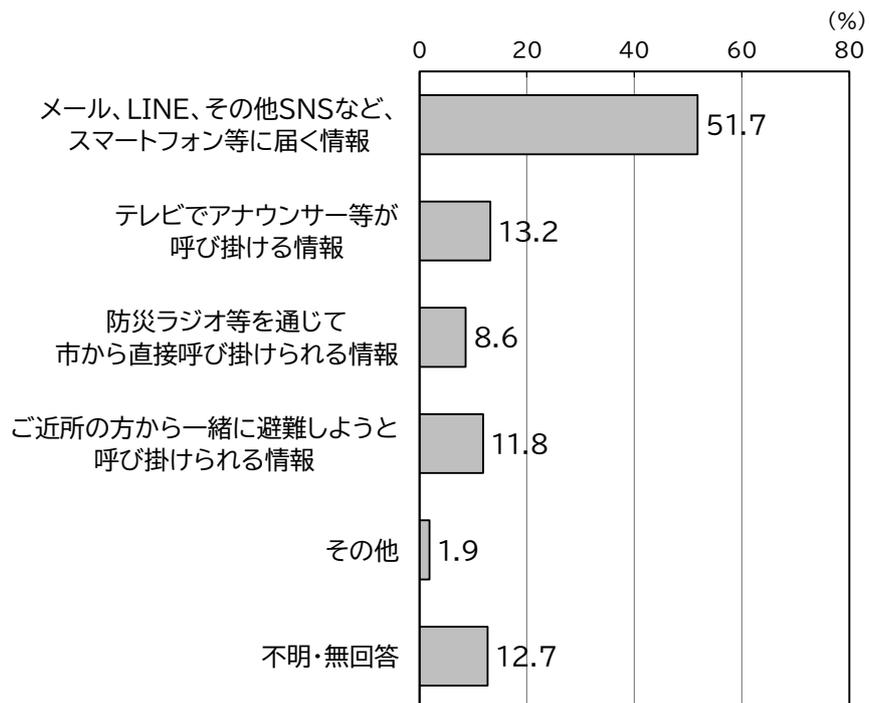


5. 個別施策について

(1) 災害が発生しそうな時や発生した時にどのような方法での情報提供で避難をするか

「メール、LINE、その他 SNS など、スマートフォン等に届く情報」が最も多く 51.7%、次いで「テレビでアナウンサー等が呼び掛ける情報」が 13.2%、「ご近所の方から一緒に避難しようと呼び掛けられる情報」が 11.8%などとなっています。

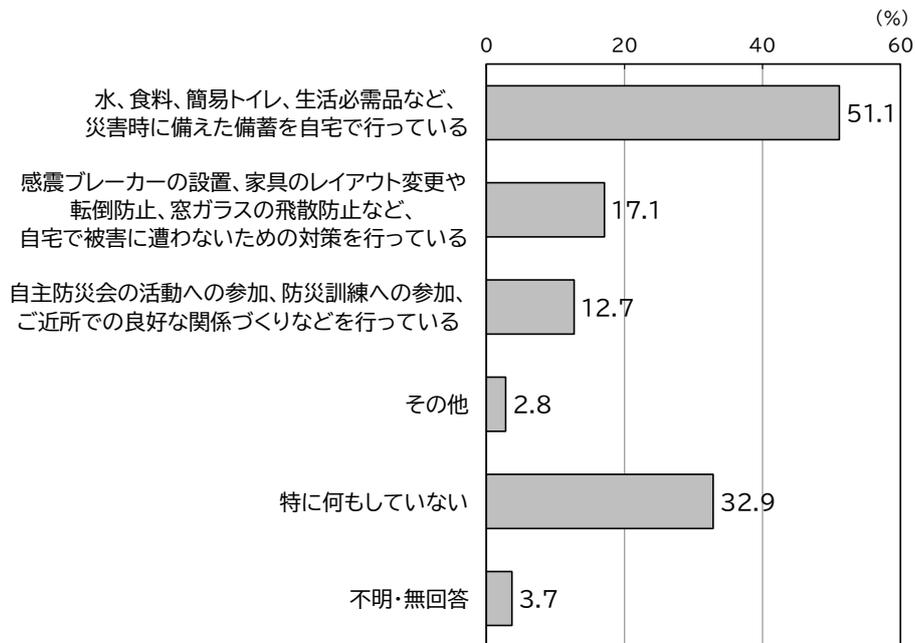
災害が発生しそうな時や発生した時に
どのような方法での情報提供で避難をするか
(単数回答;n=1,604)



(2) 家庭での災害の備え

「水、食料、簡易トイレ、生活必需品など、災害時に備えた備蓄を自宅で行っている」が最も多く51.1%、次いで「特に何もしていない」が32.9%、「感震ブレーカーの設置、家具のレイアウト変更や転倒防止、窓ガラスの飛散防止など、自宅で被害に遭わないための対策を行っている」が17.1%などとなっています。

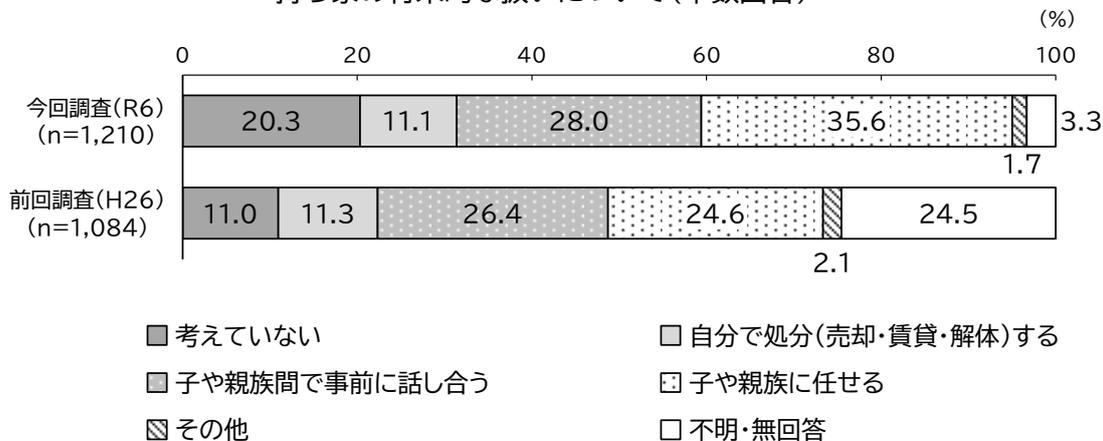
家庭での災害の備え(複数回答;n=1,604)



(3) 持ち家の将来的な扱いについて (持ち家に居住している人のみ回答)

「子や親族に任せる」が最も多く35.6%、次いで「子や親族間で事前に話し合う」が28.0%、「考えていない」が20.3%などとなっています。

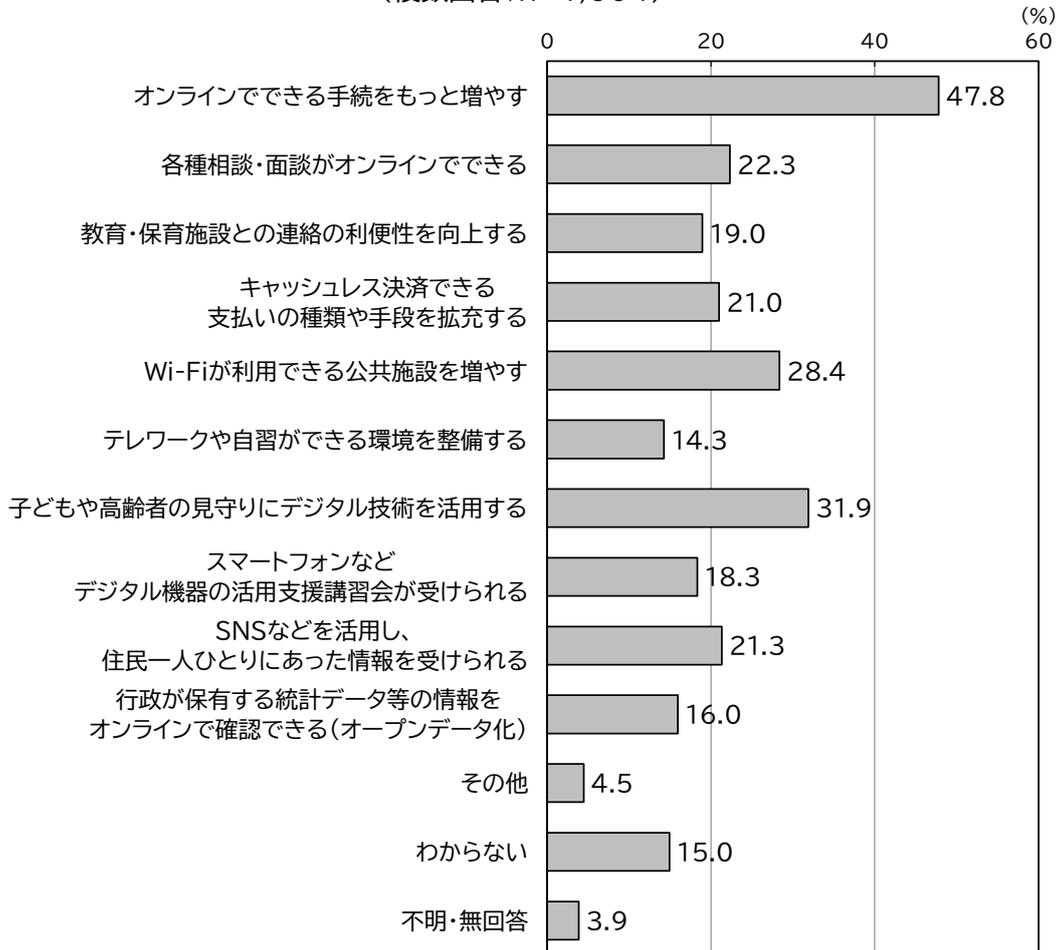
持ち家の将来的な扱いについて(単数回答)



(4) 市民の利便性向上のために必要なデジタル化の取組

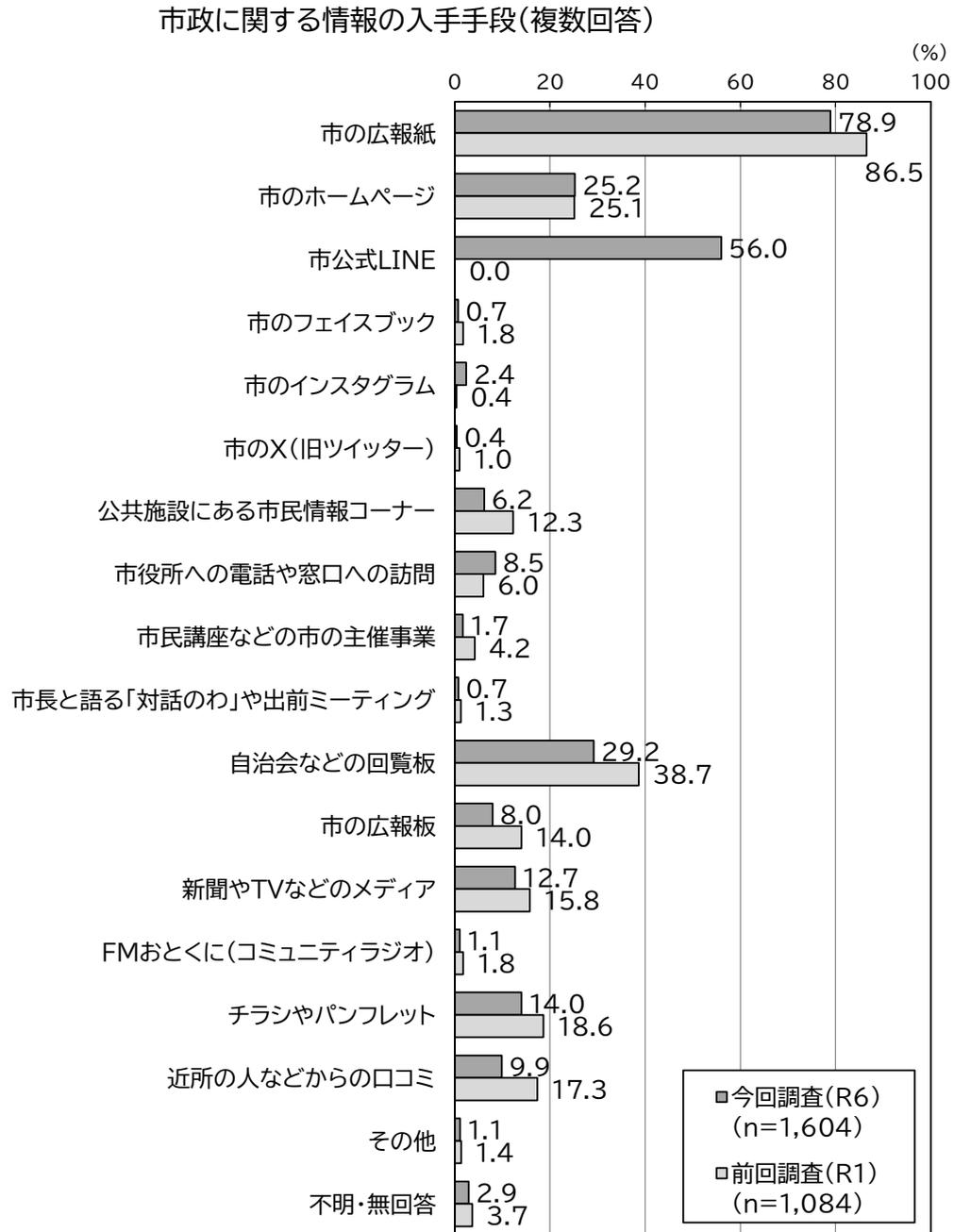
「オンラインでできる手続きをもっと増やす」が最も多く 47.8%、次いで「子どもや高齢者の見守りにデジタル技術を活用する」が 31.9%、「Wi-Fi が利用できる公共施設を増やす」が 28.4%などとなっています。

市民の利便性向上のために必要なデジタル化の取組
(複数回答;n=1,604)



(5) 市政に関する情報の入手手段

「市の広報紙」が最も多く78.9%、次いで「市公式LINE」が56.0%、「自治会などの回覧板」が29.2%などとなっています。

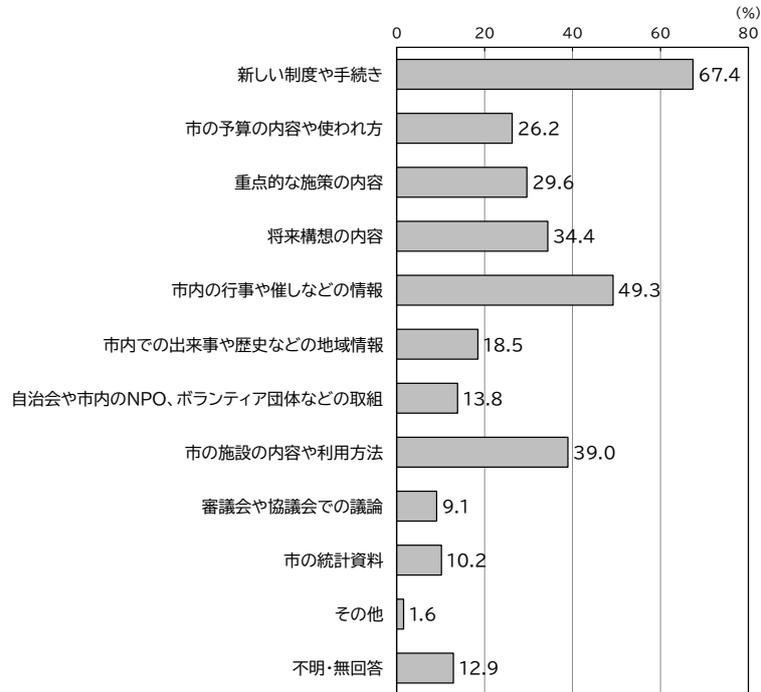


(6) 市政で知りたい情報と情報を得る手段

① 知りたい情報

「新しい制度や手続き」が最も多く 67.4%、次いで「市内の行事や催しなどの情報」が 49.3%、「市の施設の内容や利用方法」が 39.0%などとなっています。

市政で知りたい情報(複数回答;n=1,604)



② 知りたい情報別の情報を得る手段

「①知りたい情報」として回答の多かった「新しい制度や手続き」「市内の行事や催しなどの情報」「市の施設の内容や利用方法」「将来構想の内容」「重点的な施策の内容」について、情報を得る手段の上位3位は下表のとおりです。

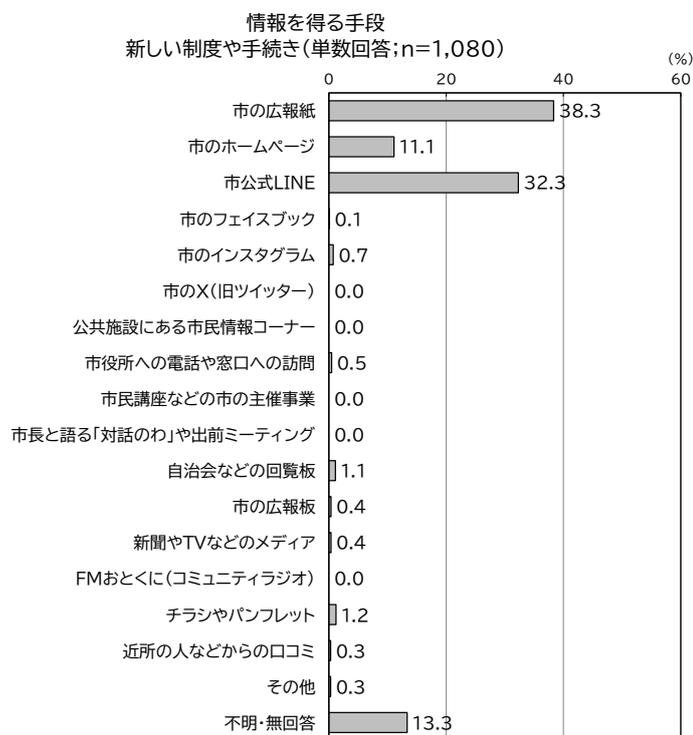
「市の広報紙」「市公式LINE」「市のホームページ」が利用されており、「市のホームページ」よりも「市公式LINE」の利用が多くなっています。

(%)

		知りたい情報				
		第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
		新しい制度や 手続き 67.4	市内の行事や 催しなどの情報 49.3	市の施設の内容 や利用方法 39.0	将来構想の内容 34.4	重点的な施策の 内容 29.6
情報 を得る 手段	第1位	市の広報紙 38.3	市公式LINE 34.8	市の広報紙 29.2	市の広報紙 42.0	市の広報紙 42.3
	第2位	市公式LINE 32.3	市の広報紙 33.9	市公式LINE 25.6	市公式LINE 19.3	市公式LINE 20.0
	第3位	市のホームページ 11.1	市のホームページ 6.2	市のホームページ 19.1	市のホームページ 14.2	市のホームページ 12.6

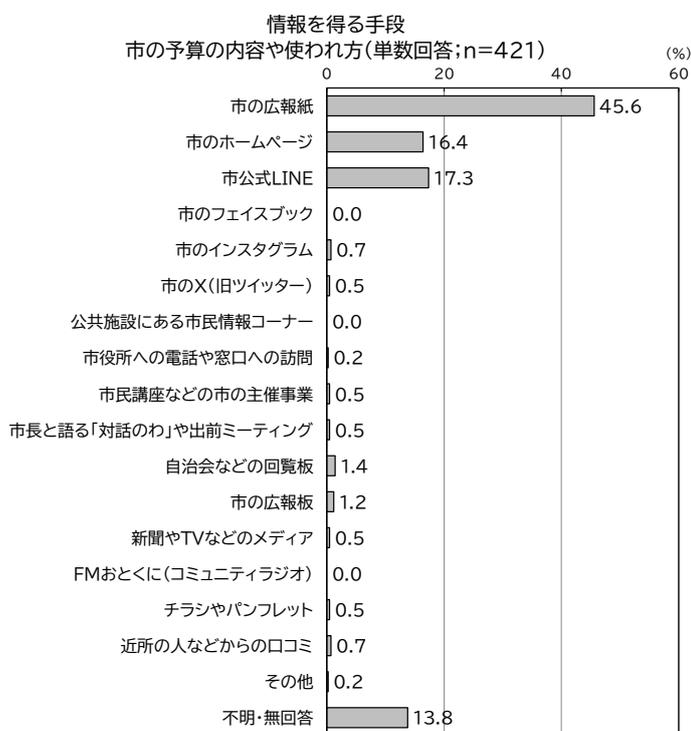
【新しい制度や手続き】

「市の広報紙」が最も多く 38.3%、次いで「市公式LINE」が 32.3%、「市のホームページ」が 11.1% などとなっています。



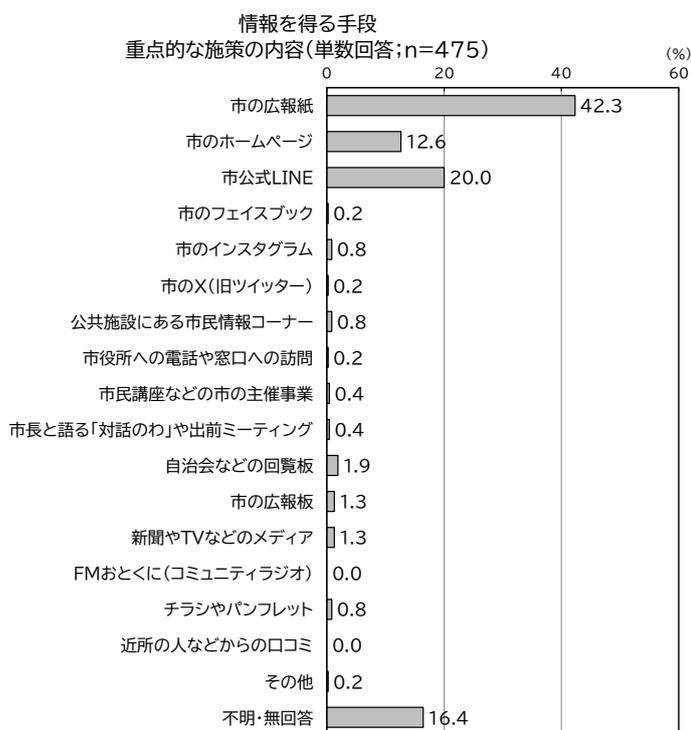
【市の予算の内容や使われ方】

「市の広報紙」が最も多く 45.6%、次いで「市公式LINE」が 17.3%、「市のホームページ」が 16.4% などとなっています。



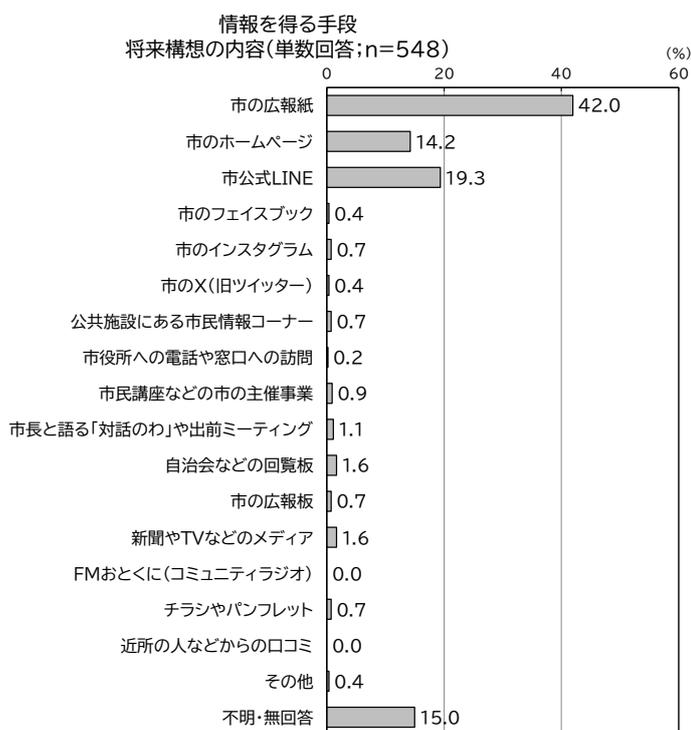
【重点的な施策の内容】

「市の広報紙」が最も多く 42.3%、次いで「市公式LINE」が 20.0%、「市のホームページ」が 12.6% などとなっています。



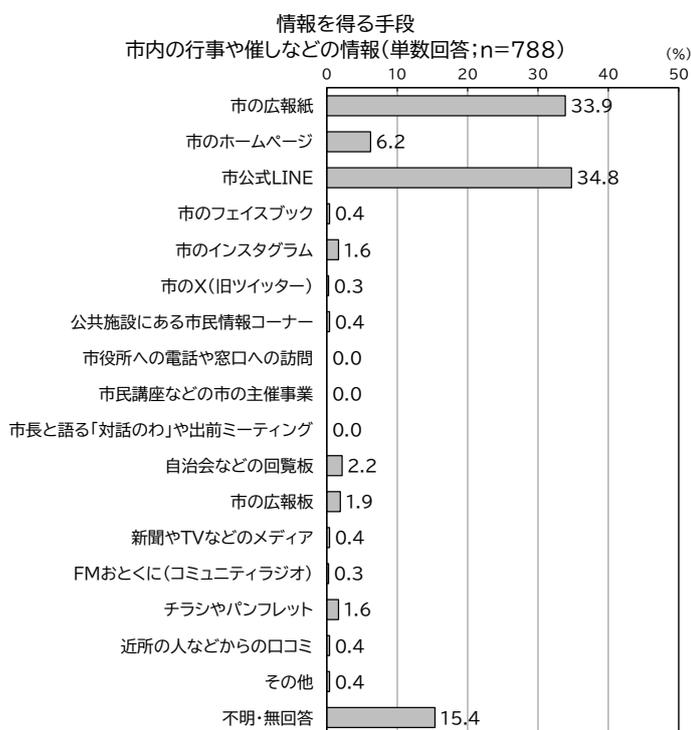
【将来構想の内容】

「市の広報紙」が最も多く 42.0%、次いで「市公式LINE」が 19.3%、「市のホームページ」が 14.2% などとなっています。



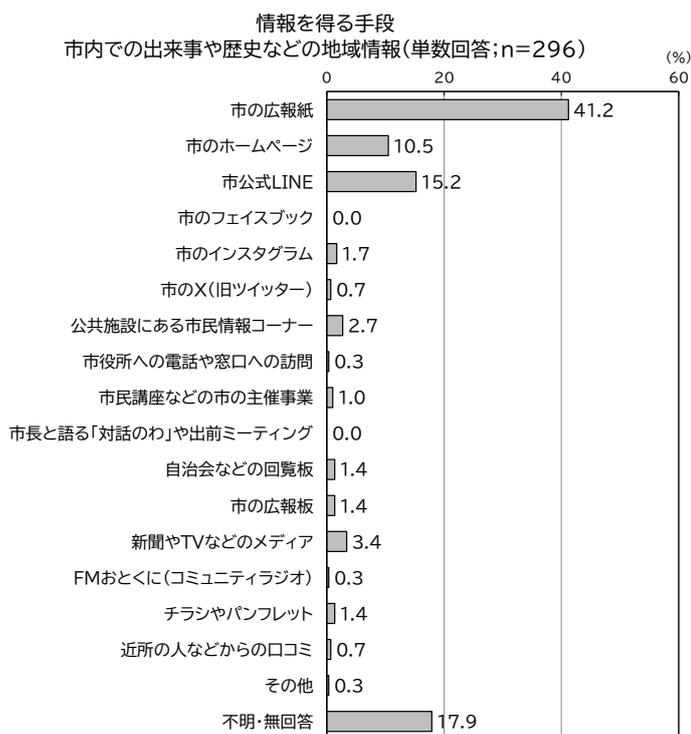
【市内の行事や催しなどの情報】

「市公式LINE」が最も多く34.8%、次いで「市の広報紙」が33.9%、「市のホームページ」が6.2%などとなっています。



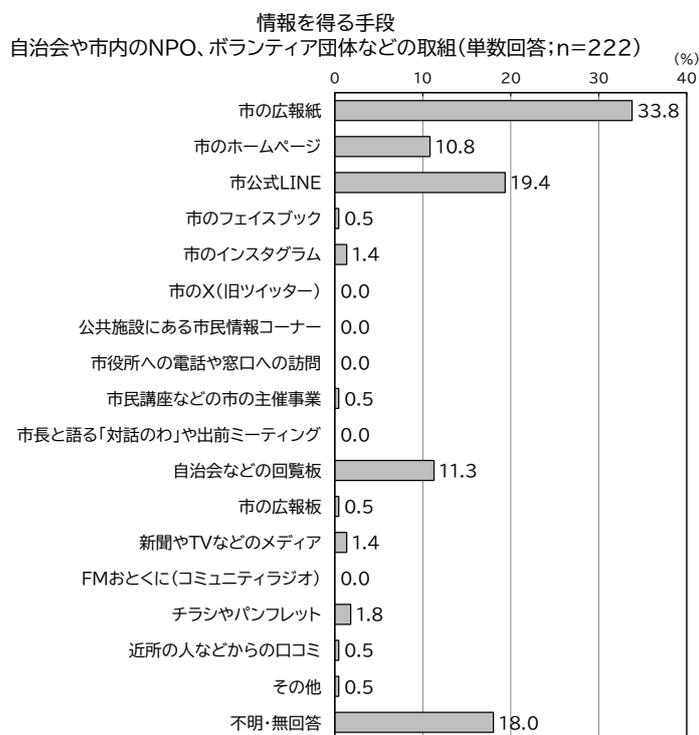
【市内での出来事や歴史などの地域情報】

「市の広報紙」が最も多く41.2%、次いで「市公式LINE」が15.2%、「市のホームページ」が10.5%などとなっています。



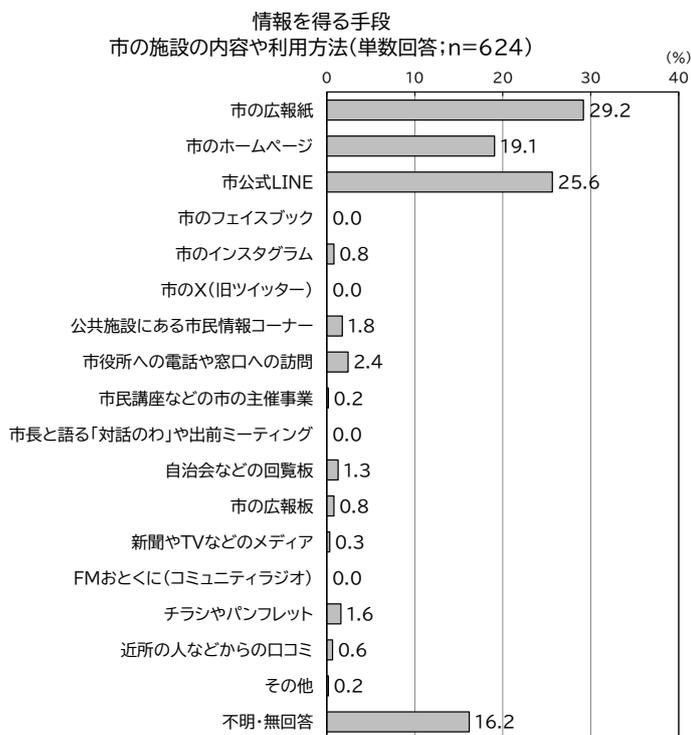
【自治会や市内のNPO、ボランティア団体などの取組】

「市の広報紙」が最も多く 33.8%、次いで「市公式LINE」が 19.4%、「自治会などの回覧板」が 11.3% などとなっています。



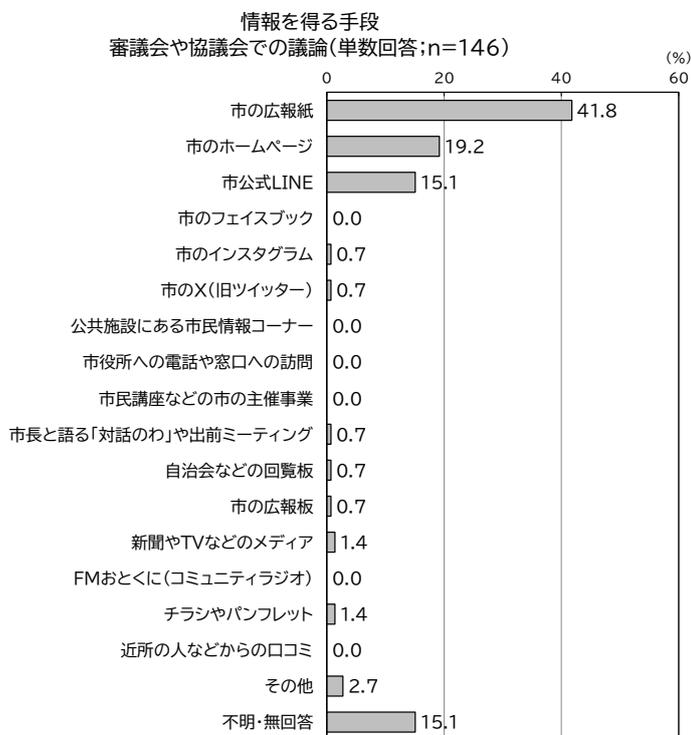
【市の施設の内容や利用方法】

「市の広報紙」が最も多く 29.2%、次いで「市公式LINE」が 25.6%、「市のホームページ」が 19.1% などとなっています。



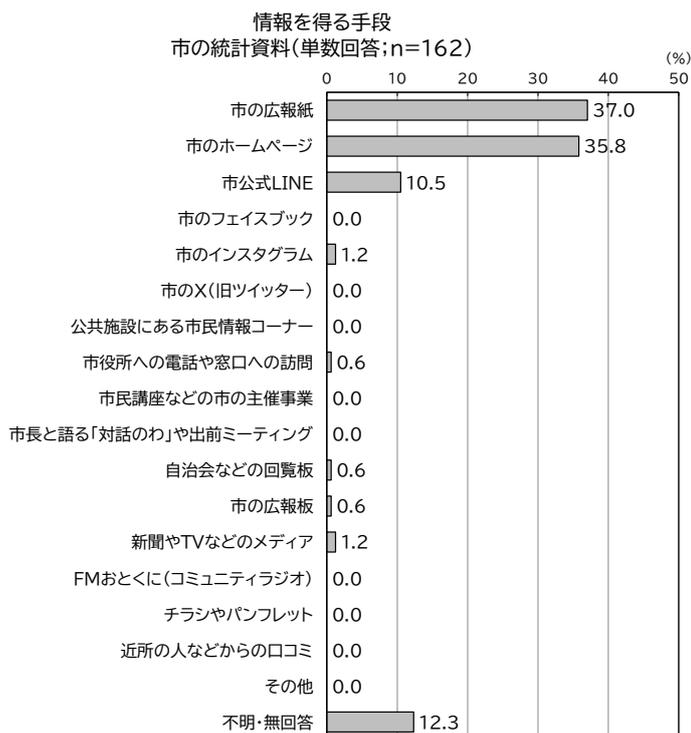
【審議会や協議会での議論】

「市の広報紙」が最も多く 41.8%、次いで「市のホームページ」が 19.2%、「市公式 LINE」が 15.1% などとなっています。



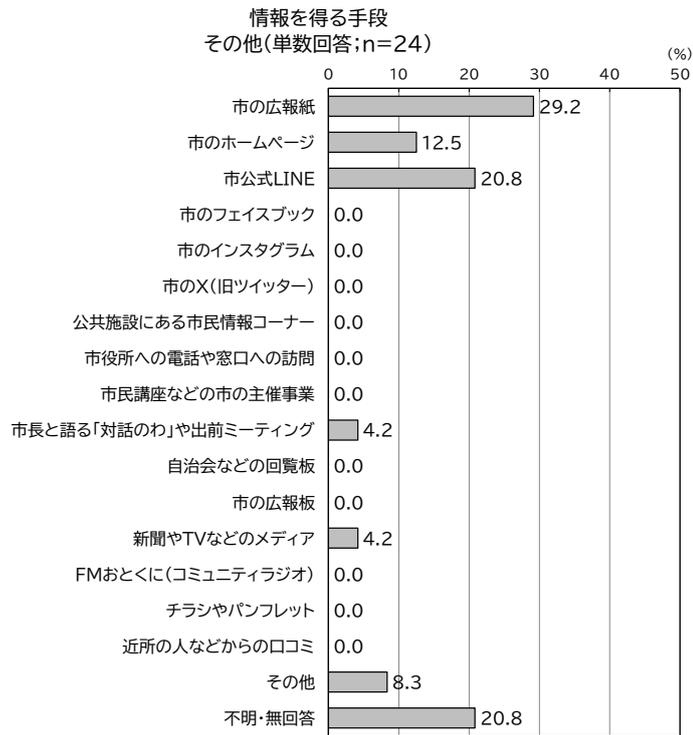
【市の統計資料】

「市の広報紙」が最も多く 37.0%、次いで「市のホームページ」が 35.8%、「市公式 LINE」が 10.5% などとなっています。



【その他】

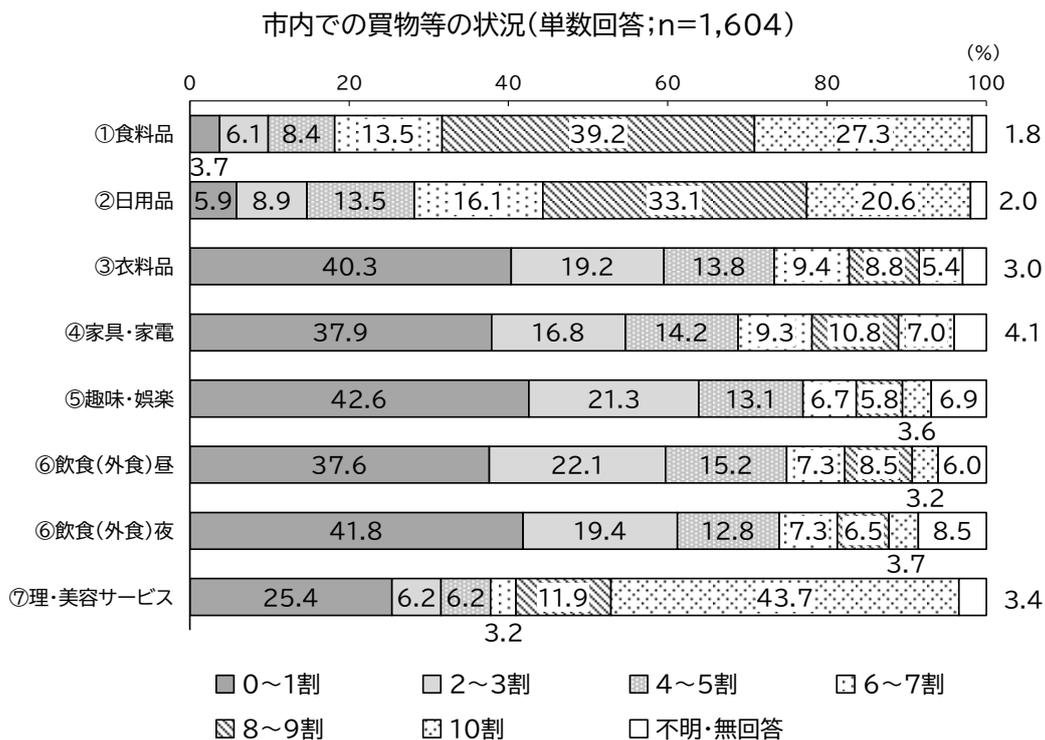
「市の広報紙」が最も多く 29.2%、次いで「市公式LINE」が 20.8%、「市のホームページ」が 12.5% などとなっています。



(7) 市内での買物等の状況

『8~10割』(「8~9割」「10割」の合計)となっているのは、「①食料品」が最も多く 66.5%、次いで「⑦理・美容サービス」が 55.6%、「②日用品」が 53.7%などとなっています。

『0~3割』(「0~1割」「2~3割」の合計)となっているのは、「⑤趣味・娯楽」が最も多く 63.9%、次いで「⑥飲食(外食)夜」が 61.2%、「⑥飲食(外食)昼」が 59.7%などとなっています。



6. 自由記述

市政に対するご意見やまちづくりに対するアイデアについて、延べ 944 件の回答がありました。
主な意見は以下のとおりです。

柱－政策分野	主な意見
<p>こども</p> <ul style="list-style-type: none"> －産み育てる環境(4) －就学前教育・保育(9) －学校教育(13) －地域子育て支援(29) <p>(55 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供が、児童発達支援のサービスを受けています。サービス自体はありがたいと感謝しています。しかし、乙訓地域の児童発達支援の受給日数は、近接する自治体よりも明らかに少なく、京都市が最大月 23 日、高槻市が月 10 日であるのに対して、長岡京市では、保育園に通っている子では実質、上限が月 5 日です。月 5 日では子の支援として足りないと思い増加をお願いしましたが、「長岡京市の審査は厳しい」という理由で、増加申請自体も拒否されました。一方、長岡京市の市民 1 人当たりの税収は、高槻市等と同程度の豊かなものかと認識しています。療育園もなく、児童発達支援事業所の数も少なく、障害のある人々にとって住みやすい市とは言えない現状かと思えます。どうか改善をお願い致します。 ・ 住宅が増えて街に活気が出るのはいいが、子供が増えた分保育施設が伴っていない。とりあえず入れる所に入れようというスタンスでないと働けない。そもそもフルタイムじゃないと希望の園に入れられないというのがおかしい。街に人を入れるのであれば、当然その人達が利用するであろう施設も増やすべき。 ・ 子育てに関して、2 人の子供の不登校を経験しました。学校に行けなくなり、私も子供も孤立しました。経済的負担も大きくなりました。どうか、フリースクールに助成金を、そしてフリースクールに通う家族への補助金をお願いします。子供が学ぶ環境、自分らしくいられる居場所を選ぶ権利を。 ・ 就学前や未就園の子どもが安全にあそべる室内施設が（あそべる支援センター）もっと充実すべきだと思います。
<p>くらし</p> <ul style="list-style-type: none"> －保健・医療(20) －高齢福祉・障がい福祉(33) －地域福祉・生活の安定(14) －社会保障(14) <p>(81 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年特定健康診断の案内を送付してもらってありがたいなあと感謝しています。できたらそれに X 線や何らかのガンマ線検査も組み込んでもらえると嬉しいなあと思っています。 ・ 高齢者の知識や経験の活用。高齢者＝社会的弱者＝保護・支援の対象者と見るのではなく、(元気な高齢者も、多数見掛ける)、その知識や経験を活用する方法も考えるべきではないか。それがまた、高齢者の人口比率が高まった現代の時代的要請ではないか ・ 長岡京は子育て世代も多いし、高齢化が進む流れの中で元気な高齢者が子育て世代をサポートしながら、活躍できる様な機会がふえればいいなと思えます。多世代が交流出来る環境が、街づくりの中で作られて欲しい。ふれあい食堂(夕方帰宅して一人で過ごす子供達、独居の高齢者など気軽に立ち寄れる)パブリック本棚、個人の作品を展示できるスペース、定期演奏会など文化的な空間が充実していればいいなと思えます。 ・ 社会的弱者の方に行き届いた 助成制度の充実 安心して老後が迎えられる町作り

柱－政策分野	主な意見
<p>かがやき</p> <ul style="list-style-type: none"> －地域活動・市民活動(27) －人権(1) －生涯学習・文化・スポーツ(50) <p>(78件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然とのふれあい、地域のつながり、催し。田舎に居るような自然、人とのつながりを子ども達には経験してほしい。長岡の良いところはなくしたくない。しかし、親もイキイキと胸を張って働きたい。生きたい。自治会、PTA、ボランティアは負担が大きい。お金をかけずとも、このわがままを叶えることができる方法が、知恵を出せば何かあるのではないかと。 ・ 地域の自治会加入者数も年々減少傾向にある。近隣の公民館や自治会館での企画・催事を立案し、地域住民の誰もが楽しく集え、魅力ある活用の構築が望まれます。 ・ 市立図書館をもっと新しく開放的な造りにして、誰でも利用できる学習スペースや自販機を設置した共有スペースのようなものを作ってほしい。長岡京市の図書館は現状ではいまいち、市民の足が自然に向くような拠点になりきれてない感じがするので。 ・ 子どもがスポーツできる環境をたくさん整えてほしい。
<p>まち</p> <ul style="list-style-type: none"> －市街地(104) －道路・交通(158) －産業(75) －防災・安全(24) <p>(361件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 阪急長岡天神駅に於ける高架問題。駅を挟む踏切は、人・車・自転車など集中時には危険を感じる ・ JR 長岡京駅西側、道路沿いの歩道がでこぼこしていて通りづらかったのに、いつの間にか滑らかに舗装されており、安堵しております。これからも期待しています。 ・ 自分も含めて、この街も確実に高齢化が進んでいる。そうした人達が、買い物やその他で移動するには、自分で運転できず、公共交通手段に頼らざるを得ない。ハッピーバスはあるが、本数も少なく、休日にも利用できない。バスの運転手さんの養成も含めて、公共交通手段の充実が必要だと思う。 ・ 道路整備などが進んで歩きやすく、車の運転しやすくなった反面、道沿いの店などが移転してしまって活気がない気がします。そのため飲食店ができて、すぐ廃業されるケースが多いです。自転車は車道は怖いので歩道を走ってます。JR 西口、東口共にもう少し活性化できないものかと思えます。 ・ 子育てをしています。町に公園が多く、自然も豊かなのでのびのびと子育てが出来ていると思います。0歳の時は支援センターもよく利用していました。まだ入学前なので分からないのですが小学校(避難所)の空調設備は整っているのでしょうか？子どもが安全に学ぶことができるのか、災害時(停電時も)に安心して過ごすことができるのか気になります。

柱－政策分野	主な意見
<p>みどり</p> <ul style="list-style-type: none"> －脱炭素(11) －資源循環(10) －環境共生(28) －都市環境(73) －水資源(13) <p>(135 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 将来世代に対する政策をもっとしっかり取り組んでほしい。再エネの導入やプラ不使用など行政として思い切った取り組みが必要である。移住者を増やすことよりも、そこに住んでいる人をもっと大切にしてほしい。いたるところにマンションを立てて、景観も乱れている。コミュニティを小さくしていくという流れがある中で、それに逆行している感じがする。今が多少不自由になっても、子どもたち世代のために、何をすべきかを考えるときかと思う。 ・ ゴミの分別ルールが周知されていないことがとても気になっています。年々、ひどくなっている気がします。ホームページ等での呼びかけだけでは十分ではないし、結局ルール違反の山積みは、全て回収されていくので、みんなそれでいいのだ、という感覚かな、と感じます。良くないな～と気になっています。 ・ 交通の便利な優位な利点と買い物や医療福祉の充実、西山をはじめとする自然環境の保全のバランスを考えた次世代全世代に優しい街づくり政策で他都市に誇れる長岡京の未来に期待します。 ・ 道を拡げるのもいいが、子供がボール遊びや走り回ったりして遊べて老人がお散歩できる公園がほしい。車でないと行きにくい場所でないところに欲しい。小さい小さい小さい公園はあるが、そんなのではなくて。あと、スポーツの練習ができる場所がほしい。長岡は、まだ子供は多い方だと思うが、上記のような公園や、壁打ちする場所もないとかわいそう。子供が生き生きして緑あふれる未来の都が理想です。 ・ 飲料水は100%の地下水でお願いしたい。
<p>けいせい</p> <ul style="list-style-type: none"> －魅力発信(23) －都市経営(81) <p>(104 件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長岡京市は〇〇で有名とすぐ出る所でありたい。たとえば〇〇体験は有名とか〇〇催しは有名とか。 ・ 市の行事をマスコミに伝えテレビなどで放映されると感心をもつ人が増えるのではないのでしょうか(市民以外の人)ただ 京都市内で行われる行事に比べたら規模が大きくないので伝え方伝わり方を考えなければいけないと思う。 ・ お金の使い方を明確にはっきりとさせて、市民が納得いく形で政策を進めて欲しい。 ・ わたくしはデジタル化はあまり賛成できません。若い方などはいいのですが、お年寄りなんかはついていけないと思います。私自身も、得意ではないので。高齢化社会になっているので、その点は、考慮してほしいと思います。

※他「その他」意見 130 件

〔LINE アンケート調査〕

1. 調査概要

令和8年度からの5年間の取組を決める「第3期基本計画」を策定するために、市公式LINE登録者を対象としてLINEアンケートを実施しました。令和6年12月25日より配信を開始し、4,606件の回答がありました。

また、LINEアンケート回答後、タップすると「Voice NAGAOKAKYU」に遷移するボタンを設置し、4つの問いを聞きました。

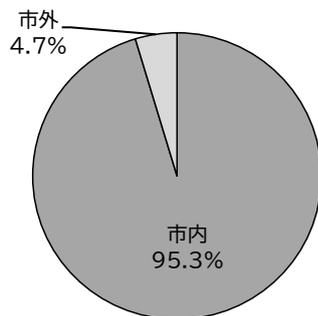
2. 調査結果

(1) 居住地

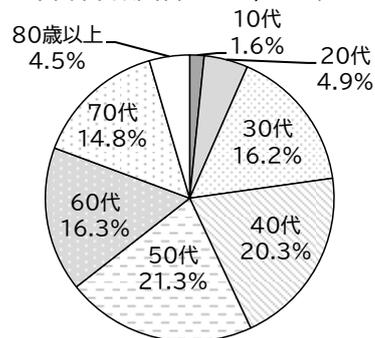
居住地について、「市内」が95.3%、「市外」が4.7%となっています。

年代について、「50代」が最も多く21.3%、次いで「40代」が20.3%、「60代」が16.3%などとなっています。

居住地(単数回答;n=4,606)



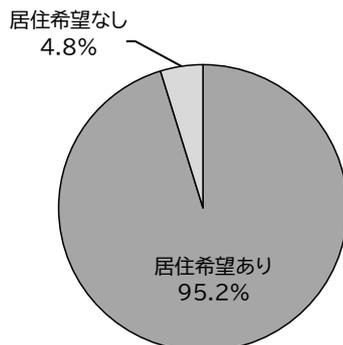
年代(単数回答;n=4,606)



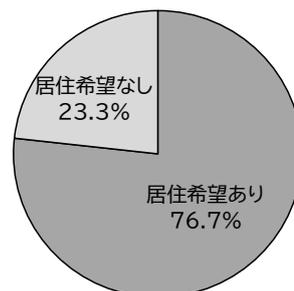
(2) 居住希望

「居住希望あり」について、『市内在住者』では95.2%、『市外在住者』では76.7%などとなっています。

居住希望(市内在住者)
(単数回答;n=4,391)



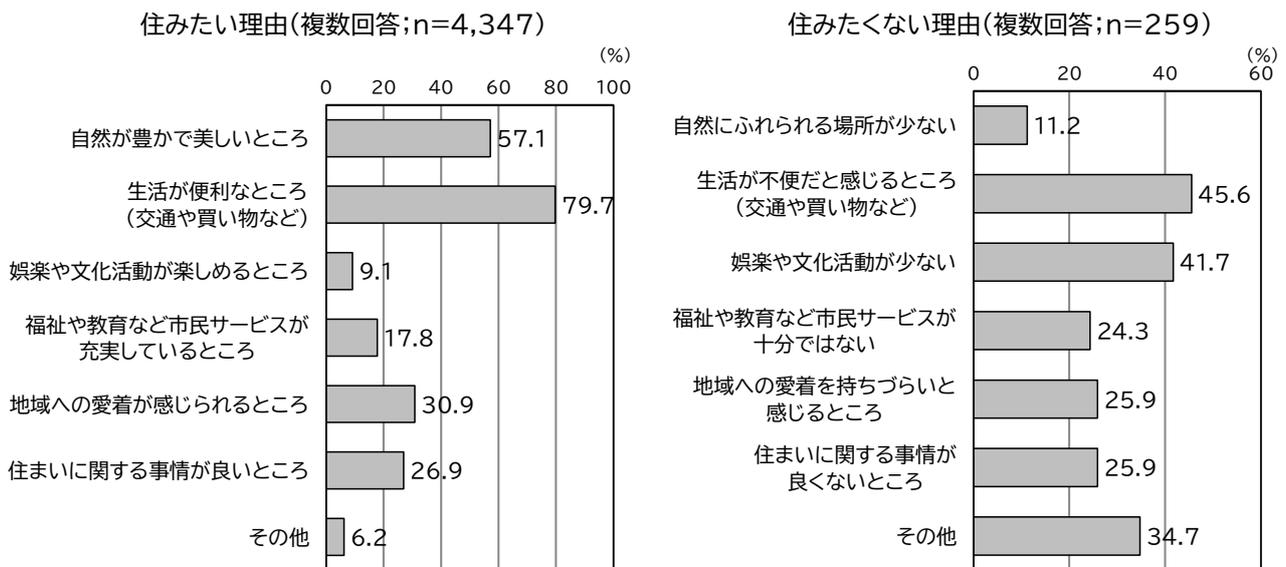
居住希望(市外在住者)
(単数回答;n=215)



(3) 住みたい理由・住みたくない理由

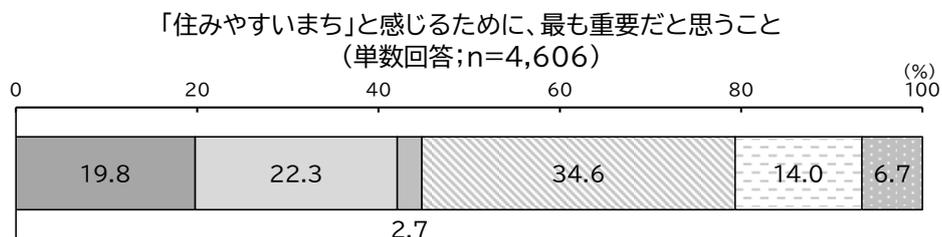
『住みたい理由』について、「生活が便利なところ（交通や買い物など）」が最も多く79.7%、次いで「自然が豊かで美しいところ」が57.1%、「地域への愛着が感じられるところ」が30.9%などとなっています。

『住みたくない理由』について、「生活が不便だと感じる場所（交通や買い物など）」が最も多く45.6%、次いで「娯楽や文化活動が少ない」が41.7%、「地域への愛着を持ちづらいと感じる場所」「住まいに関する事情が良くないところ」がそれぞれ25.9%などとなっています。



(4) 「住みやすいまち」と感じるために、最も重要だと思うこと

「活気があり、安全で便利な環境（地域経済、防災、防犯、交通、都市基盤）」が最も多く34.6%、次いで「健康で安心して暮らせる環境（福祉、医療）」が22.3%、「子どもがのびのびと育つ環境（子育て支援、教育）」が19.8%などとなっています。



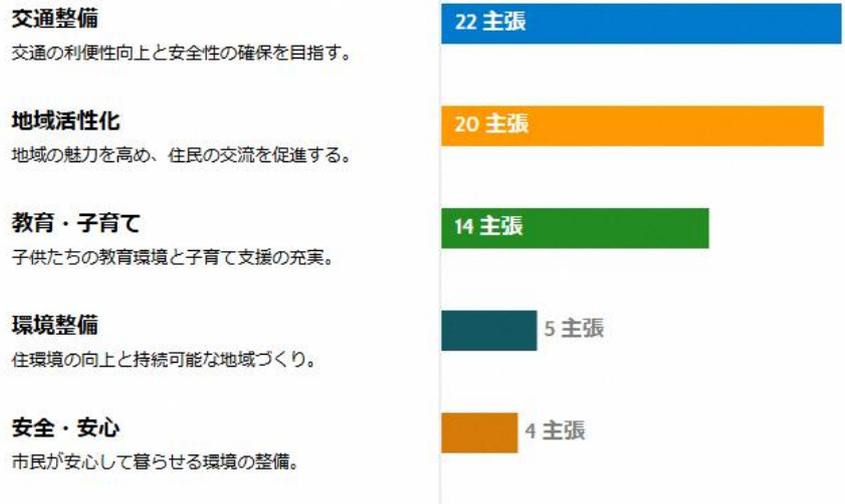
- 子どもがのびのびと育つ環境(子育て支援、教育)
- 健康で安心して暮らせる環境(福祉、医療)
- 誰かが学び、活躍できる環境(教育、文化、スポーツ)
- 活気があり、安全で便利な環境(地域経済、防災、防犯、交通、都市基盤)
- 自然と共生し、美しい環境(環境保全、緑化)
- 未来に向けて発展し続ける環境(シティプロモーション、財政の安定化)

(5) Voice NAGAOKAKYO での問いと結果概要

※投稿内容を原文のまま掲載しています。

① 20年後の長岡京市に必要なモノ・コトは？

■アイデア 38 件



ネガティブ・ポジティブ反応

自然言語処理に基づいて、投稿いただいた内容を機械的に分析し、投稿そのもののポジティブ度・ネガティブ度を判定したものになります。参加者の民意をポジティブネガティブの側面で捉える際に役立ちます。



<凡例>

ポジティブ	39.4%
ニュートラル	42.1%
ネガティブ	18.4%

😊 ポジティブ意見

- 第1位:スターバックスを作ると良いです。おそらく、とても人気になりみんなが行くようになります。
- 第2位:現在高校生ですが、図書館に自習室がないなど正直長岡京市に帰る目的が家のみなのでもっと新しいものなどをとり入れることで、今も故郷らしさもありつつ大好きな地元ではありますがもう少し発展すると長岡京市にこれからも将来も住みたいなどは思います。
- 第3位:大手工場の誘致 税制が豊かになり、多くの雇用が生まれ、博物館等多くの人を招き住民が豊かになる

😞 ネガティブ意見

- 第1位:JR長岡京駅、阪急長岡天神駅の駅前にもっと送迎用の車が待機出来る場所が必要だと思います。路上駐車や歩行者や自転車危険です。車で駅まで送迎する方は多いのに、場所がありません。最近駅前が整備されて期待していましたが残念です。
- 第2位:分譲住宅の供給が少ないので、長く住み続けたいが、難しいと感じています。
- 第3位:道路の電柱排除して電線埋設化の推進を! 生活道路で突出した電柱のせいで車と人が通行し難いし、何より電線が這う町並みは景観を損なう

② どんな若者支援をやったらいい？

■アイデア 14 件

教育環境の整備

若者が学び続けられる環境を提供するための施策。

地域交流の促進

異なる世代が交流できる場を増やす。

若者支援の仕組み

若者の意見を市政に反映させるための仕組みや場の提供。

地域の安全と安心

地域の安全を確保し、若者が安心して活動できる環境を作る。

若者の定着支援

若者が地域に定着しやすい環境を整える。

7 主張

7 主張

6 主張

5 主張

3 主張

ネガティブ・ポジティブ反応

自然言語処理に基づいて、投稿いただいた内容を機械的に分析し、投稿そのもののポジティブ度・ネガティブ度を判定したのになります。参加者の民意をポジティブネガティブの側面で捉える際に役立ちます。



😊 ポジティブ意見

第1位:若者ばかりでなく老人も喜びを得られる街づくりが必要です。中国の公園に行けば楽器を奏でる、踊り、遊具があり、真の幸福を満喫しています。

第2位:教育だと思います。高齢者もせっかたくさんいらっしゃるのでから、色々な年代の方々が交わりを持つ場や機会がもっと増えればいいと思います。

第3位:茨木市のおにくる、イバラボ広場のようなところを作ってほしい。長岡京市でみんなが集いなくなる場所。

😞 ネガティブ意見

第1位:イベントです。また学生への支援がとて少ないように感じます、高齢者ばかり、

<凡例>

ポジティブ	46.1%
ニュートラル	46.1%
ネガティブ	7.6%

③ あなたが市外の方にオススメしたい長岡京のイイモノ、イイコトは？

■アイデア5件



ネガティブ・ポジティブ反応

自然言語処理に基づいて、投稿いただいた内容を機械的に分析し、投稿そのもののポジティブ度・ネガティブ度を判定したことになります。参加者の民意をポジティブ・ネガティブの側面で見ると役に立ちます。



😊 ポジティブ意見

第1位:秋の西山の美しさ。タケノコの美味しさ。幼稚園や学校の多さ。スーパーや交通機関も多く住みやすい。街中に大きな公園がもっとたくさんあるといいですね。

第2位:長岡京市では、ふるさと納税の新しい返礼品を考案しています。みなさんのアイデアをお寄せください。

第3位:長岡京市は長岡天満宮があり、多くの見所があります。海外では住民が花や樹木が美しく地方自治体が補助して街並みが綺麗です。綺麗な街並みを進めたい

☹️ ネガティブ意見

ネガティブ意見はありません

<凡例>

ポジティブ	66.6%
ニュートラル	33.3%
ネガティブ	0%

④ “わがまち” についての、こういったオンラインでの意見交換の場を今後も活用したい？

■活用したいと思う (18/18 件)

〔団体アンケート調査〕

■ 調査の対象について

【調査対象】長岡京市で活動する地域活動団体

【選定方法】次の条件で選定した

対象数：515 団体（自治会 57 団体含む）抽出基準日：令和 6 年 9 月 1 日時点

- ・ 第 4 次総合計画策定時の団体アンケート対象団体
- ・ 市内に活動拠点を置く、京都府登録 NPO 法人
- ・ 自治会や地域コミュニティ協議会等の地縁団体
- ・ 社会福祉協議会や緑の協会等への登録ボランティア団体
- ・ 取りまとめ組織に登録している団体（市民活動サポートセンターや市老人クラブ連合会、公民館サークル連合会等への加盟団体）
- ・ その他アンケートを行うことが必要と認められる団体

（団体の類型）

地 縁 団 体…自治会（57 自治会）等（町内会は対象外）

NPO 団 体 等…サポートセンター登録団体等

自 主 組 織…保育所保護者会、公サ連加盟団体等

そ の 他 組 織…ボランティア団体、小中学校 PTA（14 団体）等

1. 調査結果

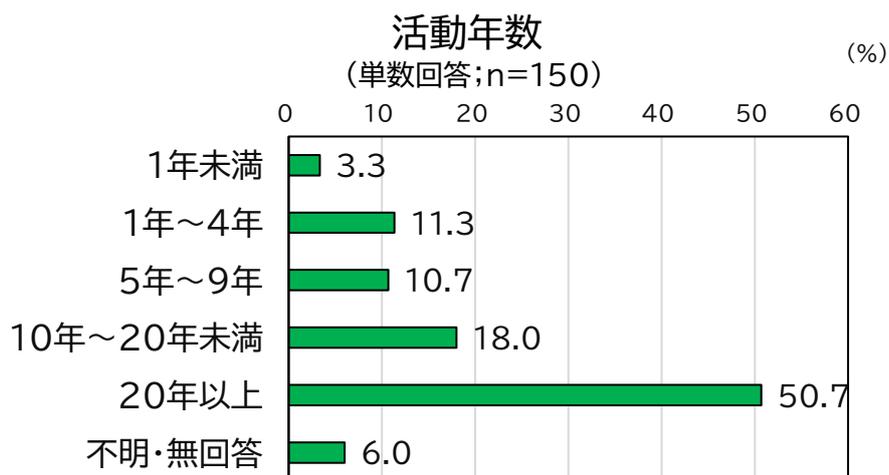
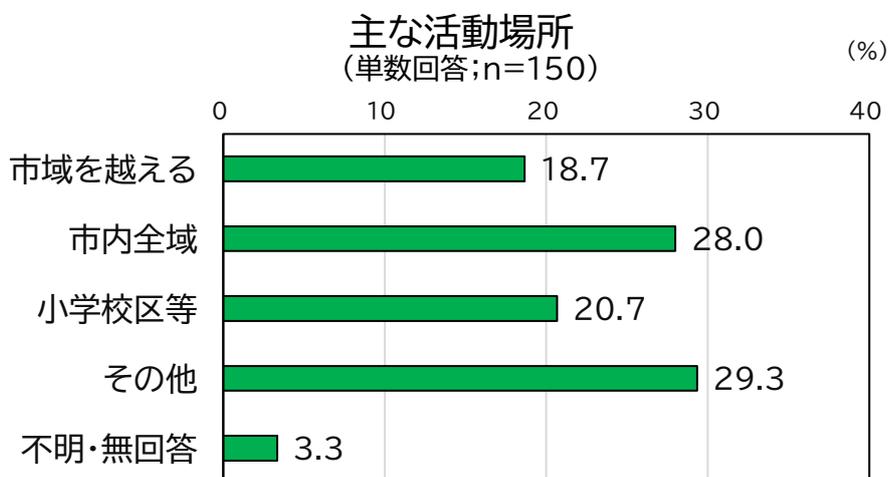
(1) 団体の概況

■ 主な活動場所・活動年数

主な活動場所は、「市内全域」が最も多く 28.0%、次いで「小学校区等」が 20.7%、「市域を越える」が 18.7%となっています。「その他」は「自治会」「公園や集合住宅などの特定の施設、特定の地域」などの回答が多くなっています。

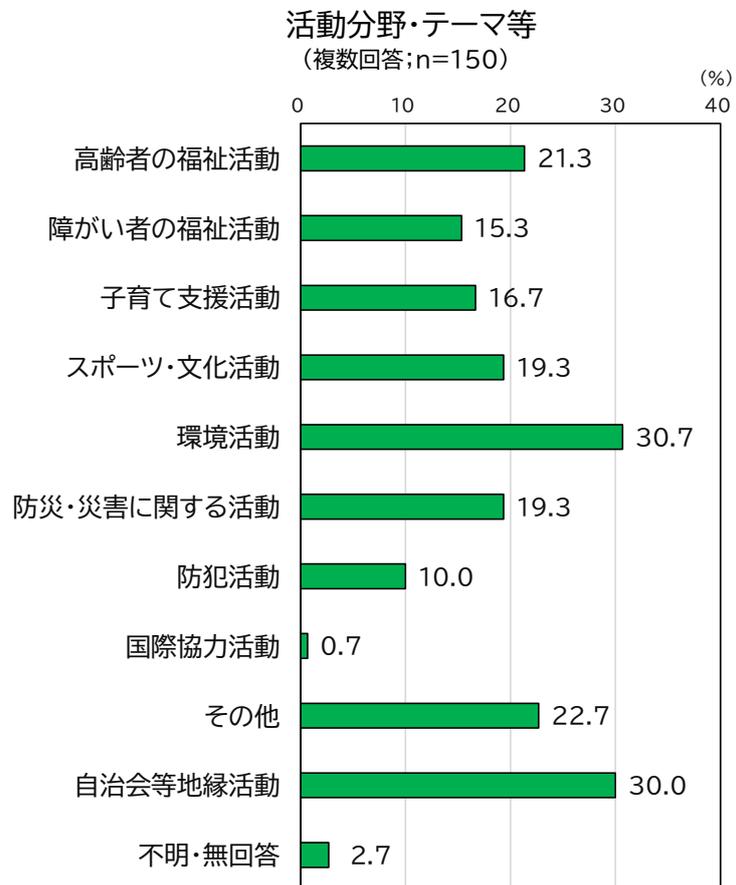
活動年数は、「20年以上」が最も多く 50.7%、次いで「10年～20年未満」が 18.0%などとなっています。10年未満の団体が 25%程度となっています。

10年未満の活動団体の主な活動内容、テーマをみると「自治会等地縁活動」「環境活動」「子育て支援活動」「防災・災害に関する活動」などが多くなっています。



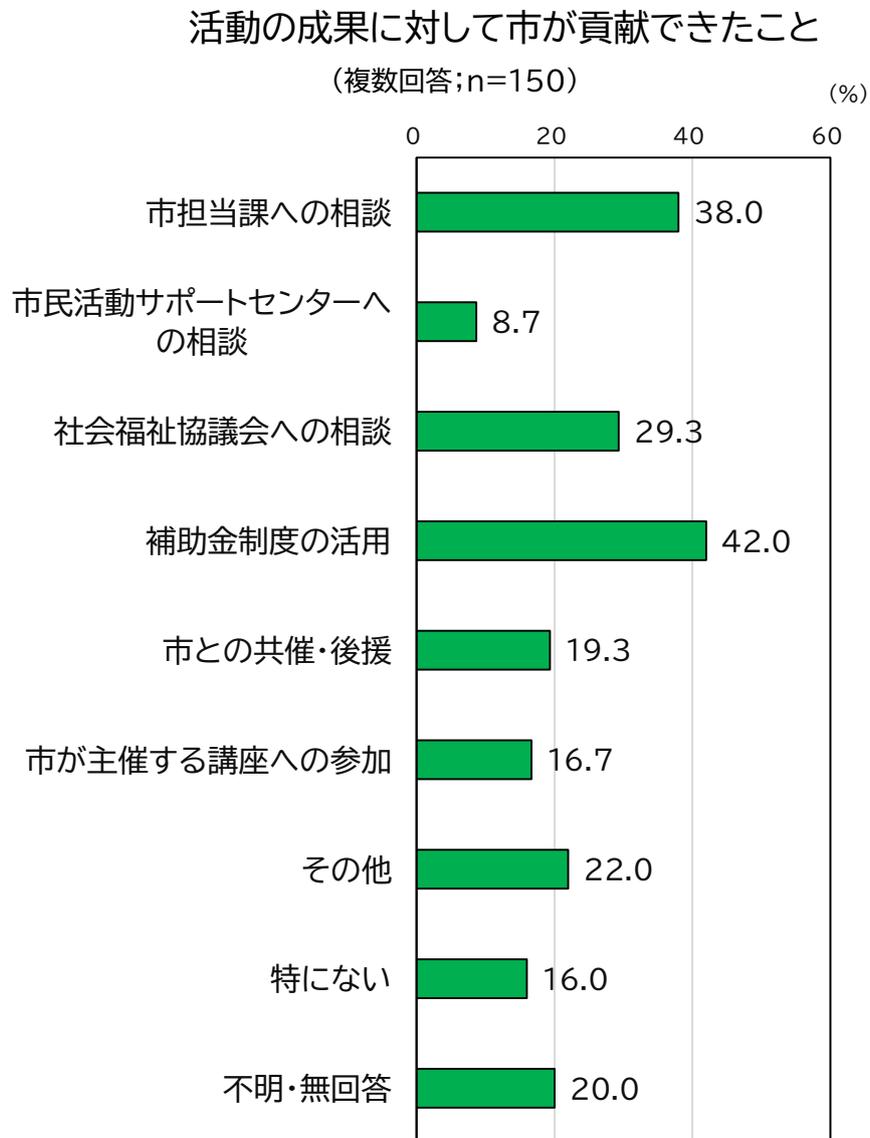
■ 主な活動分野・テーマ

「環境保全」が最も多く 30.7%、次いで「自治会等地縁活動」が 30.0%、「高齢者の福祉活動」が 21.3%などとなっています。「その他」は交通安全活動、PTA 活動など多様な活動となっています。



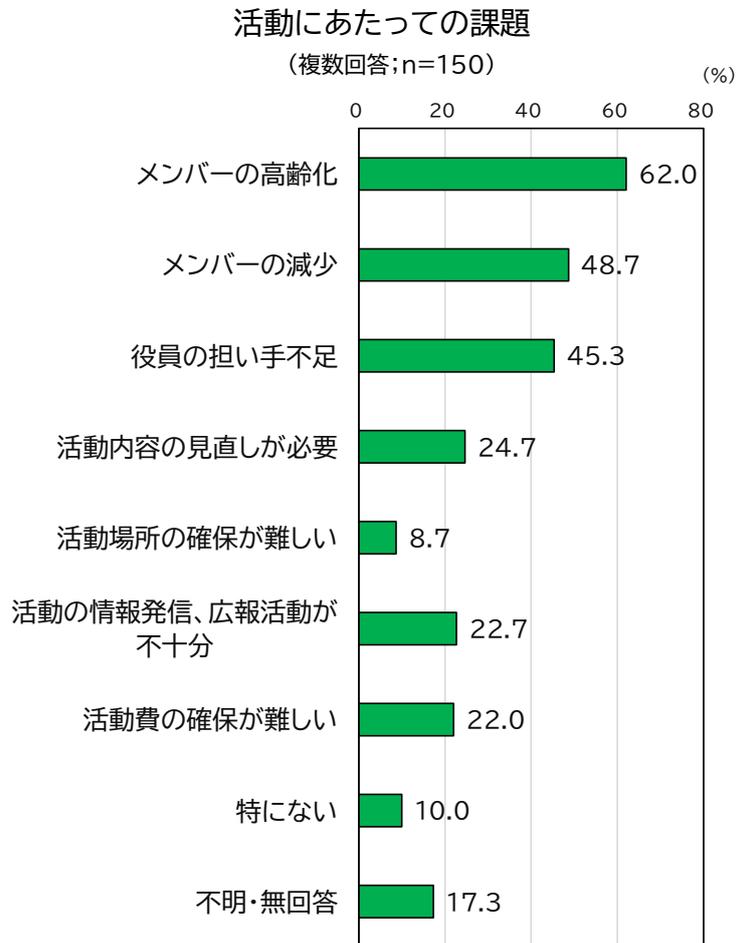
(2) 団体活動の成果に対して市が貢献できたこと

「補助金制度の活用」が最も多く 42.0%、次いで「市担当課への相談」が 38.0%、「社会福祉協議会への相談」が 29.3%などとなっています。なお、「市民活動サポートセンターへの相談」は 8.7%となっています。



(3) 団体の活動にあたっての課題

「メンバーの高齢化」が最も多く 62.0%、次いで「メンバーの減少」が 48.7%、「役員の担い手不足」が 45.3%などとなっています。



■団体の活動にあたっての課題（自由記述）

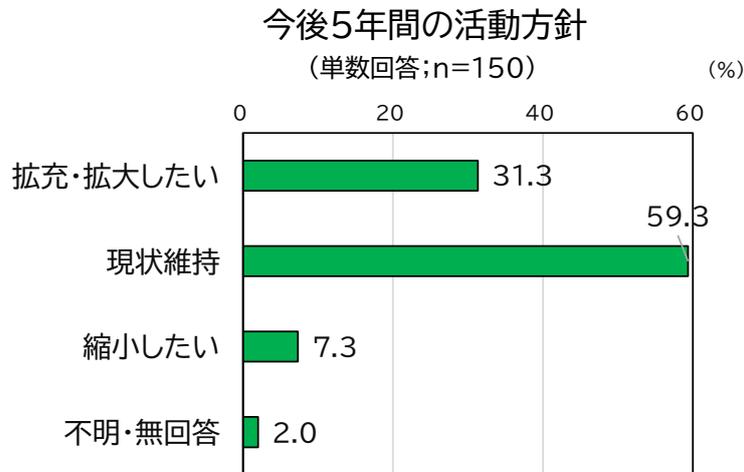
団体の活動にあたっての課題について、延べ 111 件の回答がありました。

団体の活動内容に関わらず、下記のような共通した課題があげられていました。

- ・ 会員数が減少している 22 件
- ・ 会員が高齢化している 16 件
- ・ 行政と十分に協力ができていない 12 件
- ・ 役員の後継者などの人材が不足している 12 件
- ・ 市の制度の改善や市施策の拡充、市との連携や協力の強化が必要 9 件
- ・ 活動費用が不十分である 7 件
- ・ 活動の場所に困る 6 件
- ・ 活動内容の見直しが求められる 5 件
- ・ 広報活動が不十分である 3 件
- ・ 活動備品を共有で保管できる場所がない 3 件
- ・ 活動時間の確保が難しい 2 件
- ・ その他 14 件

(4) 今後5年間の活動方針等

「現状維持」が最も多く 59.3%、次いで「拡充・拡大したい」が 31.3%、「縮小したい」が 7.3%となっています。



■そのために、市と協力して取り組みたいこと（自由記述）

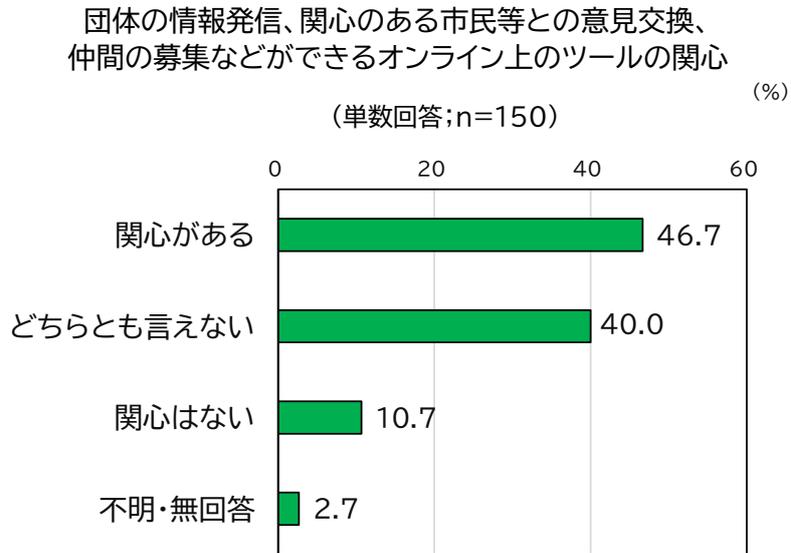
主な意見は以下の通りです。今後5年間の活動方針等「拡充・拡大したい」「現状維持」「縮小したい」の回答による意見の違いはありませんでした。

延べ 140 件の回答がありました。団体の活動内容に関わらず、下記のような意見があげられていました。

- ・ 広報活動をしてほしい..... 37 件
- ・ 市との相談や協力、連携の強化をしたい..... 31 件
- ・ 人員／人材を充実してほしい..... 18 件
- ・ 関連団体／個人との連携などを円滑にすすめる支援が欲しい..... 14 件
- ・ 活動の「場・機会」をつくって欲しい..... 11 件
- ・ 助成金等の費用面の支援が欲しい..... 8 件
- ・ 設備を充実してほしい..... 2 件
- ・ その他..... 19 件

(5) 地域活動の活性化に向けたオンライン上のツールの活用への関心

「関心がある」が最も多く 46.7%、次いで「どちらとも言えない」が 40.0%、「関心はない」が 10.7% となっています。



(6) 今後5年間で市が特に取り組むべきこと (自由記述)

延べ 149 件の回答がありました。団体の活動内容に関わらず、下記のような意見があげられていました。

- ・ 助成金や物品の支援がほしい..... 25 件
- ・ 適切な広報活動をしてほしい..... 15 件
- ・ 市との相談や協力、連携の強化をしたい..... 12 件
- ・ 関連団体／個人との連携などを円滑にすすめる支援がほしい..... 11 件
- ・ 場所／施設の数と質的な整備..... 11 件
- ・ 自分たちの活動の啓発をしてほしい..... 10 件
- ・ 人員／人材を充実してほしい..... 9 件
- ・ 市の制度の改善や市施策の拡充..... 7 件
- ・ イベント、勉強会等の実施..... 7 件
- ・ 活動の「場・機会」をつかってほしい..... 5 件
- ・ 活動の拠点を作ってほしい..... 4 件
- ・ 市の方針を提示してほしい..... 2 件
- ・ その他..... 31 件

2. 市民参加型合意形成オンラインプラットフォーム「Voice NAGAOKAKYO」の試行

今回の団体アンケートでは、アンケートへの回答に加えて市民参加型合意形成オンラインプラットフォーム「Voice NAGAOKAKYO」でも3つのテーマで意見交換をしました。

【募集したテーマ】

- ① 団体が熱心に取り組んでいること
- ② 団体が「こんなことなら手伝えるよ!」「誰か手伝って!」といたいこと
- ③ 「Voice NAGAOKAKYO」がもっと使いやすくなる・使いたいと思う工夫

市民参加型合意形成オンラインプラットフォーム「Voice NAGAOKAKYO」が始動します!

2024年11月6日 ID:14599



長岡京市では、市民のみなさと市が協働し、より良いまちづくりを進めていくため、[市民参加型合意形成プラットフォーム「Voice NAGAOKAKYO」\(別ウィンドウで開く\)](#)を令和6年11月に立ち上げました!

これは、株式会社Liquitous(リキタス)と「DXを通した市民の行政参加促進に関する連携協定」を締結し、令和7年度末まで実施する実証実験の一環です。

インターネット上で気軽に市政参加!「Voice NAGAOKAKYO」とは?

「Voice NAGAOKAKYO」(ボイス ナガオカキョウ)は、株式会社Liquitousが開発したオンラインプラットフォーム「Liqlid」を活用し、市民の皆様が時間や場所を問わず、気軽にテーマに対して市政への意見やアイデアを投稿できるウェブサイトです。

従来の対面式の会議やワークショップだけでなく、オンライン上にも「市民と市が一緒にまちづくりを考える場」を広げ、「助け合いとつながりのまちづくり条例」が目指す姿の実現を目指します。

たとえばVoice NAGAOKAKYOのできるこ

市民ワークショップとの併用

- 当日参加できなかった方の意見も後日投稿可能に
- 会場では発言しづらかった方も、気兼ねなく意見表明が可能に
- ほかの市民の意見を見ながら自分の意見を考えることができる

オンライン上での意見募集

- アイデア投稿形式のほか、アンケート形式での意見募集も可能

Voice NAGAOKAKYO (Liqlid) の特徴

1. インターネットブラウザで利用可能!特別なソフトのダウンロードやインストールは不要です。
2. テーマごとに意見交換ができるので、議論が整理しやすく、深い話し合いが可能になります。
3. 他の参加者の意見に「いいね」ボタンを押したり、コメントを書き込むこともできます。
4. LINE連携のアカウントで簡単に投稿することができます。

① 団体が熱心に取り組んでいること

団体名	内容	いいね数
梅が丘友の会	ハロウィン。個人情報の取り扱いが厳重になったことで、子どもたちがどこに誰が住んでいるのかわからなくなってきました。解消するために高齢者や子どもが住む家やお店や交番を回って、お菓子を集めて交流をはかっています。梅が丘限定にすることで、安心して交流できています。	0
長岡京市民生児童委員協議会	高齢者などの見守り活動	1
長岡京市森林組合	竹林や保育間伐等の森林整備事業を行っており、事業の際に搬出した木材は市内の公共建築物の内装材や薪に利用しています。	0
畑ヶ田自治会	サポート運用 = 困り事発生時（本人発信）みどりのハンカチを掲示⇒発見した地区役員の訪問～サポート実施。 会合『集いの会』定例開催 定期的に気軽に参加できる『おしゃべり』の場を設け、隣近所の方々の安否状況や地域の動向などを広く情報共有することにより、住民コミュニティ醸成を図っている。	2
粟生自治会	自治会員への各種情報の発信	1
関塾トマト	植物活動を通して様々な人との関わりを広げる。	1
匿名	勤労者福祉に関する新たなメニューの創出	0

② 団体が「こんなことなら手伝えるよ!」「誰か手伝って!」といたいこと

団体名	内容	いいね数
一般財団法人乙訓勤労者福祉サービスセンター	毎月発行の会報誌にて活動の紹介記事などの掲載(基本会員からの提供としている)	0

③ 「Voice NAGAOKAKYO」がもっと使いやすくなる・使いたいと思う工夫

団体名	内容	いいね数
長岡京市民生児童委員協議会	団体のメンバーだけで意見交換ができるような機能があればいいと思います。	0
長岡京市森林組合	テーマ終了時に LINE でどのようなアイデアがあったのか通知していただけると、多くの方の関心を集めることができるのではないかと思います。	1
粟生自治会	長岡京市の LINE での Voice NAGAOKAKYO の周知	1